



ビジュアルとデータの統合 DC VISOR v2.2

ユーザマニュアル



---

2014.8

View Technologies & White-Net

## 始める前に

DC VISOR(ディーシーバイザー)をご導入頂き誠にありがとうございます。

本書は DC VISOR のクライアントプログラムに関する各機能の操作方法などを説明しています。

DC VISOR のインストール、データベース設定などの方法については‘導入マニュアル’をご覧ください。

## 本書の使いかた

本書の内容中表記される各記号は以下の通りとなっています。

### 表記 内 容

(注) 脚注 : マニュアル内容の中での用語、使用方法などの詳細な解説

 操作 : 機能を利用するための操作手順又は方法について説明

 必須 : 必須入力又は必須選択項目

 重要 : DC VISOR を使用するための重要な情報などを説明

 参考 : 参考用の追加説明、イメージなど

プログラム画面上に表記される操作アイコンとその内容です。

### 表記 内 容

 ドラッグ & ドロップ : マウスの左ボタンでクリックしたまま移動し、ドロップします。

 左ボタンダブルクリック : マウスの左ボタンを2回連続でクリックします。

 右ボタンクリック : マウスの右ボタンをクリックします。

# 目次

<b>1. 概要</b>	<b>6</b>
1.1. DC VISOR の環境構成	6
1.2. DC VISOR の運用構造	6
1.3. DC VISOR の運用を始める前に	6
<b>2. 起動と終了</b>	<b>7</b>
2.1. DC VISOR の起動	7
2.2. ログイン	7
2.3. DC VISOR の終了	8
<b>3. メイン画面</b>	<b>9</b>
3.1. メイン画面の構成	9
3.2. メニューバー	10
3.3. ツールバー	11
3.4. コンテキストメニュー	12
<b>4. DC VISOR の各機能</b>	<b>16</b>
4.1. ファイル	16
図面を開く	16
図形データの整合性チェック	16
ファイルに保存	17
印刷	18
終了	18
4.2. 編集	19
新規導入	19
ラック	19
サーバ	21
ネットワーク機器	22
電源機器	23
デバイス自由配置	23
ブレードサーバ	25
ブレード	28
その他 IT 機器	29
分電盤、ブレーカ、PDU	29

(1) 分電盤の新規導入 .....	30
(2) ブレーカの新規導入 .....	31
(3) PDU の新規導入 .....	33
空調機器 .....	34
什器類 .....	35
移動処理 .....	36
廃棄処理 .....	39
<b>4.3. データ .....</b>	<b>41</b>
更新 .....	41
検索 .....	41
レポート .....	42
契約満了機器照会 .....	43
変更履歴照会 .....	44
変更履歴詳細 .....	45
ダッシュボード .....	46
<b>4.4. 表示 .....</b>	<b>48</b>
データグラフィック .....	48
ラックマルチビュー .....	49
ラックリストビュー .....	50
ラック実装図画面の構成 .....	50
パン/ズーム表示 .....	51
レイヤー .....	51
<b>4.5. 使用者管理 .....</b>	<b>53</b>
<b>4.6. 管理者メニュー .....</b>	<b>55</b>
データ管理 .....	55
(1) バックアップ .....	55
(2) データ自動補正 .....	57
(3) 整合性チェック .....	57
(4) 整合性チェックリスト .....	57
レイアウト修正 .....	58
(1) 機器图形の配置とデータリンク(紐づけ) .....	59
(2) 機器图形の削除 .....	60
(3) 機器图形の色指定 .....	60
(4) 機器图形を最前面/前面へ移動 .....	61
(5) リージョン图形の追加と修正 .....	62
(6) 修正モードの終了 .....	63
図面管理 .....	63
ロケーション管理 .....	64

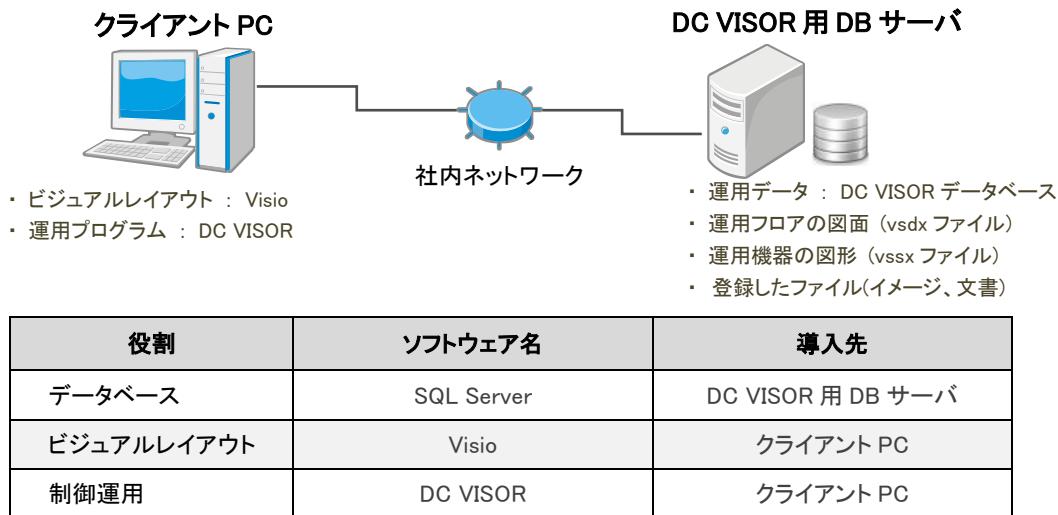
機器管理 .....	66
(1) 機器マスタ管理 .....	66
機器マスタ登録 .....	66
機器マスタ修正 .....	69
(2) 導入機器修正 .....	70
(3) 電源接続マネージャー .....	71
環境設定 .....	73
4.7. ヘルプ .....	75
バージョン情報 .....	75
オンラインヘルプ .....	75
<b>5. 共通操作 .....</b>	<b>76</b>
(1)導入場所の選択 .....	76
(2)導入機器の選択 .....	76
(3)システム名追加及び修正、削除 .....	77
(4)電源使用有無 .....	77
(5)電源接続設定 .....	77
(6)インベントリ情報管理 .....	79
(7)キャビネット管理 .....	80
(8)マウントタイプ機器の配置 .....	81
(9)電源系統の操作 .....	82
<b>6. その他 .....</b>	<b>83</b>
消費電力の集計仕様について .....	83
操作 TIPS .....	84
FAQ(よくある質問) .....	85

## 1. 概要

DC VISOR(ディーシーバイザー)はIT機器及び什器の導入から移動・変更・廃棄など、一連の管理をデータとビジュアルを連動させることにより、資産リストと実際の配置を動的に関連付け、不整合を解消することを目的としています。DC VISORを利用するとユーザが管理するIT機器の現在構成、設置場所、ステータス、キャパシティーの把握が素早くでき、IT機器の移動・変更管理、計画、棚おろしなどに活用できます。

### 1.1. DC VISOR の環境構成

DC VISORは大きく“ビジュアルレイアウト”を担当するVisio<sup>1(注)</sup>と“データベース”を担当するSQL Server、それにレイアウトとデータを制御運用するDC VISORで構成されています。



### 1.2. DC VISOR の運用構造

DC VISORの運用構造は以下の通りになっています。

#### ① ロケーション

“サイト → ビル → フロア(フロア図)” → フロア上の機器(ラック、分電盤など据え置きタイプ機器)  
(例)：東京 → 東京1ビル → 2F～4F フロア構成

#### ② 電源系統

“分電盤 → ブレーカ → PDU<sup>2(注)</sup>” → 接続機器(据え置きタイプ)  
“分電盤 → ブレーカ → PDU(ラック取り付け)” → 接続機器(ラックマウントタイプ)  
“分電盤 → ブレーカ” → 接続機器(床下電源などブレーカ直結接続の場合)

### 1.3. DC VISOR の運用を始める前に

DC VISORを運用するためには以下の事前登録(入力又は作成)をしてください。

- |                 |                                      |
|-----------------|--------------------------------------|
| 使用者登録及び権限設定     | ..... 「 <a href="#">使用者管理</a> 」参照    |
| ロケーションの登録       | ..... 「 <a href="#">ロケーション管理</a> 」参照 |
| 機器マスタ(諸元データ)の登録 | ..... 「 <a href="#">機器マスタ管理</a> 」参照  |
| フロア図の登録         | ..... 「 <a href="#">図面管理</a> 」参照     |

(注)<sup>1</sup> Visio は Microsoft® Visio、SQL Server は Microsoft® SQL Server の登録商標です

(注)<sup>2</sup> PDU は“電源コンセント”又は“電源タップ”を意味しています

## 2. 起動と終了

### 2.1. DC VISOR の起動

DC VISOR をインストールしたクライアント PC のデスクトップで[DC VISOR アイコン]又は Windows のスタートメニュー[]<sup>3</sup><sup>(注)</sup>から DC VISOR を実行(クリック/ダブルクリック)します。

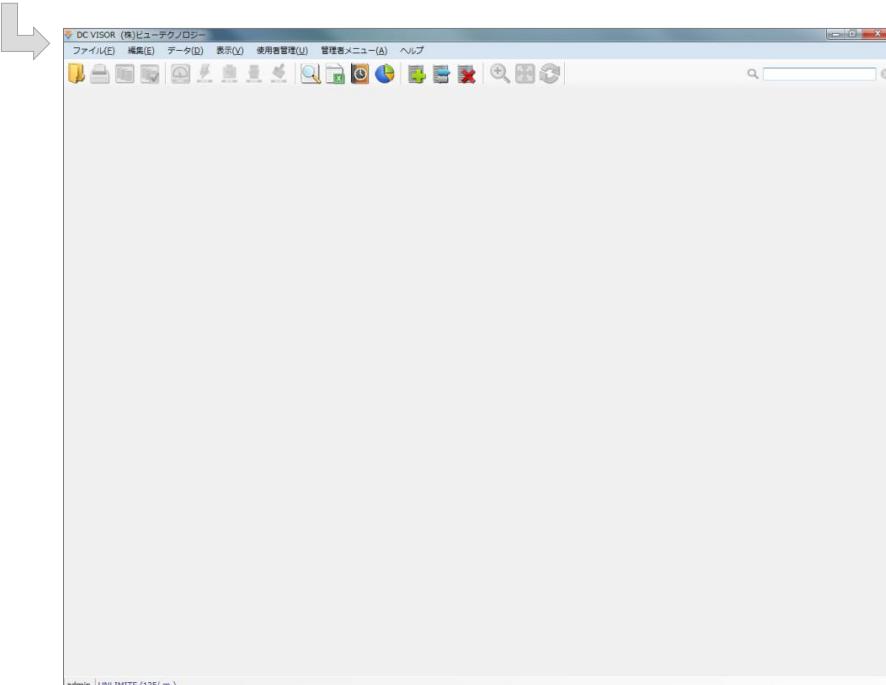


### 2.2. ログイン

DC VISOR アイコンをダブルクリックして実行すると“DC VISOR”のログイン画面が表示されます。



ユーザ ID とパスワードを入力してから[LOGIN]ボタンをクリックするとメイン画面が表示されます。



< DC VISOR メイン画面 >

環境設定の“ログインセキュリティポリシー”設定によりログイン時、パスワードの変更を求める画面が表示

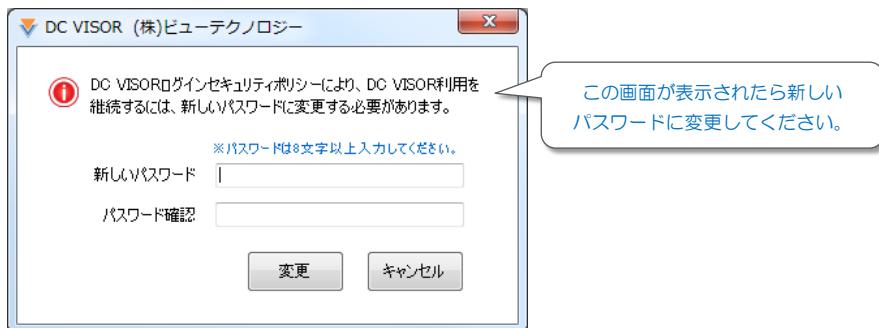
された場合は新しいパスワードに変更する必要があります。

新しいパスワードは **8 文字**以上、過去 **4 世代**前まで重複しないパスワードを設定してください。

(注)<sup>3</sup> •Windows7 及びロゴキー「」は Microsoft® Windows の登録商標です

•DC VISOR を利用するには Windows 上の“標準ユーザ”以上のアカウントが必要です

### ■ ログインセキュリティポリシーによるパスワード変更画面



#### 操作

- 新しいパスワード：8 文字以上、過去 4 世代前まで重複しないパスワードを入力します。
- パスワード確認：新しいパスワードの確認のためもう一度入力します。
- [変更]ボタン：設定した新しいパスワードに変更してログイン処理を続けます。
- [キャンセル]ボタン：パスワード変更をキャンセルします。

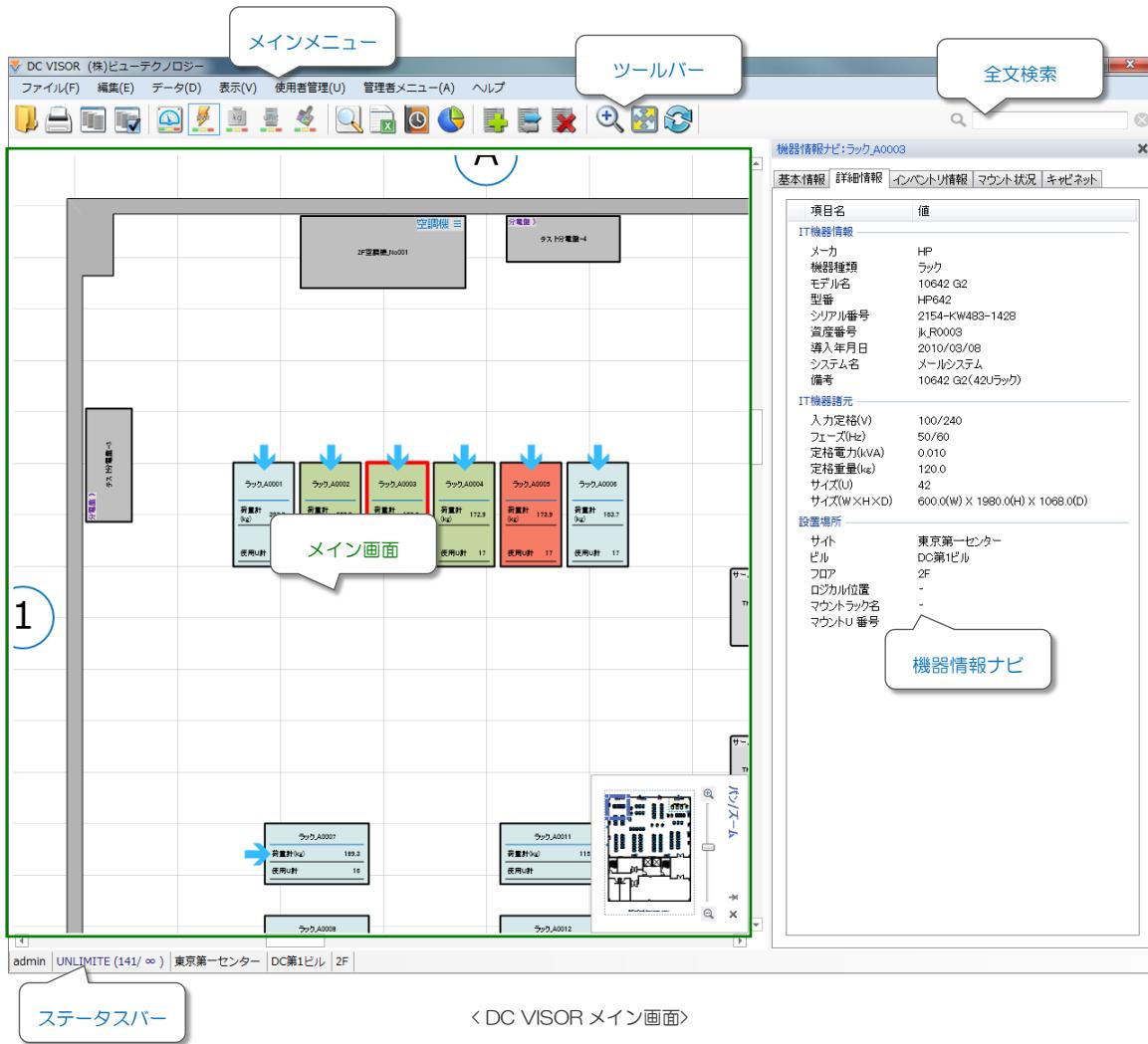
### 2.3. DC VISOR の終了

DC VISOR の終了はメニューバーの[ファイル] - [終了]又はメイン画面右上のダイアログボタン‘閉じる’(×)をクリックして表示される確認メッセージで[はい]ボタンを選択すると終了されます。

### 3. メイン画面

#### 3.1. メイン画面の構成

DC VISOR のメイン画面の構成は以下の通りです。



- ① メニューバー : DC VISOR の各メインメニューをカテゴリ別に構成しています。<sup>4(注)</sup>
- ② ツールバー : DC VISOR の主要機能のツールバーです。
- ③ メイン画面 : フロア図などのメイン表示画面です。
- ④ 全文検索 : 任意のキーワードを入力して機器検索を行います。
- ⑤ ステータスバー : ログインユーザ、ライセンスの種類(導入済のラック数/導入可能なラック数上限)、開いたフロア情報を表示します。
- ⑥ 機器情報ナビ : 選択機器の詳細情報などの各種情報をタブ毎に表示します。

(注)4 メイン画面で利用できるメニューバー(機能)、ツールバーなどの画面の表示可否はユーザの権限によって異なります

※詳細は「ユーザ権限によるメニュー制限」表参照

### 3.2. メニューバー

DC VISOR のメニューバー(メインメニュー)の構成と概要は以下の通りです。各メニューはホットキー(ショットカットキー)で直接実行することも可能です。(例:図面を開く [Alt]キーを押しながら ‘O’ キー)

#### ・ファイル(F)

	開く	Alt+O	..... “図面を開く”画面を表示
	ファイルに保存	Alt+S	..... 表示中の図面をPCにファイル保存
	印刷	Alt+P	..... 表示中の図面を印刷
	終了	Alt+X	..... DC VISORを終了

#### ・編集(E)

	新規導入	Alt+N	..... “新規導入”画面を表示
	移動処理	Alt+M	..... “移動処理”画面を表示
	廃棄処理	Alt+T	..... “廃棄処理”画面を表示

#### ・データ(D)

	更新	Alt+L	..... 表示中の図面を更新(Refresh)
	検索	Alt+Q	..... “検索”画面を表示
	レポート	Alt+R	..... “レポート”実行画面を表示
	契約満了機器照会		..... “契約満了機器照会”画面を表示
	変更履歴照会	Alt+H	..... “変更履歴照会”画面を表示
	ダッシュボード	Alt+Shift+B	..... “ダッシュボード”画面を表示

#### ・表示(V)

	データグラフィック	①	..... データグラフィックのメニューを表示(▶ Subメニュー有り)
	ラックマルチビュー	Alt+W	..... 選択した複数ラックの“実装図”を表示
	パン/ズーム表示	Alt+Z	..... 図面の“パン/ズーム”操作画面表示
	レイヤー	Ctrl+L	..... “レイヤープロパティ”画面を表示

	データグラフィック Sub メニュー		
	データグラフィックON/OFF	Alt+G	..... データグラフィックの ON/OFF を切り替え表示
	ラック電力使用率色表示		..... データグラフィック“ラックの電力使用率色”を表示
	ラック重量使用率色表示		..... データグラフィック“ラックの重量使用率色”を表示
	ラックユニット使用率色表示		..... データグラフィック“ラックのユニット使用率色”を表示
	ユーザ定義色表示		..... データグラフィック“ユーザ定義色”を表示
	ラック使用率表示色設定		..... “ラックの使用率表示色”の設定画面を表示

#### ・使用者管理(U) : DC VISOR のユーザ管理画面を表示

	使用者登録		..... “使用者情報(管理)”画面を表示(管理者の場合)
--	-------	--	--------------------------------

## ・管理者メニュー(A)

 データ管理	①	データ管理用メニューを表示(▶ Sub メニュー有り)
 レイアウト修正開始 Alt+Shift+S		表示中の図面を修正可能状態【レイアウト修正モード】にする
 レイアウト修正終了 Alt+Shift+E		表示中の図面を修正不可能状態に(通常状態)する
 図面管理	②	図面管理用メニューを表示(▶ Subメニュー有り)
 ロケーション管理 Ctrl+Alt+L		DC VISORで利用するロケーション定義画面を表示
 機器管理	③	機器管理用メニューを表示(▶ Subメニュー有り)
 環境設定		“環境設定”画面を表示

### ○ データ管理 Sub メニュー

 バックアップ Alt+B	..... 利用中の DC VISOR をバックアップ又は復元処理
 データ自動補正	..... 集計データの自動補正を実行
 整合性チェック	..... 開いているフロア図の整合性チェックを実行
 整合性チェックリスト	..... 整合性チェックリストを表示

### ○ 図面管理 Sub メニュー

 ファイルアップロード Alt+Shift+R	..... 図面の“ファイルアップロード”画面を表示
--	----------------------------

### ○ 機器管理 Sub メニュー

 機器マスター	④	機器マスタメニューを表示(▶ Sub メニュー有り)
 導入機器修正 Ctrl+Alt+E		導入済み機器の検索(修正用)画面を表示
 電源接続マネージャー		電源接続マネージャー画面を表示

### ○ 機器マスター Sub メニュー

 機器マスター登録 Ctrl+Alt+M	..... 機器マスター登録画面を表示
 機器マスター修正 Ctrl+Alt+N	..... 登録済み機器マスターの検索(修正用)画面を表示

## ・ヘルプ

 バージョン情報 Ctrl+I	..... DC VISOR のバージョン情報画面を表示
 オンラインヘルプ Ctrl+H	..... DC VISORの使用説明などのオンラインヘルプ画面を表示

## 3.3. ツールバー

DC VISOR でよく使われるメイン機能のツールバーです。



No.	メニュー名	No.	メニュー名	No.	メニュー名
①	開く	②	印刷	③	ラックマルチビュー
④	ラックリストビュー	⑤	データグラフィック ON/OFF	⑥	ラック電力使用率色表示
⑦	ラック重量使用率色表示	⑧	ラックユニット使用率色表示	⑨	ユーザ定義色表示
⑩	検索	⑪	レポート	⑫	変更履歴照会
⑬	ダッシュボード	⑭	新規導入	⑮	移動処理
⑯	廃棄処理	⑰	パン/ズーム表示	⑱	全体ビュー
⑲	更新				

### 3.4. コンテキストメニュー

フロア図、実装図の機器(図形)の上にマウスカーソルを位置してから右クリックすると‘コンテキストメニュー’が表示されます。表示されるメニューはユーザの権限、機器の種類、図面のモードによって異なります。



&lt; ラックのコンテキストメニュー例 &gt;



&lt; 実装機器のコンテキストメニュー例 &gt;

#### ■ コンテキストメニューの構成と機能

##### (1) フロア図上の機器のコンテキストメニュー<sup>5(注)</sup>

機器情報表示	..... 選択した機器の情報を機器情報ナビ画面に表示（‘コンテキストメニュー詳細1’参照。）
ラック実装図	..... *ラック専用：選択したラックの実装図を表示（‘ラックマルチビュー’参照）
変更履歴閲覧	..... 選択した機器の変更履歴詳細画面を表示（‘変更履歴詳細’参照）
移動処理	..... 選択した機器を対象に移動処理画面を表示（‘移動処理’参照）
廃棄処理	..... 選択した機器を対象に廃棄処理画面を表示（‘廃棄処理’参照）
情報変更処理	..... 選択した機器の情報変更画面を表示（‘コンテキストメニュー詳細2’参照）
図形色設定	..... 選択した機器图形の背景色を設定（‘機器图形の色指定’参照）
前面へ移動	..... 選択した機器图形を最前面又は前面へ移動（‘前面へ移動’参照）
データリンク設定	..... 選択した機器のデータリンク設定画面を表示（‘機器图形の配置とデータリンク’参照）

###### ○ 前面へ移動 Sub メニュー

最前面へ移動	..... 選択した機器图形を最前面へ移動
前面へ移動	..... 選択した機器图形を1ステップ前面へ移動

##### (2) 実装図機器のコンテキストメニュー

機器情報表示	..... 選択した機器の情報を機器情報ナビ画面に表示（‘コンテキストメニュー詳細1’参照。）
変更履歴閲覧	..... 選択した機器の変更履歴詳細画面を表示（‘変更履歴詳細’参照）
移動処理	..... 選択した機器を対象に移動処理画面を表示（‘移動処理’参照）
廃棄処理	..... 選択した機器を対象に廃棄処理画面を表示（‘廃棄処理’参照）
情報変更処理	..... 選択した機器の情報変更画面を表示（‘コンテキストメニュー詳細2’参照）

##### (3) 分電盤専用コンテキストメニュー

電力系統図	..... フロア全体の電力系統図を表示（‘コンテキストメニュー詳細3’参照）
フロア全体	..... 選択した分電盤のみの電力系統図を表示（‘コンテキストメニュー詳細3’参照）

##### (4) リージョン图形専用コンテキストメニュー

図形色設定	..... リージョンを設定する画面を表示（レイアウト修正の‘リージョン图形の追加と修正’参照）
前面へ移動	
リージョン設定	

(注)5 ‘移動処理、廃棄処理、情報変更処理’は管理者ユーザ、

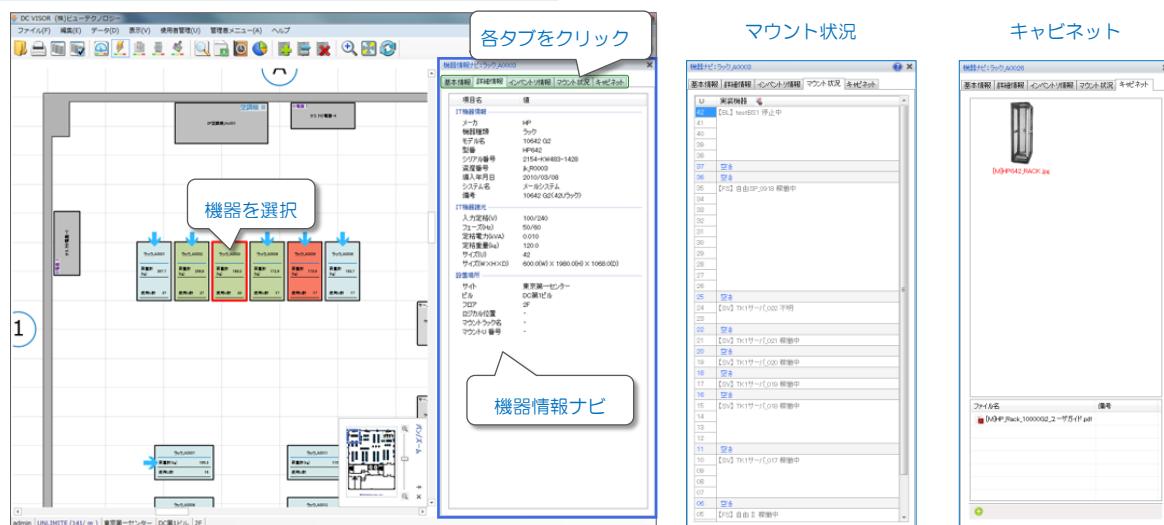
‘图形色設定’、‘前面へ移動’、‘データリンク設定’はレイアウト修正モードにて統合管理者のみ表示&操作可能です

## ユーザ種類(権限)によるメニュー制限

6(注)

メニュー名	ユーザ区分	一般ユーザ	管理者	統合管理者
ファイル (全て)	○	○	○	○
編集 (全て)	×	○	○	○
データ (全て)	○	○	○	○
表示 (全て)	○	○	○	○
使用者管理	△	△	○	○
管理者メニュー (全て)	×	×	○	○
ヘルプ(全て)	○	○	○	○
コンテキストメニュー「機器情報表示」	○	○	○	○
コンテキストメニュー「情報変更処理」	×	○	○	○
コンテキストメニュー「図形色設定」	×	×	○	○
コンテキストメニュー「前面へ移動」	×	×	○	○
コンテキストメニュー「データリンク設定」	×	×	○	○

## コンテキストメニュー詳細1: 「機器情報ナビ」



フロア図、ラック実装図など図面上の機器はクリック又はコンテキストメニュー「 機器情報表示」で該当機器の各種情報をタブ毎に閲覧することができます。 機器情報ナビのタブ構成は“**基本情報**”、“**詳細情報**”、“**インベントリ情報**”、“**マウント状況**”、“**キャビネット**”の構成<sup>(注)6</sup>となっています。タブの切り替えは各タブのタイトルをクリックします。

(注)6 制限区分 : ○(フル利用可)、△(一部制限)、×(利用不可、非表示)

・ツールバーの該当機能も同様に利用制限

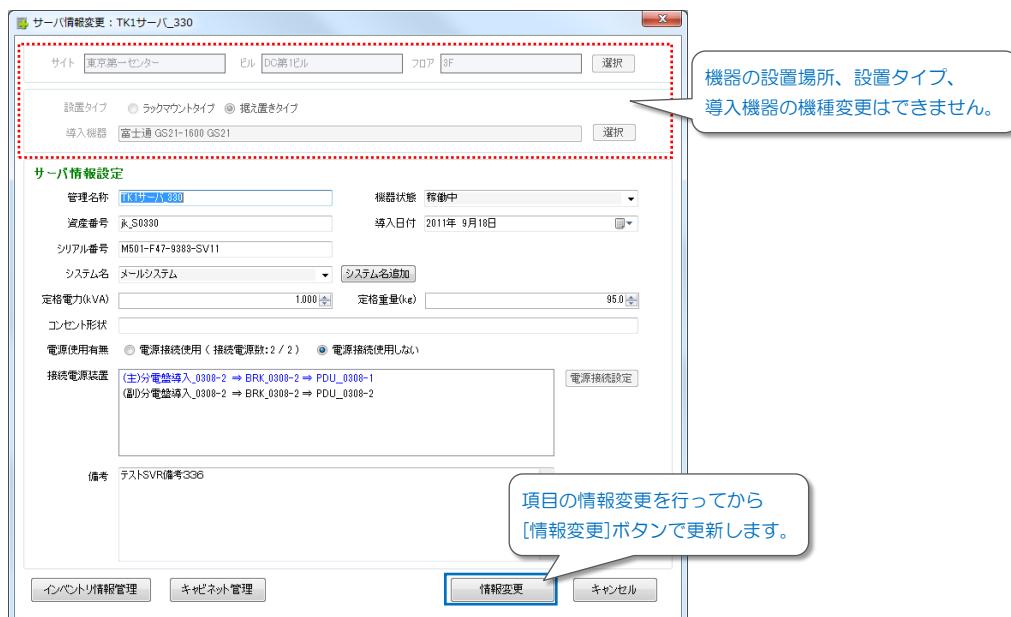
(注)7 表示される内容及び項目数はバージョン又はカスタマイズことによって異なる場合があります

・「基本情報」の“リソース”情報は「ラック」又は「分電盤」のみ表示されます

基本情報	管理名称、機器の状況、リソース情報(一部機器のみ)、電源接続情報が表示されます。  操作 電源接続の接続電源名をダブルクリックすると該当電源の情報画面が表示されます。
詳細情報	IT 機器情報、機器諸元、設置場所情報が表示されます。
インベントリ情報	OS、IP アドレス、保守/リース期間などインベントリ管理情報が表示されます。
マウント状況	選択したラックのマウント状況を簡易図で表示されます(ラックのみ表示)。  操作(管理者権限必要) ① 簡易図の機器をダブルクリックすると該当機器の修正画面が表示されます。 ② 空き U をダブルクリックすると該当ラックに機器を新規導入できます。
キャビネット	機器マスタ又は該当機器個々に登録された関連イメージ、文書ファイル及び自由配置の配置イメージ、ブレードサーバの搭載イメージが表示されます。 機器マスタ関連ファイル名の先頭には “[M]” が、自由配置又はブレードサーバの参照イメージファイル名の先頭には “[R]” が表示されます。  操作 ① 「イメージ又は文書ファイル」 - クリックするとポップアップ画面上に内容が表示 ② 「 + 」 - キャビネット管理(登録/修正)画面を表示 ③ 「 保存」 - イメージ表示画面のコンテキストメニューで表示中のイメージを PC にファイル保存。

## コンテキストメニュー詳細2: 「情報変更処理」

情報変更処理は、導入済み機器の各種情報を変更します。 変更可能な項目及びその操作手順は一部の変更できない項目を除いて、各機器の新規導入と同様です。(操作は各新規導入画面を参照してください。)



### ■ “各機器共通”的変更できない項目

- ① 機器の設置場所(サイト～フロア及び対象ラック、設置 U)： 設置場所を変更する場合は「移動処理」で処理します。
- ② 設置タイプ： 機器の設置タイプは変更できません。
- ③ 導入機器： 新規導入時選択した機器は変更できません。

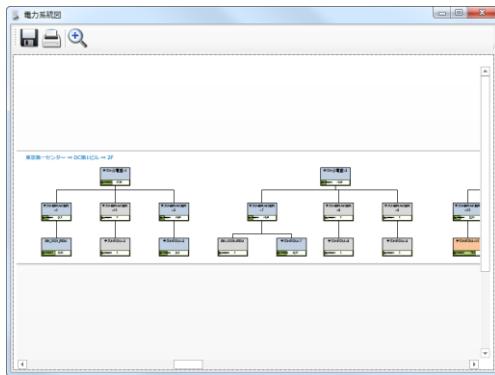
機器そのものを他機種に変更する場合は該当機器を廃棄処理してから、再度新規導入してください。

- ④ 機器マスタの仕様値(電力、重量を除く)： 機器マスタの仕様値を変更する場合は、「機器マスタ修正」で処理します。

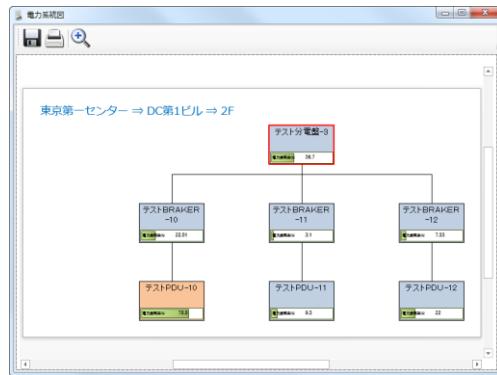
### ■ “電源系統”の変更できない項目

- ① ブレーカ : 親となる「分電盤」情報は変更できません。
- ② PDU : 親となる「分電盤」、「ブレーカ」情報は変更できません。

### コンテキストメニュー詳細3: 「電力系統図」



< ‘フロア全体’ の電力系統図 >



< ‘選択分電盤のみ’ の電力系統図 >

フロア図上の“分電盤”的コンテキストメニュー「電力系統図」→「フロア全体」又は「選択分電盤のみ」を選択すると開いているフロア全体又は選択した分電盤の“分電盤 - ブレーカ - PDU(コンセント)”の系統情報をポップアップ画面で表示されます。

各系統の図形には‘管理名称’と‘電力使用率’及びツールチップで電力の‘使用値/収容値(kVA)’を表示します。表示された系統図は PDF などのファイルに保存、印刷、パン/ズーム操作が可能です。

## 4. DC VISOR の各機能

### 4.1. ファイル

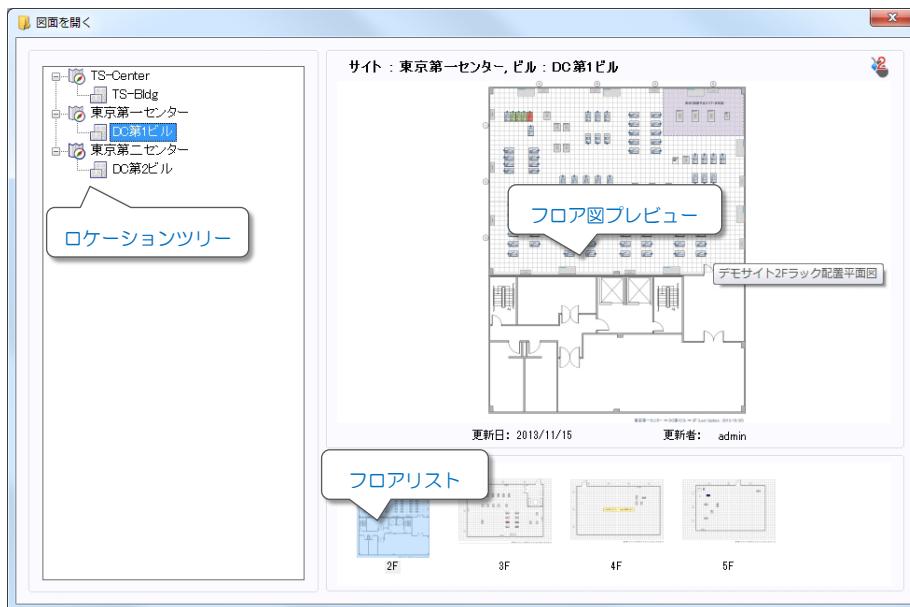
ファイルメニューはフロア図の[開く]、[ファイルに保存]、[印刷]及び[終了]構成になっています。

#### 図面を開く

DC VISOR に登録されているフロア図面を開きます。

操作： メニューバー [ファイル] - [開く] 又はツールバー「 開く」

ポップアップで表示される‘図面を開く’画面から該当フロア図面を選択します。

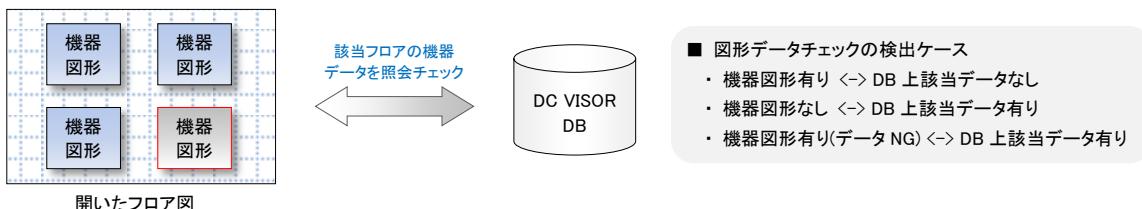


- ① ロケーションツリー： 登録されている“サイト/ビル”をツリー形式で表示します。
- ② フロアリスト： ロケーションツリーで選択(クリック)した箇所に登録されているフロアをサムネール形式で表示します。 サムネールをダブルクリックすると該当フロア図を開きます<sup>8(注)</sup>。
- ③ フロア図プレビュー： フロアリストで選択したフロア図のプレビューを表示します。 プレビューをダブルクリックすると該当フロア図を開きます。

#### 図形データの整合性チェック

フロア図が開かれる際に“整合性チェック”画面がポップアップ表示された場合は、該当フロアに配置されている機器(図形)とDB上の機器構成データの整合性が取れていないことを意味します。

統合管理者権限のユーザはこのリストを基に該当フロア図へ機器図形を追加配置又はデータリンク又は削除編集処理を行うことで整合性が保つフロア図の管理が可能です。



(注)<sup>8</sup> ・表示中のフロア図がある状態で他の図面を開くと既存図面は閉じられます



&lt;整合性チェック画面&gt;

## 操作

- リスト：特定データ(行)をダブルクリックすると該当機器の‘変更履歴詳細’画面を表示  
(※詳細‘変更履歴詳細’参照)

番号	追番
内訳	チェック内容‘データのみ存在/図面上のみ存在’を表示
種類	機器の種類を表示 (例: サーバ、ラック、空調装置など) ※ 図面上のみ存在する場合は‘種類名 (X 件)’に表示
機器名	機器の‘メーカ名’+‘モデル名’+‘型番’で機器名を表示
管理名称	該当機器の管理名称
システム名	該当機器で利用しているシステム名称
処理日	機器の変更処理(追加/移動/廃棄)日付
処理者	変更処理を実行したユーザ ID

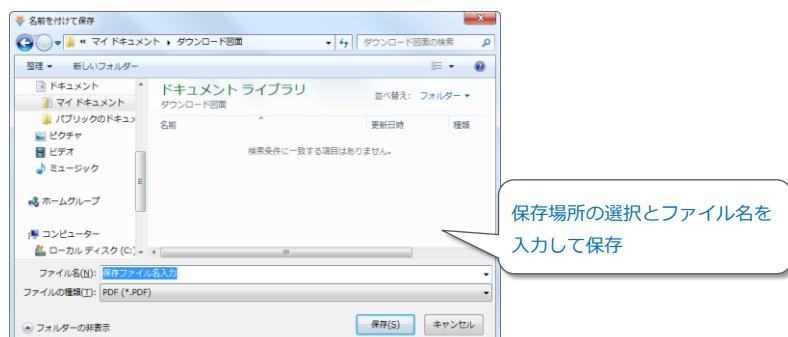
- [EXCEL 保存]ボタン：表示中のリストをクライアント PC へエクセルファイルに保存
- [印刷]ボタン：表示中のリストを印刷
- [閉じる]ボタン：この画面を閉じる

## ファイルに保存

メイン画面に表示されている図面をクライアント PC へ PDF 又は Visio(vsdx)ファイルに保存します。

### 操作：メニューバー [ファイル] - [ファイルに保存]

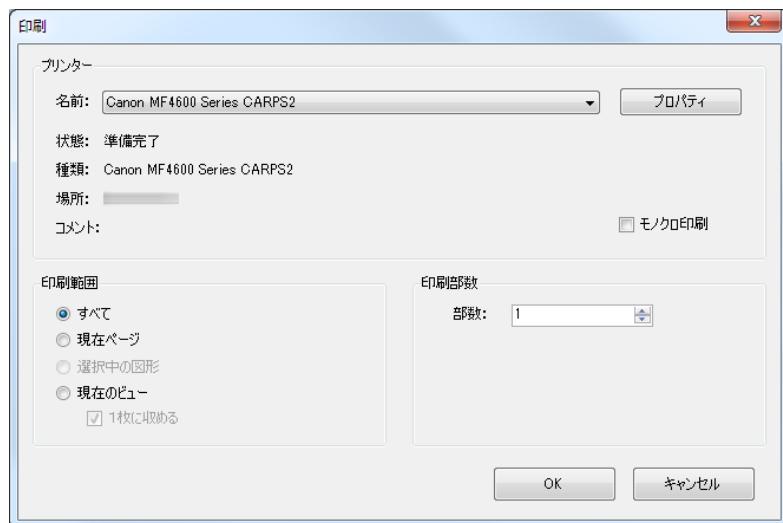
ファイル保存場所、ファイル名、ファイルの種類(pdf /vsdx)を選択してから[保存]ボタンをクリックします。



## 印刷

表示中の図面を印刷します。

**操作:** メニューバー [ファイル] - [印刷]又はツールバーの「 印刷」



使用しているプリンターナン、印刷範囲など設定状況を確認してから[OK]ボタンをクリックして図面を印刷します。

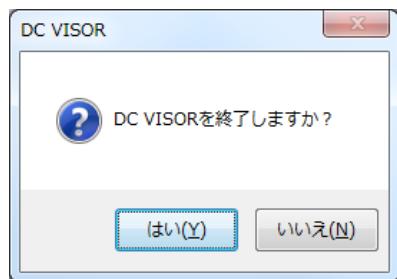
**ボタン操作**

- ・[プロパティ]ボタン : 選択しているプリンターの‘プロパティ’画面を表示します。
- ・[OK]ボタン : 設定した内容の印刷を実行します。
- ・[キャンセル]ボタン : この画面を閉じます。

## 終了

DC VISOR を終了します。

**操作:** メニューバー [ファイル] - [終了]又はメイン画面の「」閉じるボタン



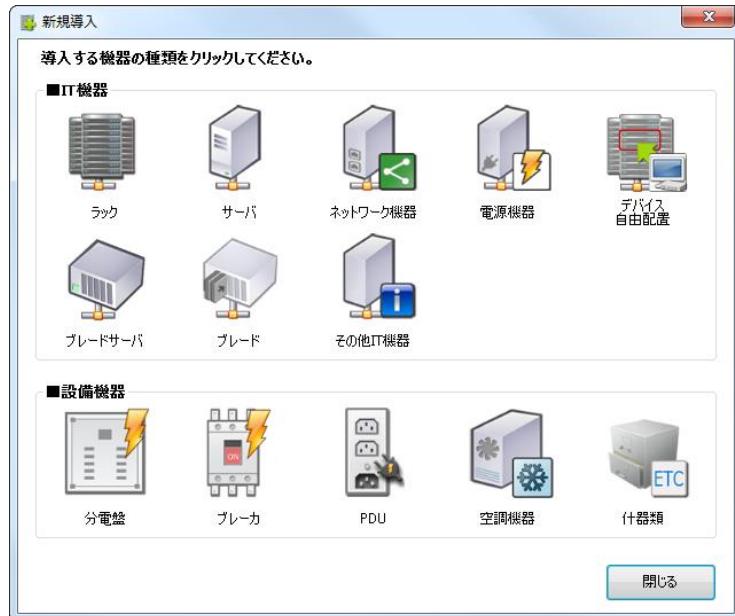
## 4.2. 編集

編集では DC VISOR で運用する機器の「新規導入」、「移動処理」、「廃棄処理」を行います。

### 新規導入

DC VISOR に機器を導入するには「新規導入」画面で導入する該当機器種類を選択し、各機器の画面で管理項目を入力(選択)して導入処理を行います。<sup>(注)</sup>

操作: メニューバー [編集] - [新規導入]又はツールバーの「+ 新規導入」



### ラック

ラックの新規導入は新規導入画面の機器選択画面から「 ラック」をクリックします。

The screenshot shows the 'Rack Entry (New)' dialog box. It includes fields for Site (東京第一センター), Building (DC第1ビル), Floor (2F), and a 'Select' button. Below this is a 'Rack Information Setting' section with fields for Management Name, Asset Number, Serial Number, System Name (with a 'Add System Name' button), Power (kVA), Weight (kg), Number of Power Outlets (U), Power Type (Power Supply Used or Not), and Power Distribution Unit (PDU). At the bottom are buttons for 'Input/Output Information Management', 'Cable Management', 'New Entry Execute', and 'Cancel'.

<sup>(注)</sup> ラック、分電盤など据え置きタイプの機器を新規導入した後は該当フロアのレイアウト修正で導入した機器图形を配置する必要があります。

## ・手順

### ① 導入場所選択

：ラックを導入する場所を選択します。デフォルトは現在開いている画面のフロアが選択されます。

他の場所を選択する場合は‘サイト/ビル/フロア’の[選択]ボタンをクリックして表示される‘ロケーション’画面から該当フロアを選択します。（※詳細‘共通操作1. 導入場所の選択’参照）

サイト	東京第一センター	ビル	DC第1ビル	フロア	2F	<input type="button" value="選択"/>
-----	----------	----	--------	-----	----	-----------------------------------

### ② 導入機器を選択(②)

：‘導入機器’の[選択]ボタンをクリックして表示される‘機器マスタ検索’画面から導入する機器を検索＆選択します。

（※詳細‘共通操作2. 導入機器の選択’参照）

### ③ ラック情報設定

- ・管理名称(②)：導入機器の管理名称を入力します。
- ・機器状態(②)：ドロップダウンリストから機器の状態を選択します。
- ・資産番号：資産番号がある場合入力します。
- ・導入日付：機器の導入日付をカレンダーから選択します。（デフォルトは当日）
- ・シリアル番号：機器管理用シリアル番号を入力します。
- ・システム名(②)：導入機器が運用されるシステム名を選択します。該当するシステム名がリスト上にない場合は [システム名追加]ボタンで追加及び修正します。（※詳細‘共通操作3. システム名の追加(修正)’参照）
- ・定格電力(kVA)：ラック本体が電力を消費する場合の定格消費電力です。変更する場合は数値を入力します。
- ・定格重量(kg)(②)：ラック本体の定格重量です。変更する場合は数値を入力します。
- ・収容電力(kVA)(②)：ラックに実装される機器の消費電力合計の上限値です。変更する場合は数値を入力します。
- ・収容重量(kg)(②)：ラックに実装される機器の定格重量合計の上限値です。変更する場合は数値を入力します。

#### 収容電力、収容重量について

ラックに実装された機器の消費電力又は定格重量のどちらの合計がこの数値を超える場合は確認メッセージが表示されます。

- ・収容ユニット数(U)：実装可能なラックのユニットの数(Uの高さ)です。（変更不可）
- ・コンセント形状：ラックが電源プラグを持っている場合その形状情報を入力します。
- ・電源使用有無：導入するラックが電源を使用するかしないかを選択します。（※詳細‘共通操作4. 電源使用有無’参照）
- ・接続電源装置<sup>10(注)</sup>：接続電源装置ではラックが接続する‘電源接続設定’とラックに実装される機器が接続するための‘取り付け PDU 登録’の設定を行います。（※詳細‘共通操作5. 電源接続設定’参照）
- ・備考：導入する機器の備考を入力します。（改行可能）

## ボタン操作

- ・[インベントリ情報管理]：インベントリ情報入力画面をポップアップ表示します。

（※詳細‘共通操作6. インベントリ情報管理’参照）

- ・[キャビネット管理]：キャビネット管理画面をポップアップ表示します。（※詳細‘共通操作7. キャビネット管理’参照）
- ・[新規導入実行]：必須項目の入力及び各設定値を確認して、新規導入を実行します。正常に完了された場合は導入完了メッセージが表示されます。
- ・[キャンセル]：新規導入をキャンセルしてこの画面を閉じます。

<sup>(注)10</sup> 管理者メニューの環境設定、“電源接続設定を必須にする”が[ON]になっている場合必須項目になります。

## サーバ

サーバの新規導入は新規導入画面の機器選択画面から「 サーバ」をクリックします。



### ・手順

#### ① 導入場所選択

: サーバを導入する場所を選択します。デフォルトは現在開いている図面のフロアが選択されます。

他の場所を選択する場合は‘サイト/ビル/フロア’の[選択]ボタンをクリックして表示される‘ロケーション’画面から該当フロアを選択します。(※詳細‘共通操作1. 導入場所の選択’参照)

#### ② 設置タイプ<sup>11(注)</sup>を選択

: ラックに実装するタイプのサーバは‘ラックマウントタイプ’を、フロア上に配置するタイプは‘据え置きタイプ’を選択します。

#### ③ 導入機器を選択(②)

: ‘導入機器’の[選択]ボタンをクリックして表示される‘機器マスタ検索’画面から導入する機器を検索&選択します。(※詳細‘共通操作2. 導入機器の選択’参照)

#### ④ 実装先のラックと実装 U 位置を選択 (※ラックマウントタイプのみ表示されます)

「対象ラック」： ドロップダウンリストから実装先のラックを選択します。

「ラック状況」： サーバを配置する空き U(ユニット)をクリックして実装場所として選択します。

(※詳細‘共通操作8. マウントタイプ機器の配置’参照)

#### ⑤ サーバ情報設定

- ・ 管理名称(②) : 導入機器の管理名称を入力します。
- ・ 機器状態(②) : リストから機器の状態を選択します。
- ・ 資産番号 : 資産番号がある場合入力します。
- ・ 導入日付 : 機器の導入日付をカレンダーから選択します。(デフォルトは当日)

(注)11 ‘設置タイプ’とは導入(運用)する機器の設置形をラックの中に実装する“ラックマウントタイプ”、フロア上に設置される“据え置きタイプ”と2種類のタイプに区分しています。(例:ラック -> 据え置きのみ、サーバ -> マウント/据え置き両方有り)

- シリアル番号：機器管理用シリアル番号を入力します。
- システム名(②)：導入機器が運用されるシステム名を選択します。(※詳細‘共通操作3. システム名の追加(修正)’参照)
- 定格電力(kVA)(②)：導入する機器の定格消費電力です。変更する場合は数値を入力します。
- 定格重量(kg)(②)：導入する機器の定格重量です。変更する場合は数値を入力します。
- コンセント形状：サーバの電源プラグの形状情報を入力します。
- 電源使用有無：導入するサーバが電源を使用するかしないかを選択します。  
(※詳細‘共通操作4. 電源使用有無’参照)
- 接続電源装置：サーバが接続する電源装置の設定を行います。(※詳細‘共通操作5. 電源接続設定’参照)
- 備考：導入する機器の備考を入力します。(改行可能)

### ボタン操作

- [インベントリ情報管理]：インベントリ情報入力画面をポップアップ表示します。  
(※詳細‘共通操作6. インベントリ情報管理’参照)
- [キャビネット管理]：キャビネット管理画面をポップアップ表示します。(※詳細‘共通操作7. キャビネット管理’参照)
- [新規導入実行]：必須項目の入力及び各設定値を確認して、新規導入を実行します。正常に完了された場合は導入完了メッセージが表示されます。
- [キャンセル]：新規導入をキャンセルしてこの画面を閉じます。

## ネットワーク機器

ネットワーク機器の新規導入は新規導入画面の機器選択画面から「 ネットワーク機器」をクリックします。

手順：ネットワーク機器の導入は、‘定格電力(kVA)’を0で登録可能な点を除いてサーバ導入と同様です。

詳細は‘新規導入 - サーバ’を参照してください。



## 電源機器

分電盤、ブレーカ、PDU 以外の電源機器の新規導入は新規導入画面の機器選択画面から「電源装置」をクリックします。（※ DC VISOR で‘電源機器’は機器カテゴリを区分する一つの種類です。）

・手順：電源機器の導入はサーバ導入と同様です。詳細は‘新規導入 - サーバ’を参照してください。

新規導入画面（電源機器）のスクリーンショットです。左側には機器情報入力欄があり、右側にはラック状況表示欄があります。

**機器情報入力欄:**

- サイト: 東京第一センター
- ビル: DC第1ビル
- フロア: 2F
- 設置タイプ: ラックマウントタイプ
- 対象ラック: 指定済み
- 導入機器: 指定済み
- 電源機器情報設定:
  - 管理名: [入力]
  - 資産番号: [入力]
  - シリアル番号: [入力]
  - システム名: [入力]
  - 定格電力(kVA): 0.000
  - 定格重量(kg): 0.0
  - コンセント形状: [入力]
  - 電源使用有無: 電源接続使用 (選択済)
  - 接続電源装置: [入力]
  - 備考: [入力]

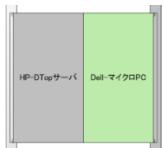
**ラック状況:**

ラック番号	状態
36	空き
35	空き
34	【SV】TK1サーバー_174稼働中
33	空き
32	空き
31	空き
30	空き
29	空き
28	空き
27	空き
26	空き
25	空き
24	空き
23	空き
22	空き
21	空き
20	空き
19	【SV】TK1サーバー_175稼働中
18	空き
17	空き
16	空き

**ボタン:** インベントリ情報管理、キャビネット管理、新規導入実行、キャンセル

## デバイス自由配置

据え置きタイプの機器をラックに搭載（板などの上に載せるなど）して管理する場合は新規導入画面の機器選択画面から「デバイス自由配置」をクリックします。



自由配置で割当てスペースに導入した機器はラック実装図で確認できます。  
(導入された機器の数分表示)

### ・手順

自由配置新規導入画面のスクリーンショットです。左側には機器情報入力欄と配置イメージ欄があります。右側にはラック状況表示欄があります。

**機器情報入力欄:**

- サイト: 東京第一センター
- ビル: DC第1ビル
- フロア: 2F
- 対象ラック: ラック A0033

**配置空間情報設定:**

- 管理名: 自由配置ABC
- 割当スペース: 10
- 導入日付: 2014年 1月27日
- 備考: 自由配置テスト備考1234567890

**配置イメージ:** 対象ラック内に機器を配置する位置を示すスクリーンショット。

**配置機器リスト:**

番号	追加・修正	削除	種類	モデル名	管理名	資産番号	シリアル番号
1	修正	削除	サーバ	PowerEdge T310	DTopサーバ	DServ-0001	DServ-0001
2	追加	削除					

**ラック状況:**

ラック番号	状態
36	空き
35	空き
34	【SV】TK1サーバー_174稼働中
33	空き
32	空き
31	空き
30	空き
29	空き
28	空き
27	空き
26	空き
25	空き
24	空き
23	空き
22	空き
21	空き
20	空き
19	【SV】TK1サーバー_175稼働中
18	空き
17	空き
16	空き

**ボタン:** 登録、削除、リセット、新規導入実行、キャンセル

注釈: '割当て基準Uを選択(クリック)'

## ① 導入場所選択

- 自由配置を導入する場所を選択します。デフォルトは現在開いているフロアの場所が選択されています。
- 他の場所を選択する場合は‘サイト/ビル/フロア’の[選択]ボタンをクリックして表示される‘ロケーション’画面から該当フロアを選択します。(※詳細‘共通操作1. 導入場所の選択’参照)

## ② 対象ラックと割当て U 位置を選択

- 「対象ラック」リストから自由配置するラックを選択して、そのラック状況から自由配置の割当ての基準となるU(ユニット)をクリックして選択します。
- ※ ラック状況に表示された既存の導入済み自由配置([FS]+管理名称に表示)エリアをダブルクリックすると該当自由配置情報の変更画面になります。

## ③ 配置空間情報設定

- 管理名称(②)：自由配置割当用の管理名称を入力します。
- 機器状態(②)：リストから機器の状態を選択します。
- 割当 U サイズ：自由配置のために割当てる U サイズ(1~ラック U サイズ)を入力します。デフォルトはラック状況で選択(クリック)した基準Uから直上へ連続で空いている最大分の空間を割当サイズとして設定します。  
(例：1Uを基準に選択、上の直近機器が10Uにある場合 1~9U の9U分をデフォルトに設定)
- 導入日付：自由配置の導入日付をカレンダーから選択します。(デフォルトは当日)
- 備考：自由配置の備考を入力します。(改行可能)

## ④ 配置イメージ設定

- 自由配置用の配置図など参考用イメージ(jpg/png/bmp)を登録/削除します。登録したイメージはキャビネットで確認できます。登録するには[登録]ボタンをクリックして、設定するイメージを選択してください。

## ⑤ 配置機器設定

- 表示中の自由配置空間(割当て空間)に据え置きタイプの機器を追加又は設定済み機器の修正、削除します。
- 自由配置機器リスト：自由配置割当てスペースに導入されている機器のリストを表示します。  
[追加]：ポップアップ表示される画面から自由配置する該当機器のアイコンをクリックして各導入画面の入力事項を入力(選択)して追加します。



&lt;自由配置する機器選択画面&gt;

番号	追加・修正	削除	種類	モデル名	管理名称	資産番号	シリアル番号	定格電力	定格重量	入力
1	修正	削除	サーバ	PowerEdge T310	自由DTOPサーバ	11111	11111	1.02	4.0	稼働
2	修正	削除	ネットワーク機器	Gb-SwitchUnit	自由スイッチGb	222	333	0.16	80.0	稼働
3	追加	削除								

&lt;自由配置機器リスト例&gt;

[修正]：配置済みの該当自由配置機器の‘情報変更’画面を表示します。

[削除]：配置済みの該当自由配置機器を削除します。

※ 自由配置リスト上の構成変更内容(追加、修正、削除)の確定は自由配置メイン画面の[新規導入実行]又は

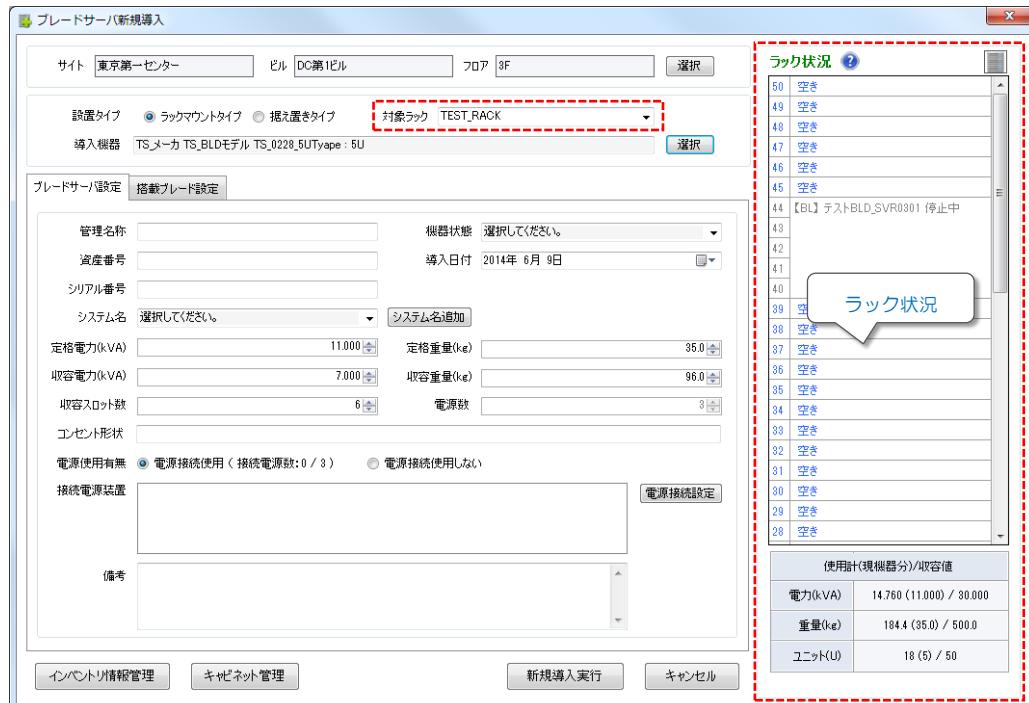
[情報変更]ボタンで確定処理されます。

### ④ ボタン操作

- ・[リセット]：入力設定した内容をリセット(クリア)します。
- ・[新規導入実行]：必須項目の入力及び各設定値を確認して、自由配置導入を実行します。  
正常に完了された場合は導入完了メッセージが表示されます。
- ・[キャンセル]：自由配置導入をキャンセルしてこの画面を閉じます。

## ブレードサーバ

ブレードサーバ(ケース)の導入は新規導入画面の機器選択画面から「 ブレードサーバ」をクリックします。



### ・手順

#### ① 導入場所選択

- ：ブレードサーバを導入する場所を選択します。デフォルトは現在開いている画面のフロアが選択されます。  
他の場所を選択する場合は‘サイト/ビル/フロア’の[選択]ボタンをクリックして表示される‘ロケーション’画面から該当フロアを選択します。(※詳細‘共通操作1. 導入場所の選択’参照)

#### ② 設置タイプを選択

- ：ラックに実装するタイプのブレードサーバは‘ラックマウントタイプ’を、フロア上に配置するタイプは‘据え置きタイプ’を選択します。

#### ③ 導入機器を選択(②)

- ：‘導入機器’の[選択]ボタンをクリックして表示される‘機器マスタ検索’画面から導入する機器を検索 & 選択します。  
(※詳細‘共通操作2. 導入機器の選択’参照)

#### ④ 実装先のラックと実装 U 位置を選択 (※ラックマウントタイプのみ表示されます)

- 「対象ラック」：ドロップダウンリストから実装先のラックを選択します。
- 「ラック状況」：配置する空き U(ユニット)をクリックして実装場所として選択します。  
(※詳細‘共通操作8. マウントタイプ機器の配置’参照)

## ⑤ ブレードサーバ(ケース)設定

- ・管理名称(②)：導入機器の管理名称を入力します。
- ・機器状態(②)：リストから機器の状態を選択します。
- ・資産番号：資産番号がある場合入力します。
- ・導入日付：機器の導入日付をカレンダーから選択します。(デフォルトは当日)
- ・シリアル番号：機器管理用シリアル番号を入力します。
- ・システム名(②)：導入機器が運用されるシステム名を選択します。(※詳細‘共通操作3. システム名の追加(修正)’参照)
- ・定格電力(kVA)(②)：ブレードサーバ(ケース)の定格消費電力です。変更する場合は数値を入力します。
- ・定格重量(kg)(②)：ブレードサーバ(ケース)の定格重量です。変更する場合は数値を入力します。
- ・収容電力(kVA)(②)：ブレードサーバに搭載されるブレード(子機)の消費電力合計の上限値です。変更する場合は数値を入力します。
- ・収容重量(kg)(②)：ブレードサーバに搭載されるブレード(子機)の定格重量合計の上限値です。変更する場合は数値を入力します。

**① 収容電力、収容重量について**

搭載されたブレード機器の消費電力又は定格重量のどちらの合計がこの数値を超える場合は確認メッセージが表示されます。

- ・収容スロット数(②)：ブレード(子機)を搭載できるブレードサーバのスロット数を入力します。
- ・電源数：ブレードサーバが持っている電源数(諸元)を表示します。電源接続はこの数分可能になります。
- ・コンセント形状：ブレードサーバの電源プラグの形状情報を入力します。
- ・電源使用有無：導入する機器が電源を使用するかしないかを選択します。(※詳細‘共通操作4. 電源使用有無’参照)
- ・接続電源装置：導入する機器が接続するする電源装置の設定を行います。(※詳細‘共通操作5. 電源接続設定’参照)
- ・備考：導入する機器の備考を入力します。(改行可能)

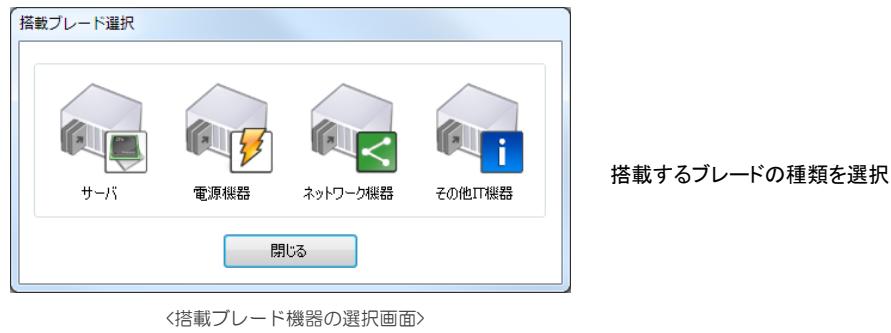
## ⑥ 搭載ブレード設定



- ・搭載イメージ：ブレードサーバのスロット構成など参照用イメージ(jpg/png/bmp)を登録/削除します。登録したイメージはキャビネットで確認できます。登録するには[登録]ボタンをクリックして、設定するイメージを選択してください。

- ・ ブレード使用状況：ブレードサーバに搭載されているブレード機器が使用するリソース状況(電力、重量使用値計/ブレードサーバ(ケース)のキャパシティー)が参考情報として表示されます。
- ・ 搭載機器(ブレード)設定  
「ブレード機器リスト」：ブレードサーバに搭載するブレード機器を追加又は設定済みブレードの修正、削除します。

[追加]：ポップアップ表示される搭載ブレード機器選択画面から搭載するブレード機器アイコンをクリックして各導入画面の入力事項を入力又は選択して追加します。



- ・ ブレード機器の導入(サーバ、電源、ネットワーク、その他 IT 機器共通)
  - ：各ブレード機器の導入項目は他の機器導入画面の内容と同様です。  
必須項目及びインベントリ、キャビネットなどを入力(選択)した後、[新規導入実行]又は[情報変更]でブレードサーバ本体の画面に反映します。

スロット	追加・修正	削除	種類	モデル名	管理名稱	資産番号	シリアル番号	使用電
1	修正	削除	サーバ	TESTBLADE1	BLD-SVR0422	ITSR-123456	BLS-1021-2A	
2	修正	削除	ネットワーク機器	ブレードNW01	TS_BLD_NW1023	ITSR-1122334	BLDS-000001	
3	追加	削除						
4	追加	削除						
5	追加	削除						
6	追加	削除						

<ブレード機器リスト例>

[修正]：配置済みの該当ブレード機器の‘情報変更’画面を表示します。

[削除]：配置済みの該当ブレード機器をブレードサーバ(ケース)から削除します。

※ ブレード機器リスト上の構成変更内容(追加、修正、削除)の確定はブレードサーバメイン画面の[新規導入実行]又は[情報変更]ボタンで確定処理されます。

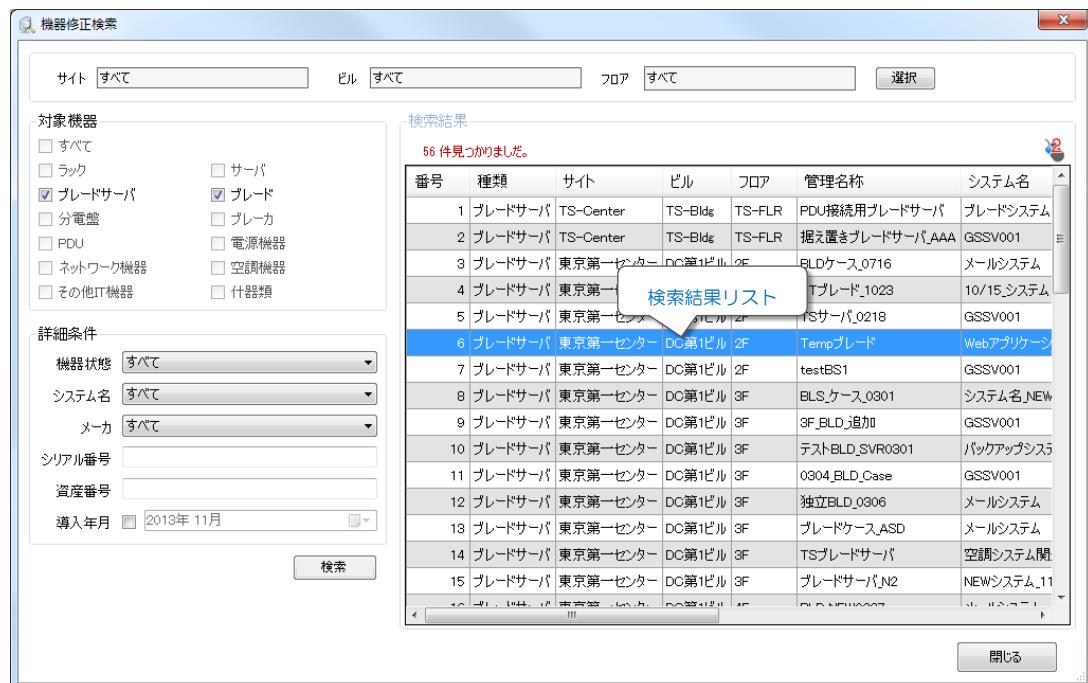
## ボタン操作

- ・[インベントリ情報管理]：インベントリ情報入力画面をポップアップ表示します。  
(※詳細‘共通操作6. インベントリ情報管理’参照)
- ・[キャビネット管理]：キャビネット管理画面をポップアップ表示します。(※詳細‘共通操作7. キャビネット管理’参照)
- ・[新規導入実行]：ブレードサーバの必須項目の入力及び各設定値を確認及び搭載したブレードの導入を実行します。  
正常に完了されたら導入完了メッセージが表示されます。
- ・[キャンセル]：新規導入をキャンセルしてこの画面を閉じます。

## ブレード

ブレードの導入は新規導入画面の機器選択画面から「 ブレード」をクリックします。

### ・手順 (1/2) : ブレードを導入する対象を検索



### ① 導入場所選択

: ブレードを搭載するブレードサーバ(ケース)がある場所を選択します。 場所を選択するには‘サイト/ビル/フロア’の [選択]ボタンをクリックして表示される‘ロケーション’画面から該当フロアを選択します。

(※詳細‘共通操作1. 導入場所の選択’参照)

### ② 対象機器 : 検索表示する対象‘ブレードサーバ’又は‘ブレード’を選択します。

### ③ 詳細条件 : 検索する対象の条件を絞る時使用します。

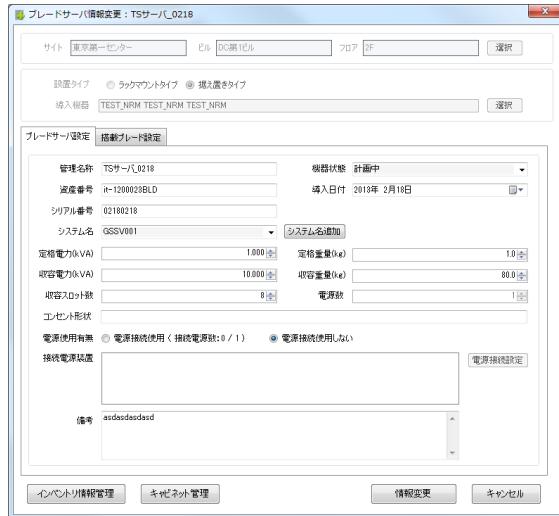
- ・機器状態：絞り込む機器の状態をリストから選択します。
- ・システム名：絞り込む機器のシステム名をリストから選択します。
- ・メーカー：絞り込む機器のメーカーをリストから選択します。
- ・キーワード1、2：任意のキーワードを入力すると検索条件として追加します(OR検索)。
- ・導入年月：使用する場合チェックボックにチェックを入れてから絞り込む機器が導入された年月を選択します。

### ④ [検索]ボタン : 上記①～③で設定した条件の機器を検索します。

⑤ 検索結果リスト：検索条件に該当する機器をリストで表示します。

#### ・手順（2/2）：ブレードを導入

検索結果リストからブレードを導入（修正）する機器（レコード）をダブルクリックすると該当ブレードサーバ（ケース）又はブレードの修正画面が表示されます。



<ブレードサーバの場合>



<ブレードの場合>

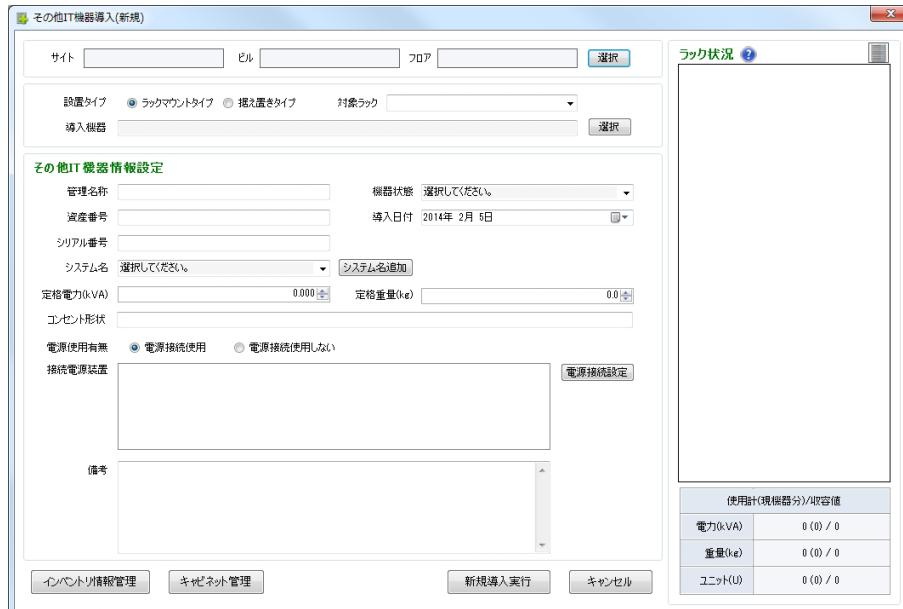
表示された画面で“搭載ブレード設定”に移動し、ブレードリストの[追加]ボタンをクリックして必要なブレードを導入します。

各画面操作の詳細は‘新規導入 - ブレードサーバ’を参照してください。

#### その他 IT 機器

DC VISOR の機器カテゴリ定型外の IT 機器の導入は新規導入画面の機器選択画面から「 その他 IT 機器」をクリックします。

・手順： その他 IT 機器の導入はサーバ導入と同様です。（‘新規導入 - サーバ’ を参照してください）

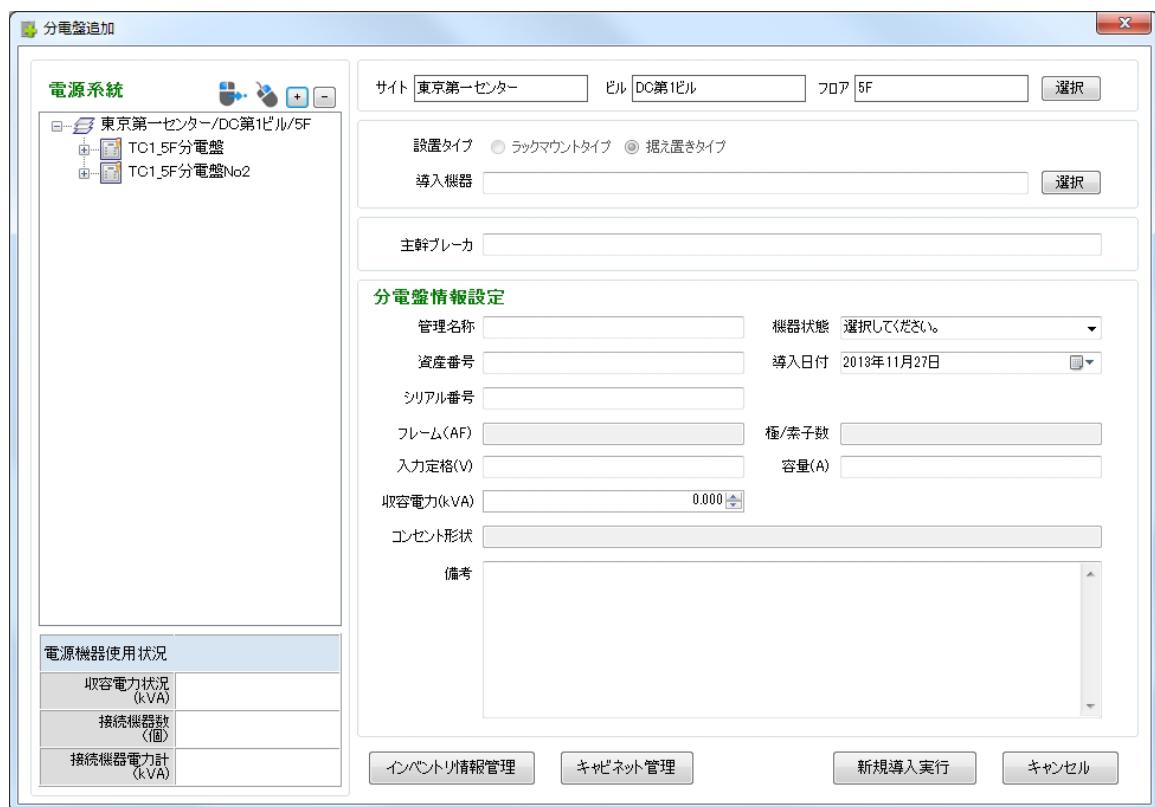


#### 分電盤、ブレーカ、PDU

DC VISOR では分電盤をはじめブレーカ、PDU までの電源系統を一つの画面上で各レベルの情報を確認しながら各レベルの新規導入（追加）及び修正することができます。

## (1) 分電盤の新規導入

新規導入画面の機器選択画面から「 分電盤」をクリックします。



### ・手順

#### ① 導入場所選択

- ：分電盤を導入する場所を選択します。デフォルトは現在開いているフロアの場所が選択されています。  
他の場所を選択する場合は‘サイト/ビル/フロア’の[選択]ボタンをクリックして表示される‘ロケーション’画面から該当フロアを選択します。（※詳細‘[共通操作1. 導入場所の選択](#)’参照）

#### ② 設置タイプ

：選択不可(分電盤は‘据え置きタイプ’のみです)

#### ③ 導入機器を選択(④)

- ：‘導入機器’の[選択]ボタンをクリックして表示される‘機器マスタ検索’画面から導入する機器を検索 & 選択します。  
(※詳細‘[共通操作2. 導入機器の選択](#)’参照)

#### ④ 主幹ブレーカ

- ：分電盤の主幹ブレーカ情報(参照用)をテキスト入力します。

#### ⑤ 分電盤情報設定

- ・管理名称(②)：導入機器の管理名称を入力します。
- ・機器状態(②)：リストから機器の状態を選択します。
- ・資産番号：資産番号がある場合入力します。
- ・導入日付：機器の導入日付をカレンダーから選択します。(デフォルトは当日)
- ・シリアル番号：機器管理用シリアル番号を入力します。

- ・ 入力定格(V)：分電盤の入力定格(V)数値を入力します。(参照用) 変更する場合は数値を入力します。
  - ・ 容量(A)：分電盤の容量(A)数値を入力します。(参照用) 変更する場合は数値を入力します。
  - ・ 収容電力(②)：分電盤に接続可能な消費電力上限値を入力します。 変更する場合は数値を入力します。
  - ・ 備考：導入する機器の備考を入力します。(改行可能)
- ※ 分電盤画面のフレーム(AF)、極/素子数、コンセント形状は入力対象外です。

## ⑥ 電源系統

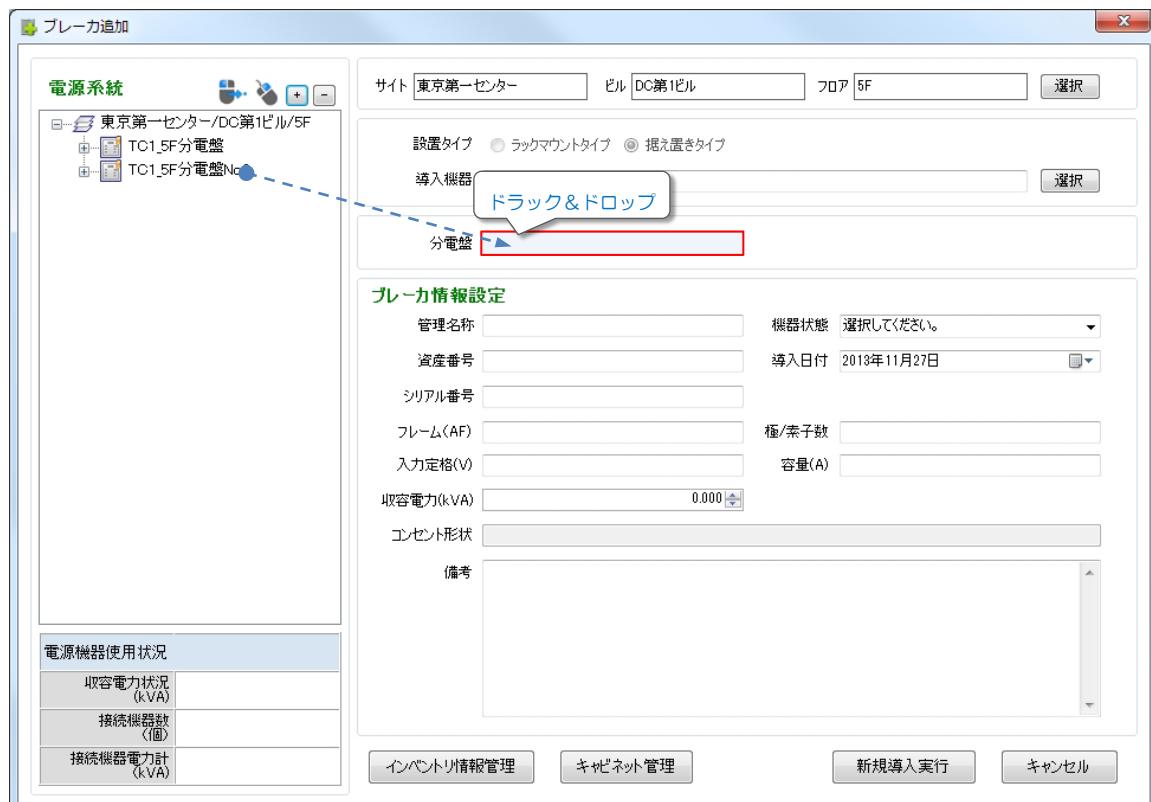
：選択している場所の電源系統の情報表示又は操作をします。(※詳細‘共通操作9. 電源系統の操作’参照)

### ① ボタン操作

- ・ [インベントリ情報管理]：インベントリ情報入力画面をポップアップ表示します。  
(※詳細‘共通操作6. インベントリ情報管理’参照)
- ・ [キャビネット管理]：キャビネット管理画面をポップアップ表示します。(※詳細‘共通操作7. キャビネット管理’参照)
- ・ [新規導入実行]：必須項目の入力及び各設定値を確認して、新規導入を実行します。  
正常に完了された場合は導入完了メッセージが表示されます。
- ・ [キャンセル]：新規導入をキャンセルしてこの画面を閉じます。

## (2) ブレーカの新規導入

新規導入画面の機器選択画面から「 ブレーカ」をクリックします。



## ・手順

### ① 導入場所選択

- ：ブレーカ導入先となる分電盤がある場所を選択します。デフォルトは現在開いているフロアの場所が選択されています。  
他の場所を選択する場合は‘サイト/ビル/フロア’の[選択]ボタンをクリックして表示される‘ロケーション’画面から該当フロアを選択します。（※詳細‘共通操作1. 導入場所の選択’参照）

### ② 設置タイプを選択：選択不可（ブレーカは‘据え置きタイプ’のみです）

### ③ 導入機器を選択(②)

- ：‘導入機器’の[選択]ボタンをクリックして表示される‘機器マスタ検索’画面から導入する機器を検索＆選択します。  
(※詳細‘共通操作2. 導入機器の選択’参照)

### ④ 分電盤の選択(②)

- ：ブレーカ導入先の分電盤を選択します。選択するには左側の‘電源系統’のツリーリストからブレーカを導入する分電盤名を選択し‘分電盤’欄までドラッグ&ドロップして設定します。

### ⑤ ブレーカ情報設定

- ・管理名称(②)：導入機器の管理名称を入力します。
  - ・機器状態(②)：リストから機器の状態を選択します。
  - ・資産番号：資産番号がある場合入力します。
  - ・導入日付：機器の導入日付をカレンダーから選択します。（デフォルトは当日）
  - ・シリアル番号：機器管理用シリアル番号を入力します。
  - ・フレーム(AF)：ブレーカのフレーム情報(参照用)を入力します。
  - ・極/素子数：ブレーカの極/素子数情報(参照用)を入力します。
  - ・入力定格(V)：ブレーカの入力定格(V)数値を入力します。(参照用) 変更する場合は数値を入力します。
  - ・容量(A)：ブレーカの容量(A)数値を入力します。(参照用) 変更する場合は数値を入力します。
  - ・収容電力(kVA)(②)：ブレーカに接続可能な消費電力上限値を入力します。変更する場合は数値を入力します。
  - ・備考：導入する機器の備考を入力します。(改行可能)
- ※ ブレーカ画面のコンセント形状は入力対象外です。

### ⑥ 電源系統

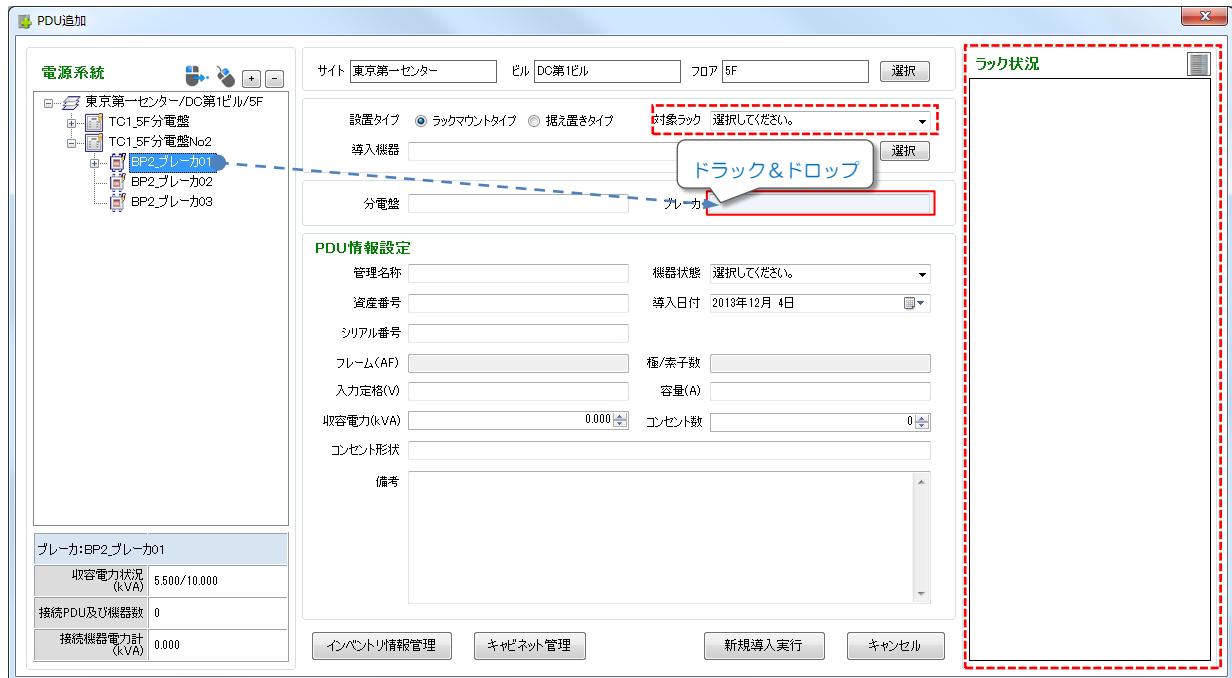
- ：選択している場所の電源系統の情報表示又は操作をします。（※詳細‘共通操作9. 電源系統の操作’参照）

#### ボタン操作

- ・[インベントリ情報管理]：インベントリ情報入力画面をポップアップ表示します。  
(※詳細‘共通操作6. インベントリ情報管理’参照)
- ・[キャビネット管理]：キャビネット管理画面をポップアップ表示します。（※詳細‘共通操作7. キャビネット管理’参照）
- ・[新規導入実行]：必須項目の入力及び各設定値を確認して、新規導入を実行します。  
正常に完了された場合は導入完了メッセージが表示されます。
- ・[キャンセル]：新規導入をキャンセルしてこの画面を閉じます。

### (3) PDU の新規導入

PDU(コンセント)の新規導入は新規導入画面の機器選択画面から「 PDU」をクリックします。



#### ・手順

##### ① 導入場所選択

- : PDU 接続先となるブレーカがある場所を選択します。デフォルトは現在開いているフロアの場所が選択されています。  
他の場所を選択する場合は‘サイト/ビル/フロア’の[選択]ボタンをクリックして表示される‘ロケーション’画面から該当フロアを選択します。(※詳細‘[共通操作1. 導入場所の選択](#)’参照)

##### ② 設置タイプを選択

- : ラックの中に実装するタイプの PDU は‘ラックマウントタイプ’を、ラックの背面などに取り付けるタイプの PDU は‘据え置きタイプ’を選択します。

##### ③ 導入機器を選択(②)

- : ‘導入機器’の[選択]ボタンをクリックして表示される‘機器マスタ検索’画面から導入する機器を検索 & 選択します。  
(※詳細は‘[共通操作2. 導入機器の選択](#)’参照)

##### ④ 実装先のラックと実装 U 位置を選択 (※ラックマウントタイプのみ表示されます)

- 「対象ラック」 : ドロップダウンリストから実装先のラックを選択します。
- 「ラック状況」 : PDU を配置する空き U (ユニット)をクリックして選択します。  
(※詳細‘[共通操作8. マウントタイプ機器の配置](#)’参照)

##### ⑤ 分電盤及びブレーカの選択(②)

- : PDU の接続先の分電盤/ブレーカを選択します。選択するには左側の‘電源系統’ツリーリストから選択するブレーカ名を選択して‘ブレーカ’欄までドラッグ&ドロップして設定します。ブレーカを設定すると該当分電盤は自動設定されます。

##### ⑥ PDU 情報設定

- ・ 管理名称(②) : 導入機器の管理名称を入力します。

- ・機器状態(②)：リストから機器の状態を選択します。
- ・資産番号：資産番号がある場合入力します。
- ・導入日付：機器の導入日付をカレンダーから選択します。(デフォルトは当日)
- ・シリアル番号：機器管理用シリアル番号を入力します。
- ・入力定格(V)：PDU の入力定格(V)数値を入力します。(参照用) 変更する場合は数値を入力します。
- ・容量(A)：PDU の容量(A)数値を入力します。(参照用) 変更する場合は数値を入力します。
- ・収容電力(kVA)(②)：PDU に接続可能な消費電力上限値を入力します。変更する場合は数値を入力します。
- ・コンセント数(②)：PDU が持っているコンセント口の数を入力します。(参照用)
- ・コンセント形状：PDU が持っているコンセント形状情報を入力します。(参照用)
- ・備考：導入する機器の備考を入力します。(改行可能)

※ PDU 画面のフレーム(AF)、極/素子数は入力対象外です。

## ⑦ 電源系統

：選択している場所の電源系統の情報表示又は操作をします。(※詳細‘共通操作9. 電源系統の操作’参照)

### ボタン操作

- ・[インベントリ情報管理]：インベントリ情報入力画面をポップアップ表示します。  
(※詳細‘共通操作6. インベントリ情報管理’参照)
- ・[キャビネット管理]：キャビネット管理画面をポップアップ表示します。(※詳細‘共通操作7. キャビネット管理’参照)
- ・[新規導入実行]：必須項目の入力及び各設定値を確認して、新規導入を実行します。  
正常に完了された場合は導入完了メッセージが表示されます。
- ・[キャンセル]：新規導入をキャンセルしてこの画面を閉じます。

## 空調機器

空調機器の新規導入は新規導入画面の機器選択画面から「 空調機器」をクリックします。

・手順：空調機の導入はサーバ導入と同様です。詳細は‘新規導入 - サーバ’を参照してください。



## 什器類

作業机、物入れなどIT機器以外の什器類の導入は新規導入画面の機器選択画面から「 什器類」をクリックします。

・手順：什器類の導入は、設置タイプが「据え置きタイプ」のみ、「定格電力(kVA)」を0で登録可能な点を除いてサーバ導入と同様です。 詳細は‘新規導入 - サーバ’を参照してください。



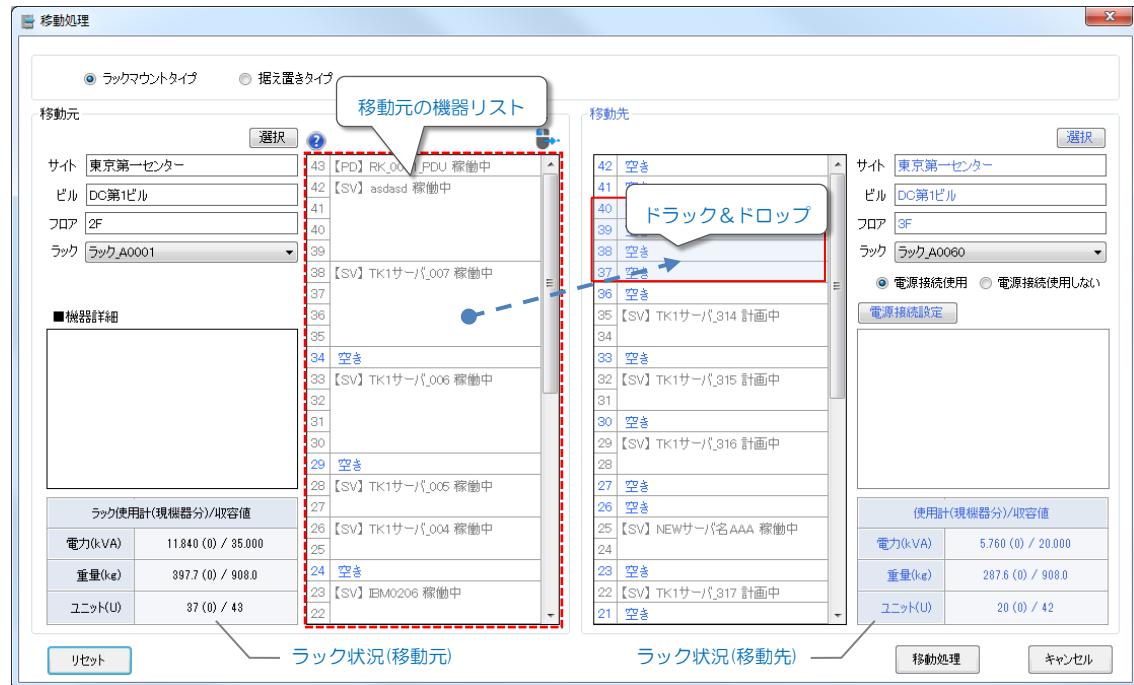
## 移動処理

移動処理は運用中の機器を現在の場所から別の場所へ移動する時行います。

移動の種類はラック内の U 移動又は特定ラックから他のラックへの移動(ラックマウントタイプ機器)、特定フロアから他のフロアへの移動(据え置きタイプ機器)があります。 移動処理した機器はデータベース上の設置場所情報を更新します。

操作 : メニューバー [編集] - [移動処理]又はツールバー又はコンテキストメニューの[ 移動処理 ]

### (I) ラックマウントタイプ機器の場合



#### ・手順 (1/2) : 移動処理準備 - 移動対象の機器がある場所と機器を選択します。<sup>12(注)</sup>

- ① マウントタイプ選択(④) : ‘ラックマウントタイプ’を選択します。
- ② ロケーション選択(④) : 移動対象機器がある場所を選択します。 デフォルトは現在開いているフロアの場所が選択されています。 他の場所を選択する場合は‘サイト/ビル/フロア’の[選択]ボタンをクリックして表示される‘ロケーション’画面から該当フロアを選択します。(※詳細は‘共通操作1. 導入場所の選択’参照)
- ③ ラック選択(④) : 移動する機器がマウントされているラックをリストボックスから選択します。
- ④ ラック状況 : 移動元/移動先のラックのリソース(電力、重量、ユニット)状況を表示します。(参考情報用)
- ⑤ 機器リスト : ③で選択したラックの搭載機器構成を表示します。
- ⑥ 機器詳細情報 : 機器リストで選択(クリック)した機器の参考情報を表示します。

#### ・手順 (2/2) : 移動処理実行 - 移動先を選択、電源接続設定をして移動処理します。

- ① ロケーション選択(④) : 機器の移動先を選択します。‘サイト/ビル/フロア’の[選択]ボタンをクリックして表示される‘ロケーション’画面から移動先のフロアを選択します。(※詳細は‘共通操作1. 導入場所の選択’参照)
- ② ラック選択(④) : 移動先のラックをリストボックスから選択します。
- ③ 移動機器のセット : 移動元の機器リストから移動する機器を選択して移動先の機器リスト(ラック)の空いているユニットまでラック&ドロップしてマウント位置をセットします。

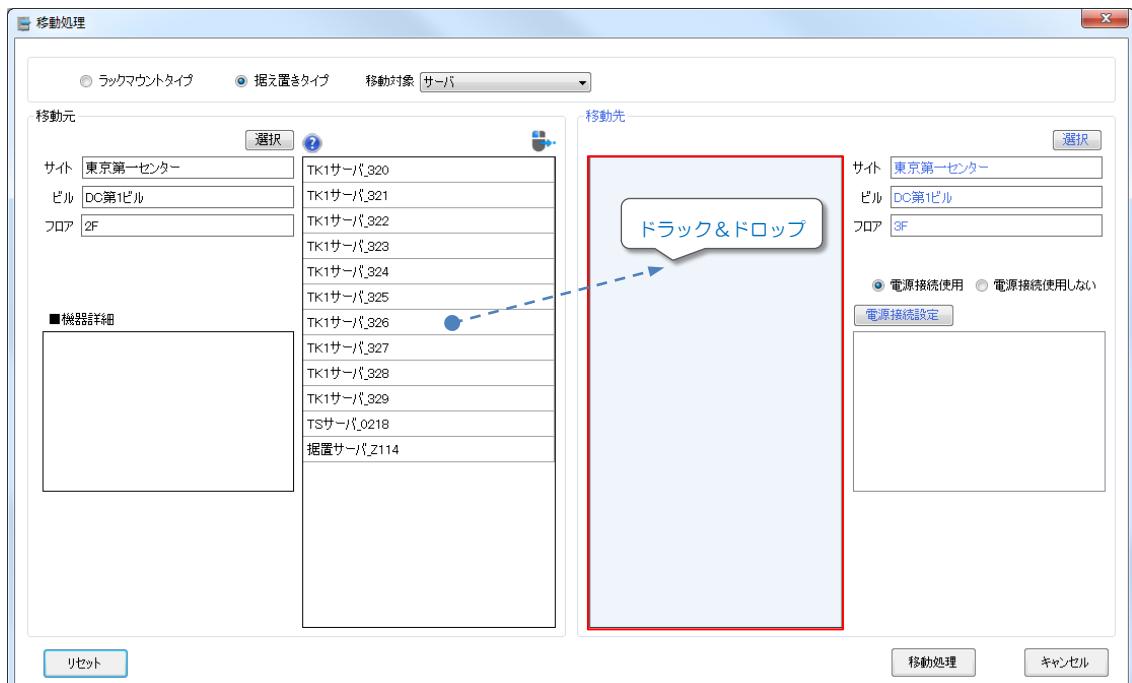
※1. 移動機器をセットした後は移動機器の変更又は移動先の変更ができません。 変更が必要な場合は[リセット]ボタンでリセットしてから行ってください。

(注)<sup>12</sup> コンテキストメニューから実行された場合は移動元項目の選択は不要です。

※2. 「[FS]」自由配置の割当てスペース及び配置機器は移動処理の対象外となっています。自由配置の移動が必要な場合は該当自由配置を廃棄処理してから新規で導入してください。

- ④ 電源接続使用の選択：移動対象機器の既存設定項目「電源使用有無」の設定状態が反映されています。  
変更するには該当ラジオボタンを選択してください。
- ⑤ 電源接続設定：移動先の電源接続設定を行います。移動機器が“電源接続使用”選択時のみ設定できます。  
電源系統の情報表示又は操作をします。(※詳細‘共通操作5. 電源接続設定’参照)
- ⑥ 移動処理実行：移動先、移動元、電源接続設定が終わったら[移動処理]ボタンで移動処理を実行します。

## (II) 据え置きタイプ機器の場合



### ・手順 (1/2)：移動処理準備 - 移動対象の機器がある場所と機器を選択します。

- ① マウントタイプ選択(②)：‘据え置きタイプ’を選択します。
- ② 移動対象の選択：移動対象になる機器の種類をリストボックから選択します。
- ③ ロケーション選択(②)：移動対象機器がある場所を選択します。デフォルトは現在開いているフロアの場所が選択されています。他の場所を選択する場合は‘サイト/ビル/フロア’の[選択]ボタンをクリックして表示される‘ロケーション’画面から該当フロアを選択します。(※詳細は‘共通操作1. 導入場所の選択’参照)
- ④ 機器リスト：選択した機器対象、ロケーションに該当する機器を表示します。
- ⑤ 機器詳細情報：機器リストで選択(クリック)した機器の参考情報を表示します。

### ・手順 (2/2)：移動処理実行 - 移動先を選択、電源接続設定をして移動処理します。

- ① ロケーション選択(②)：機器の移動先を選択します。‘サイト/ビル/フロア’の[選択]ボタンをクリックして表示される‘ロケーション’画面から移動先のフロアを選択します。(※詳細は‘共通操作1. 導入場所の選択’参照)
- ② 移動機器のセット：移動元の機器リストから移動する機器を選択して移動先の機器リストまでドラッグ&ドロップしてセットします。移動機器をセットした後で他の機器に変更する場合は既存のセットした機器の上まで変更する機器をドラッグ&ドロップします。
- ③ 電源接続使用の選択：移動対象機器の既存設定項目‘電源使用有無’の設定状態が反映されています。  
変更するには該当ラジオボタンを選択してください。
- ④ 電源接続設定：移動先の電源接続設定を行います。移動機器が“電源接続使用”選択時のみ設定できます。  
電源系統の情報表示又は操作をします。(※詳細‘共通操作5. 電源接続設定’参照)

- ⑤ 移動処理実行：移動先、移動元、電源接続設定が終わったら[移動処理]ボタンで移動処理を実行します。

### ボタン操作

- ・ [リセット]：移動機器のセット状態をリセットします。
- ・ [移動処理]：必須項目の入力及び各設定値を確認して、移動処理を実行します。  
正常に完了された場合は移動処理完了メッセージが表示されます。
- ・ [キャンセル]：移動処理をキャンセルしてこの画面を閉じます。

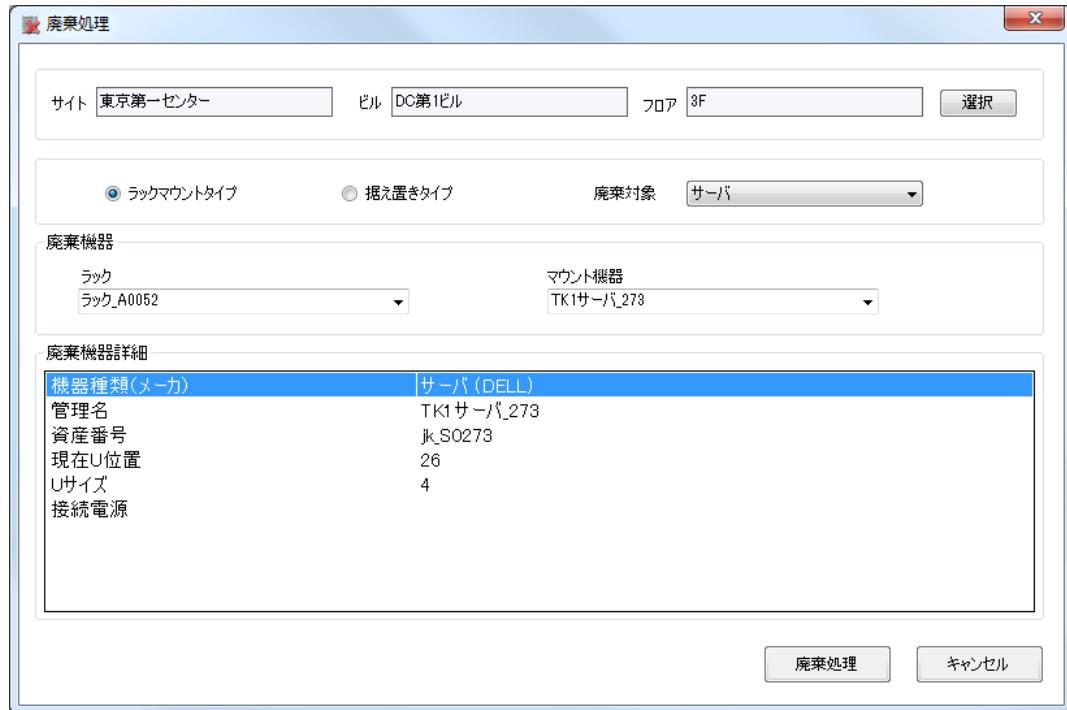
### 移動処理について

- マウントタイプ機器の移動時、移動先の該当ラックの収容電力、収容荷重に移動機器の電力、荷重を加えてその上限範囲を超える場合は確認メッセージが表示されます。(環境設定の設定による)
- 「ラック」の移動処理時、該当ラックにマウントされている機器が1台以上ある場合は移動処理できません。  
この場合は該当ラックを空にして移動処理する必要があります。
- ラック、メインフレームなど据え置きタイプの機器を移動処理した後は‘移動元’及び‘移動先’それぞれのフロアレイアウトを修正する必要があります。(※詳細は‘レイアウト修正’参照)
- 自由配置した機器、ブレード(子機)、分電盤、ブレーカ、PDUは移動処理対象外機器です。

## 廃棄処理

廃棄処理は機器の取り外しなど機器を廃棄処理する時に利用します。 廃棄処理したラックマウントタイプ機器は処理後、該当実装図のレイアウトに自動反映されます。

操作：メニューバー [編集] - [廃棄処理]又はツールバーの「 廃棄処理」



### 手順

- ① ロケーション選択(): 廃棄対象機器がある場所を選択します。デフォルトは現在開いているフロアの場所が選択されています。他の場所を選択する場合は‘サイト/ビル/フロア’の[選択]ボタンをクリックして表示される‘ロケーション’画面から該当フロアを選択します。(※詳細は‘[共通操作1. 導入場所の選択](#)’参照)
- ② マウントタイプ選択(): 廃棄する該当機器のマウントタイプを選択します。<sup>13</sup>
- ③ 廃棄対象(): 廃棄対象になる機器の種類をリストボックスから選択します。
- ④ 廃棄機器の選択  
「ラックマウントタイプの場合」
  - ・ ラック選択(): 廃棄する機器がマウントされているラックをリストボックスから選択します。
  - ・ マウント機器: 上記で選択したラックに搭載機器がリストに表示されます。リストから該当機器を選択します。

#### 「据え置きタイプの場合」

- ・ 据え置きタイプ機器: 選択したロケーションに該当する据え置きタイプ機器をリストに表示します。リストから該当機器を選択します。

- ⑤ 廃棄機器詳細: 機器リストで選択(クリック)した機器の参考情報を表示します。

\*(注)図面上で機器を選択、コンテキストメニューから廃棄処理を実行した場合は廃棄処理実行の確認メッセージが直接表示されます。

ボタン操作

- ・ [廃棄処理]: 必須項目の入力及び各設定値を確認して、廃棄処理を実行します。  
廃棄実行確認メッセージ画面で[はい]を選択すると処理されます。正常に完了された場合は廃棄処理完了メッセージが表示されます。

<sup>(注)13</sup> 自由配置で導入した据え置きタイプの機器は“ラックマウントタイプ”を選択してから処理します。

- ・[キャンセル]：廃棄処理をキャンセルしてこの画面を閉じます。

## ① 廃棄処理について

- ※1. 「ラック」の廃棄処理時、該当ラックにマウントされている機器が1台以上ある場合は“ラック実装機器リスト”画面がポップアップ表示されます。この場合は該当ラックとマウント機器を一括で廃棄又はラックを空にして廃棄処理する必要があります。



### ボタン操作

\* [ラック実装図表示]

: ラック実装図を表示

\* [一括廃棄]

: ラックとリストの機器を一括廃棄処理

\* [閉じる]

: 廃棄処理をせずにリスト画面を閉じる

- ※2. ラック、メインフレームなど据え置きタイプの機器を廃棄処理した後は該当機器のフロアレイアウトを修正する必要があります。(※詳細は‘レイアウト修正’参照)

- ※3. 接続機器有りの電源系統(分電盤、ブレーカ、PDU)機器を廃棄処理すると“接続機器リスト”画面がポップアップ表示されます。この場合は該当電源系統機器の廃棄処理できません。廃棄するためにはリストに表示されているすべての機器の接続を解除してから行ってください。



### ボタン操作

\* [閉じる]

: 廃棄処理をせずにリスト画面を閉じる

- ※4. ブレード(子機)、自由配置した機器は該当修正画面から直接廃棄(削除)処理します。

## 4.3. データ

### 更新

更新はメイン画面に表示中のフロアの機器データを最新データに更新します。

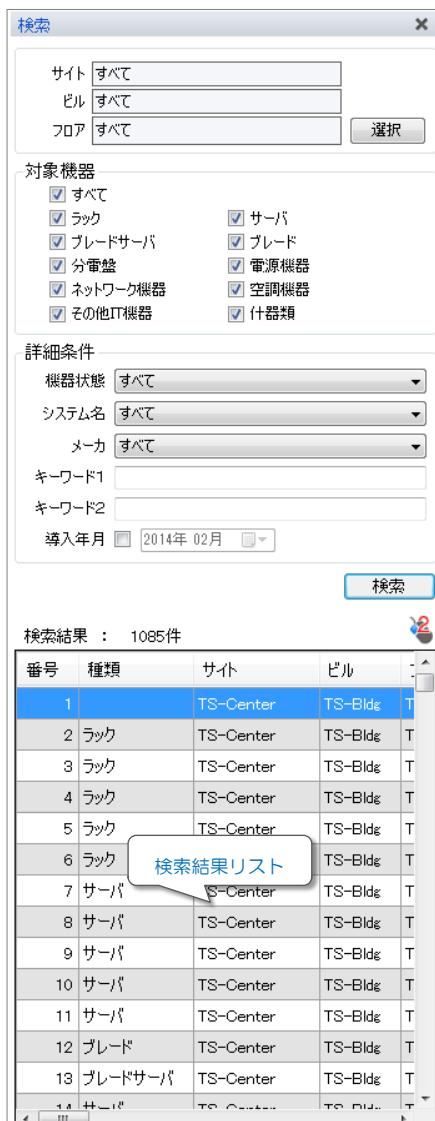
開いているフロアに属する機器の新規導入、移動、廃棄などデータの変更処理を行ってもフロア図面上には反映されません。最新データを適用するには「更新」ボタンをクリックして図面を再表示して下さい。

操作 : メニューバー [データ] - [更新]又はツールバーの[ 更新] ボタン

### 検索

運用している機器を各条件で検索し、その結果をリストに表示します。リストから選択した機器はメイン画面の図面に表示されます。

操作 : メニューバー [データ] - [検索]又はツールバーの[ 検索] ボタン



#### ・手順

① 検索範囲の選択 : 検索する機器のロケーション範囲を選択します。

‘サイト/ビル/フロア’の[選択]ボタンをクリックして表示される‘ロケーション’画面から該当フロアを選択します。

(※詳細は‘共通操作1. 導入場所の選択’参照)

② 対象機器の選択 : 検索する機器の種類を選択(チェック)します。

(複数可) ‘すべて’をクリックすると全項目の選択/解除が切り替えられます。

③ 詳細条件の設定 : 検索の詳細条件を追加して対象をさらに絞り込みします。

[機器状態] : 検索する機器の状態をリストボックスから選択します。

[システム名] : 検索する機器のシステム名をリストボックスから選択します。

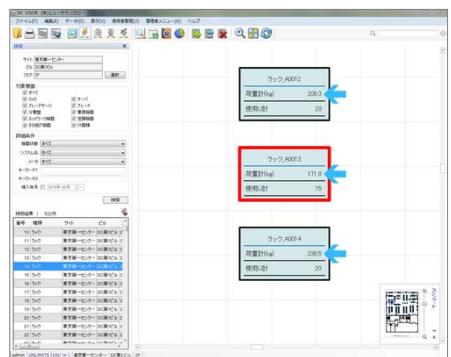
[メーカー] : 検索する機器のメーカーをリストボックスから選択します。

[キーワード1, 2] : 検索する機器の任意キーワードを入力します。  
二つのキーワード入力は OR 検索されます。

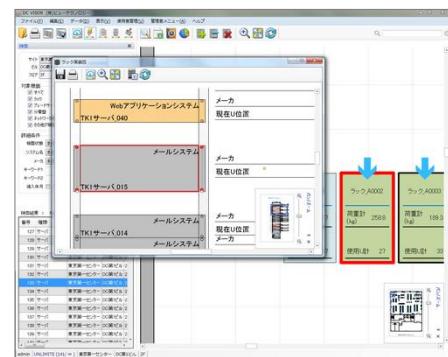
[導入年月] : 検索する機器の導入年月を指定します。導入年月を条件に追加する場合はチェックボックスにチェックを入れてカレンダーから該当年月を選択します。

④ 検索 : 設定した検索条件で機器検索を行います。実行するには[検索]ボタンをクリックします。

⑤ レイアウトの表示 : 検索結果リストに表示された特定機器データをダブルクリックすると該当機器があるフロア図上で機器をズーム表示します。マウントタイプ機器の場合は実装図上での位置も一緒に表示されます。

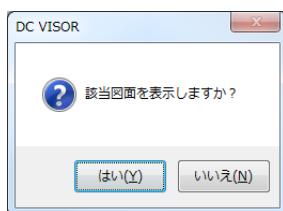


&lt;据え置きタイプの検索表示例&gt;

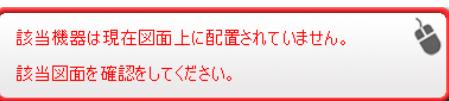


&lt;ラックマウントタイプの検索表示例&gt;

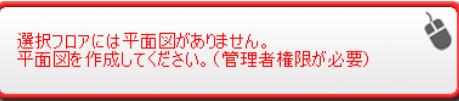
- ※1) レイアウト表示する機器の場所が開いているフロアと異なる場合は、該当フロア図の表示を確認するメッセージが表示されます。このメッセージで[はい]を選択すると現在のフロア図を閉じて該当フロア面と検索した機器が表示されます。



- ※2) レイアウト表示する機器の図形がフロアの上に配置されていない場合(データのみ)は以下の確認メッセージが表示されます。



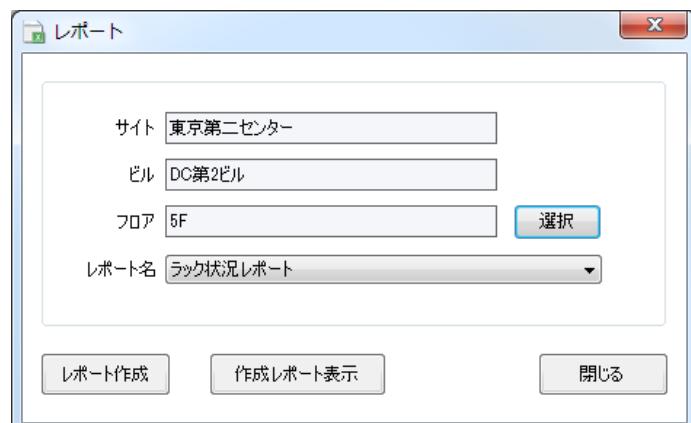
- ※3) レイアウト表示する機器があるフロアに平面図が登録されていない場合(ロケーション、機器データのみ)は以下の確認メッセージが表示されます。



## レポート

レポート機能は運用管理している各種機器の情報を定型レポートとしてファイル(xls)に作成します。DC VISOR のレポートは‘ラック状況’、‘実装機器’、‘電力状況’、‘リージョン状況’4種類のレポートが用意されています。

操作 : メニューバー [データ] - [レポート]又はツールバーの[レポート]ボタン

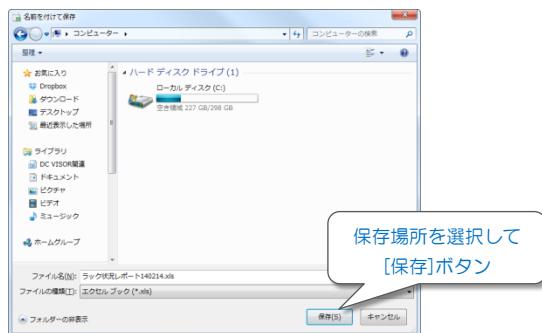


## ・手順

- ① ロケーション選択(②)：レポートを作成する範囲を選択します。デフォルトは現在開いているフロアの場所が選択されています。他の場所を選択する場合は‘サイト/ビル/フロア’の[選択]ボタンをクリックして表示される‘ロケーション’画面から該当フロアを選択します。(※詳細は‘共通操作1. 導入場所の選択’参照)
- ② レポートの選択(②)：‘レポート名’リストボックスから作成するレポートを選択します。

## ① ボタン操作

- ・ [レポート作成]：手順①、②で設定したレポートを作成します。[レポート作成]ボタンをクリックすると‘名前を付けて保存’画面が表示されます。適当な場所を選択して[保存]ボタンをクリックして保存します。



- ・ [作成レポート表示]：作成したレポートをExcel上で表示します。(※表示するにはMicrosoft®社のExcelが必要です)
- ・ [閉じる]：この画面を閉じます。

## 契約満了機器照会

契約満了機器照会は各機器の‘インベントリ’で‘保守満了日’、「リース満了日」を入力した機器を対象に、指定した期間に保守又はリース契約が満了される機器の照会を行います。

### 操作：メニューバー [データ] - [契約満了機器照会]



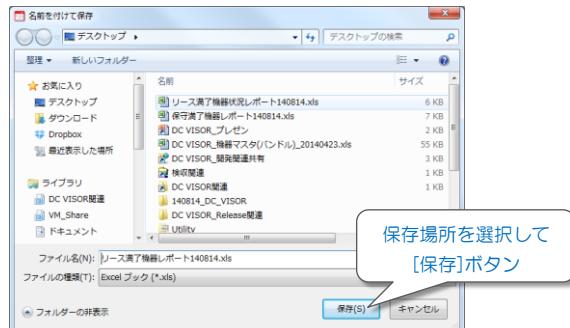
## ・手順

- ① 照会対象の選択(②)：照会する契約種類をクリックして選択します。
- ② 満了期間の選択(②)：照会する満了期間をクリック選択します。

特定の期間を指定して照会する場合は、‘期間設定’を選択して該当期間(From～To)をカレンダーから選択します。

## ボタン操作

- ・ [検索]ボタン：選択した契約種類と満了期間に該当するすべての機器を検索してリストに表示します。
- ・ [レポート出力]：リストに表示された機器を“保守満了機器レポート”又は“リース満了機器レポート”として Excel ファイルに出力します。 [レポート作成]ボタンをクリックすると‘名前を付けて保存’画面が表示されます。  
適当な場所を選択して[保存]ボタンをクリックして保存します。



- ・ [閉じる]：この画面を閉じます。

## 変更履歴照会

DC VISOR で行った新規/移動/廃棄の全変更処理の履歴<sup>14(注)</sup>をロケーション、対象機器、変更処理日などの条件で検索し閲覧する機能です。

### 操作：メニューバー [データ] - [変更履歴照会] 又はツールバーの [ 変更履歴照会] ボタン

No	管理名称	資産番号	シリアル番号	サイト名	ビル名	フロア名	ステータス
51	Dell-マイクロPC	PC-D1111	123456	東京第一センター	DC第1ビル	2F	計画中
52	自由サーバT310	123	123	東京第一センター	DC第1ビル	2F	停止中
53	デスクトップSVR	45498799		第二センター	DC第2ビル	5F	稼働中
54	TK1サーバ_263	jk_S0263		第一センター	DC第1ビル	3F	停止中
55	TK1サーバ_264	jk_S0264	3235R-301-100-W402	東京第一センター	DC第1ビル	3F	計画中
56	TK1サーバ_265	jk_S0265	3235R-301-100-W403	東京第一センター	DC第1ビル	3F	使用不可
57	TK1サーバ_266	jk_S0266	3235R-301-100-W404	東京第一センター	DC第1ビル	3F	不明
58	TK1サーバ_267	jk_S0267	3235R-301-100-W405	東京第一センター	DC第1ビル	3F	その他

## 手順

- ① 検索範囲の選択()：履歴を照会する機器のロケーションを選択します。デフォルトはすべてのロケーションが選択されています。他の場所を選択する場合は‘サイト/ビル/フロア’の[選択]ボタンをクリックして表示される‘ロケーション’画面から該当フロアを選択します。(※詳細は‘共通操作1. 導入場所の選択’参照)
- ② 対象機器の選択()：履歴照会する対象機器をラジオボタンから一括します。
- ③ 変更日付の選択：変更処理を行った日付(From～To)をカレンダーから選択します。

(注)14 変更履歴の内容はデータ基準で処理した変更の履歴です。フロア図の変更履歴に含まれません。

④ [表示]ボタン： 設定した検索条件で変更履歴を検索してその結果をリストに表示します。

⑤ 結果リスト： 検索条件に該当する変更履歴をリストで表示します。

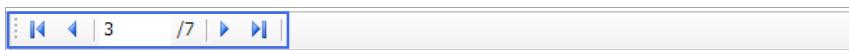
#### \* 変更履歴リストの内容

No.	追番
管理名	機器の管理名称を表示（例：‘ラック名’、‘サーバ名’など）
資産番号	機器の資産番号を表示
シリアル番号	機器のシリアル番号を表示
サイト名	機器のロケーション‘サイト名称’を表示
ビル名	機器のロケーション‘ビル名称’を表示
フロア名	機器のロケーション‘フロア名称’を表示
ステータス	該当機器のステータスを表示（機器を導入時設定した機器の状態）
更新日	該当データが更新された日付を表示
履歴区分	リストに表示されたデータが現在のデータ(現)か過去のデータ(歴)かを表示

\* (注)表示されるデータは検索時点のデータで、現在の最新状態のデータとは異なる場合もあります

#### ① ボタン操作

・ [ページコントロール]： 変更履歴リストのページ移動します。1ページのデータは1,000件単位になっています。



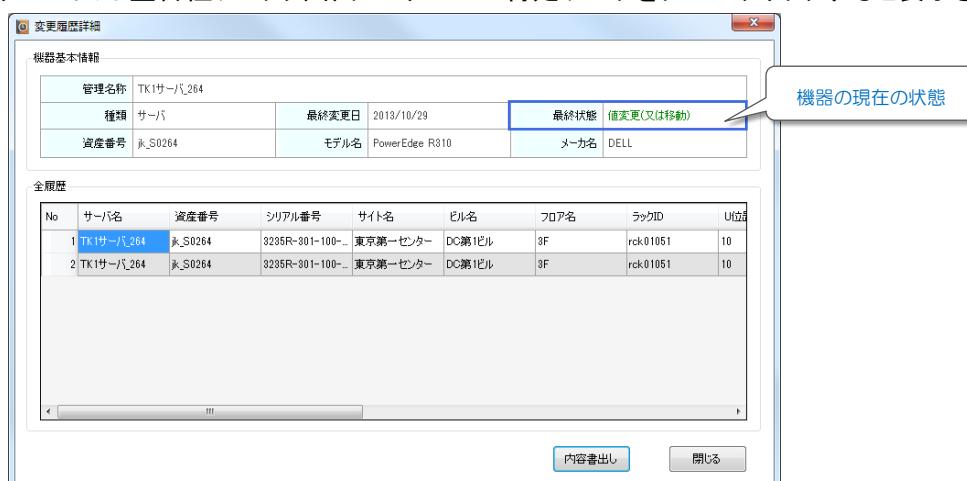
操作ボタンは順番通り[最初ページへ]、[前へ]、[現在ページ/総ページ]、[次へ]、[最後ページへ]です。

操作は各ボタンをマウス左クリックで行います。‘現在ページ’にカーソルを入れてページ(数字)を直接入力してからEnterキーで該当ページへ移動することも可能です。

・ [閉じる]ボタン： この画面を閉じます。

#### 変更履歴詳細

変更履歴詳細は特定機器の全ての変更履歴を表示します。ユーザは必要によって該当変更履歴の内容をクライアントPCにファイルで保存することができます。変更履歴詳細の表示は変更履歴照会の‘結果リスト’又は整合性チェック画面の‘リスト’で特定データをダブルクリックすると表示されます。



#### 【画面構成】

##### ① 機器基本情報

： 該当機器の管理名称、種類、変更日など基本情報を表示します。表示される情報は該当機器の最新(現在の)データを表示します。

- 最終状態：該当機器の最終変更状態を表します。表示値の状況は以下の通りです。

<b>新規導入</b>	機器を新規導入して変更が1回もない場合(全履歴1件のみ)
<b>値変更(又は移動)</b>	機器が移動処理又は機器情報の修正によって値が変更された場合
<b>廃棄(又は削除)</b>	機器の最終(最新)データが廃棄処理又は削除処理された機器

## ② 全履歴

- 該当機器が導入された時点から現在までのすべての履歴をリストで表示します。履歴表示は更新日を基準に最新データがトップに表示されます(降順)。

### ④ ボタン操作

- [内容書出し]：表示中の全履歴リストをクライアントPCにCSVファイルで保存します。
- [閉じる]：変更履歴詳細画面を閉じます。

## ダッシュボード

ダッシュボードはDC VISORで運用している機器の電力、ユニットなどの使用リソースとキャパシティー状況、機器構成情報を集計し、グラフで表示します。

### 操作：メニューバー [データ] - [ダッシュボード]又はツールバーの[ダッシュボード] ボタン



## ・手順

### ① 集計範囲選択して表示

- リソースを集計するロケーション範囲を選択します。デフォルトはすべてのロケーションが選択されています。変更を選択する場合は‘サイト/ビル/フロア’の[選択]ボタンをクリックして表示される‘ロケーション’画面から該当フロアを選択します。(※詳細‘共通操作1. 導入場所の選択’参照) フロアを選択するとダッシュボードの内容が更新表示されます。

## ② 表示内容



選択しているロケーションのリソース‘電力’、‘ユニット’、‘重量’状況を棒グラフで表示します。棒グラフの上にマウスのカーソルを載せると該当値をツールチップで表示します。

### ・電力(kVA)

: 分電盤の収容電力値合計をキャパシティーで表示、電源接続した機器の定格電力を使用値として表示します。

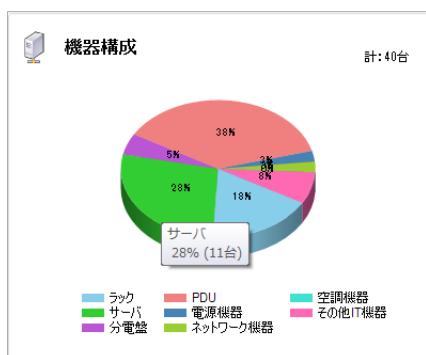
### ・ユニット(U)

: ラックの収容ユニット数(U)の合計をキャパシティーで表示、マウントされた機器の U サイズ(諸元)を使用値として表示します。

### ・ラック重量(kg)

: ラックの収容重量値の合計をキャパシティーで表示、マウントされた機器の定格重量を使用値として表示します。

・“使用率”はキャパシティーのうち使用値の割合(%)を表示しています。



選択しているロケーションの機器の構成(%、台数)を円グラフで表示します。

円グラフの上にマウスのカーソルを載せると該当機器の‘種類と構成%(台数)’がツールチップで表示されます。

※ 機器構成にはブレーカの数は含めていません。



選択しているロケーションのラックの各リース合計をラック 1 台当たりの平均値で表示します。

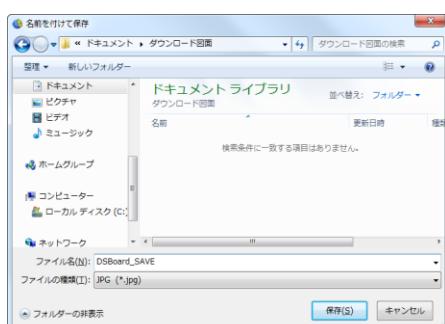
※ 平均値にはラック本体の使用電力、重量は含まれていません。

## ③ 自動更新

- ダッシュボードの更新表示するタイマーをセットできます。 セットする場合は自動更新する間隔(分)を選択してください。  
直ぐに更新表示する場合は[手動更新]ボタンをクリックしてください。

## ④ ファイル保存

- 表示中のダッシュボード内容をイメージファイル(jpg)に保存します。 [ファイル保存]ボタンをクリックするとポップアップ表示される‘名前を付けて保存’画面でファイル保存先と、ファイル名を入力して保存します。



## 4.4. 表示

### データグラフィック

データグラフィックとは、図面上の機器图形が持っているデータをテキスト/アイコン/色分け等のビジュアル的に表示する機能です。DC VISOR ではラック/サーバなど運用する機器のデータ、ステータスを“テキスト”と“色分け”してビジュアル的に表示することで情報をより簡単に素早く把握することができます。

操作 : メニューバー [表示] - [データグラフィック]-選択又はツールバーの[ データグラフィック]中で選択

#### ① ラックデータグラフィック ON/ OFF : 機器全体のデータグラフィックの表示/非表示を切り替えします。

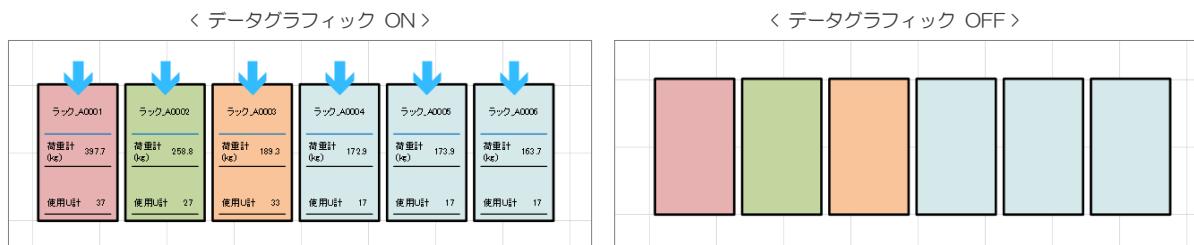
メニューバー [表示] - [データグラフィック]-[データグラフィック ON/OFF]又はツールバーの[ データグラフィック ON/OFF]をクリックすると表示/非表示が切り替えされます。

#### ② データグラフィックの種類

	データグラフィック名	内容
	ラック電力使用率色表示	ラックの収容電力使用率を表す色を表示します。
	ラック重量使用率色表示	ラックの収容重量使用率を表す色を表示します。
	ラックユニット使用率色表示	ラックの収容ユニット使用率を表す色を表示します。
	ユーザ定義色表示	機器全体対象にユーザが機器個々に定義した色を表示します。 (修正モードの‘図形色設定’で設定した色)

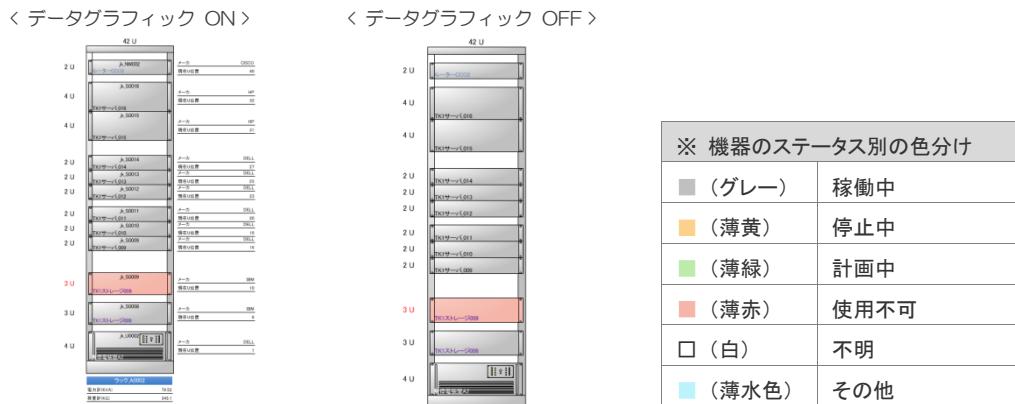
#### フロア図のラックのデータグラフィック例

ラックの“管理名称/荷重計/使用 U 計”をテキストに、“ラックの全面方向”を矢印グラフィックに、“収容電力、収容重量、収容ユニットの使用率”などを色分けで表示しています。



#### ラック実装図のデータグラフィック例

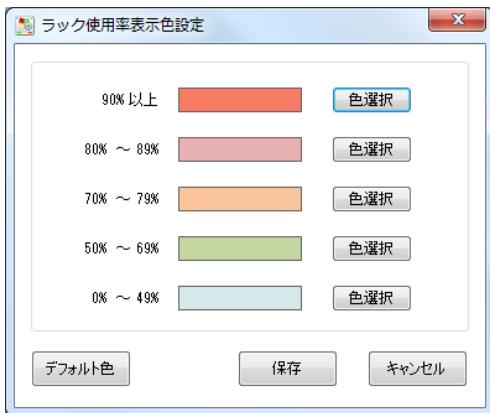
ラックの“管理名称及びリソース状況”、“実装機器の情報”をテキストに、“機器のステータス”を色分けで表示しています。



※ 表示する項目や、色分け基準値は設定によって異なります

### ③ ラック使用率表示色設定 : ラック関連の使用率色はユーザが指定することも可能です。

設定するにはメニューバー [表示] - [データグラフィック] - [ラック使用率表示色設定]を選択します。



#### ボタン操作

- [色選択] : 選択した使用率範囲の色を選択します。

ポップアップ表示された‘色の設定’画面から設定する色を選択して[OK]ボタンをクリックします。

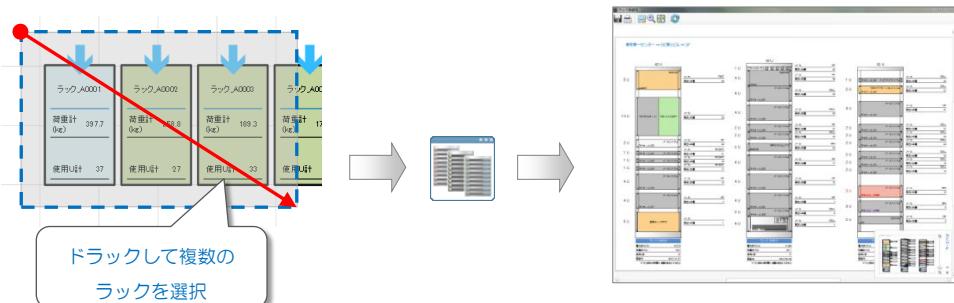


- [デフォルト色] : 各使用率別の色をDC VISORの設置初期値(デフォルト)に戻します。
- [保存] : 設定した内容を保存<sup>15(注)</sup>します。
- [キャンセル] : この設定画面を閉じます。

### ラックマルチビュー<sup>16(注)</sup>

ラックマルチビューはフロア図上で選択した複数のラックを隣並べたラック実装図(立面図)に表示します。

操作 : 複数のラックを選択してからメニューバー [表示] - [ラックマルチビュー]又はツールバーの[ ラックマルチビュー]又はコンテキストメニューの[ ラックマルチビュー]ボタン



※ ラック一覧の実装図を表示する場合は、該当ラックを選択してからコンテキストメニュー(マウス右クリックで表示)

[ ラック実装図]を選択します。

\*(注)データが正しくない又は撤去・移動処理されたラック(背景色が黒)の場合は実装図に表示されません

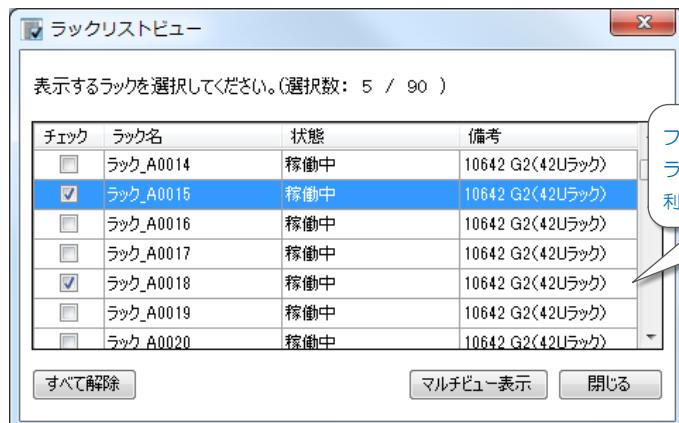
(注)15 保存した色の設定はログインユーザのPC別に適用されます。

(注)16 ラックマルチビューで同時表示可能なラックの数は最大10ラックです。

## ラックリストビュー

ラックリストビューは開いているフロア上に配置されているラックをリストで表示し、選択した複数のラックをラックマルチビューで表示します。

操作 : ツールバーの [ ラックリストビュー ]



ラック図を全体表示中で、  
ラック名称が見えない時などに  
利用します。

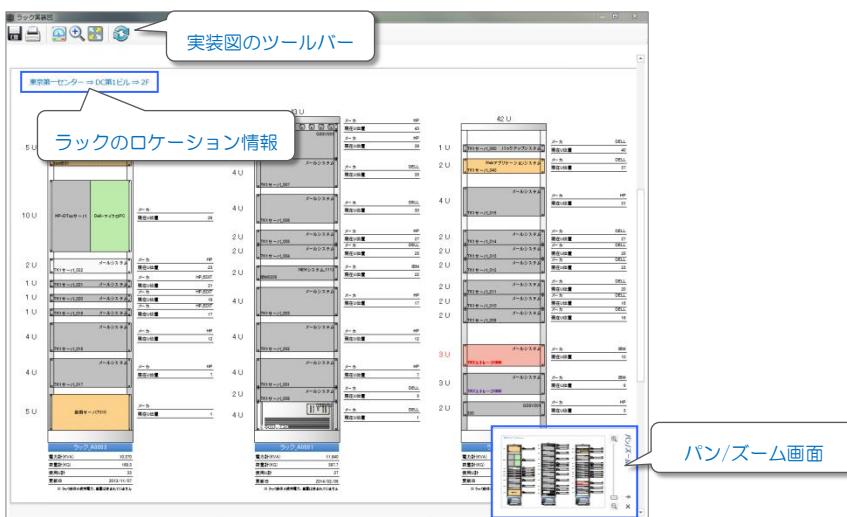
### 手順

- ① 集表示するラック(行)をクリックします。(チェックの解除はチェック(レ)されているラックを再びクリック)
- ② [マルチビュー表示]ボタンで選択したラックのマルチビューを表示します。(最大 10 ラックまで可能)

ボタン操作

- ・ [すべて解除] : 選択されたりするすべてのラックの選択状態を解除します。
- ・ [マルチビュー表示] : 選択中のラックをラックマルチビューで表示します。
- ・ [閉じる] : この画面を閉じます。

## ラック実装図画面の構成



(ラックマルチビュー、ラック実装図共通)

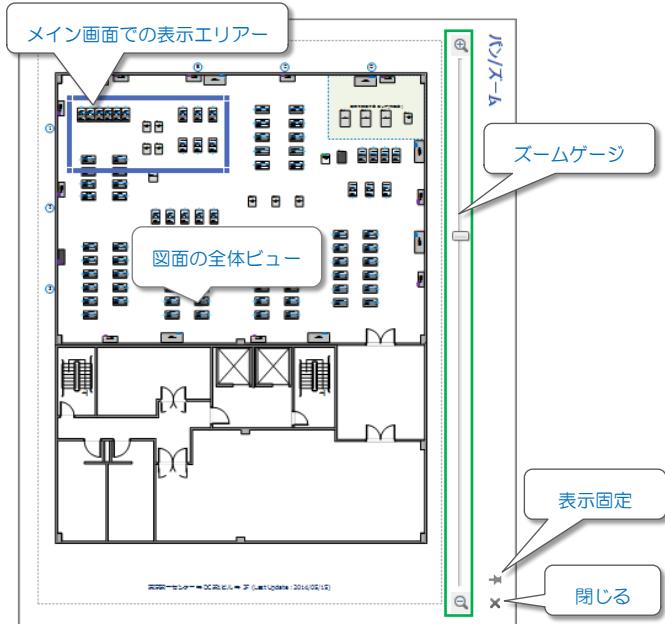
ツールバーの構成	内容
	表示中のラック実装図をファイル(vsdx、pdf)に保存します。
	表示中のラック実装図を印刷します。
	実装図に適用されているデータグラフィックを表示/非表示します。
	パン/ズーム画面を表示します。(※ 詳細は「パン/ズーム表示」参照)
	現在の Window サイズに合わせて図面を表示します。
	表示中のラック実装図を最新データに更新、表示します。

## パン/ズーム表示

パン/ズームはメイン画面に表示中の図面の拡大/縮小及びパン操作を行います。

パン/ズーム表示を実行すると“パン/ズーム”画面がメイン画面上に表示されます。

操作 : メニューバー [表示] - [パン/ズーム表示]又はツールバーの[+]パン/ズーム表示]



### 【画面構成】

- ① 全体ビュー : 開いているフロア図又は実装図の全体ビューを表示します。(ナビゲーター役割)
  - ・ ズーム表示 >> ズーム表示したい場所をマウスでドラッグし範囲選択すると該当範囲がメイン画面に反映されます。
- ② 表示エリア : メイン画面に表示されている図面のズーム(拡大)表示範囲を青い枠線で表しています。
  - ・ ズームの調節 >> 表示エリアの枠部分をマウスでドラッグして調節(カーソルが矢印 の時)できます。
  - ・ パン >> 表示エリア枠の中にカーソルを位置してマウスクリック&ドラッグで移動(カーソルが矢印 の時)します。

### ボタン操作

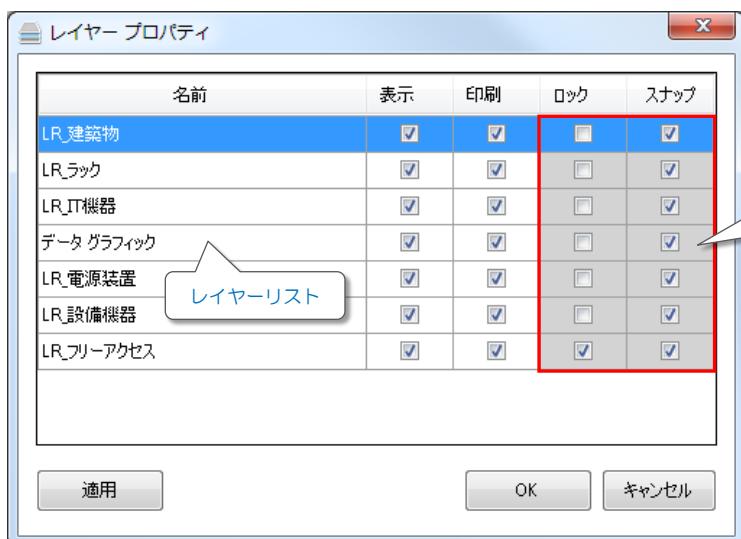
- ・ ズームゲージ : マウスで虫眼鏡の (+) 方向にクリックすると拡大、 (-) 方向にクリックすると縮小表示します。
- ・ 固定表示 : ‘自動的に隠さない’ () の時はズーム画面を常時表示、‘自動的に隠す’ () の時はマウスのフォーカスがメイン画面などに移された時にズーム画面を自動的に隠します。(クリックで切替え)
- ・ [x] 閉じるボタン : パン/ズーム画面を閉じます。

**その他** : パン/ズーム画面はサイズ調整と表示位置を変えることができます。 サイズの調整は末端部分にカーソルを移動してカーソルが矢印 になった時、クリックしてドラッグするとサイズ調整ができます。  
位置の移動はズーム画面のタイトル部分にカーソルを移動し、矢印 状態でドラッグして移動します。

## レイヤー

レイヤーは Visio で図面を作図する時設定したレイヤーを表示、非表示、印刷などレイヤーのプロパティを操作します。 機器、配線情報など目的別にレイヤーを追加して利用するとフロア図をより有効に活用することができます。

操作 : メニューバー [表示] - [レイヤー]



## 【画面構成】

- ① レイヤーリスト：表示中のフロア図が持っているレイヤーをリスト<sup>17(注)</sup>で表示します。
- ② プロパティ：レイヤー毎に「表示」、「印刷」、「ロック」、「スナップ」のプロパティの操作ができます。  
操作するには該当プロパティのチェックボックスにチェックを入れます。  
※「ロック」、「スナップ」はレイアウト修正モード時のみ操作可能になります。

### ④ ボタン操作

- ・ [適用]：設定したプロパティをプレビューで確認します。
- ・ [OK]：設定したプロパティ内容を適用してレイヤープロパティ画面を閉じます。
- ・ [キャンセル]：レイヤープロパティ画面を閉じます。

### ⑤ レイヤーとは

レイヤーとは透明なフィルム用紙の様な物(仮想的な階層)をレイヤーと言います。

レイヤーは CAD、画像ソフトなどでもよく使われる概念で例えば、建物の躯体、家具など個々の要素を目的別のレイヤーに割当てて作図し、完成したあとは重ねてみると一枚の図の様に見える原理です。



<sup>(注)17</sup> 表示されるレイヤーリストの構成は Visio で設定したレイヤー構成によって異なります。レイヤー名の先頭に 'LR\_' が付いているのは DC VISOR のデフォルトレイヤーです。Visio でフロア図を直接修正する時は削除しないでください。

## 4.5. 使用者管理

使用者管理では DC VISOR ユーザの登録、変更及び削除などのユーザ管理を行います。

操作 : メニューバー [使用者管理] - [使用者登録]

(1)一般ユーザで実行する場合 : 一般ユーザの場合はユーザ自身の情報閲覧及び修正のみ可能です。



- ・ ユーザ ID : ログイン用 ID (修正不可)
- ・ 権限 : ログインユーザの権限 (修正不可)
- ・ ユーザ名 : ログインユーザの名前
- ・ パスワード : ログイン用パスワード
- ・ [変更]ボタン : パスワード設定画面を表示
- ・ 備考 : 備考を入力します。
- ・ [修正]ボタン : 修正内容で更新します。
- ・ [削除]ボタン : (操作不可)
- ・ [閉じる]ボタン : この画面を閉じます。

(2)“管理者”、“統合管理者”的ユーザで実行する場合 : ユーザリストが表示されます。



ボタン操作

- ・ [新規登録]ボタン : DC VISOR のユーザを新規登録します。 (統合管理者のみ可能)



- ・ ユーザ ID(必須) : ログイン用 ID を入力します。
- ・ 権限(必須) : 登録するユーザの権限を選択します。
- ・ ユーザ名(必須) : 登録するユーザの名前を入力します。
- ・ パスワード(必須) : 設定したパスワード (\*で表示)。
- ・ [設定]ボタン : パスワード設定画面を表示します。
- ・ 備考 : 備考を入力します。
- ・ [登録]ボタン : 設定した内容でユーザを登録します。
- ・ [削除]ボタン : (操作不可)
- ・ [閉じる]ボタン : この画面を閉じます。

- ・ [閉じる]ボタン : ユーザリスト画面を閉じます。

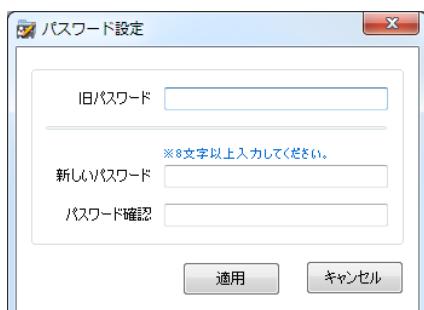
- ・ ユーザリスト : 登録されているユーザのリストを表示します。 特定ユーザの情報、権限変更などを修正する場合は該当ユーザデータをダブルクリックします。(統合管理者のみ可能)



※ 統合管理者ユーザによる‘ユーザ情報変更’  
 画面ではユーザID項目を除いた全項目の修正  
 及び該当ユーザの削除処理が可能です。  
 ・[修正]ボタン：修正した内容で更新します。  
 ・[削除]ボタン：該当ユーザを削除処理します。  
 ・[閉じる]ボタン：この画面を閉じます。

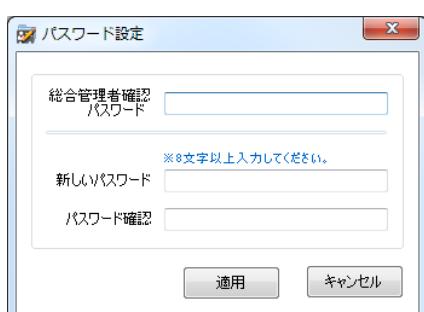
※ ログインしている統合管理者自身の権限変更はできません。

#### ・ パスワード設定画面



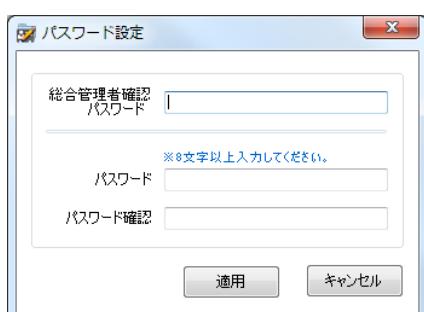
#### ログインユーザのパスワードを変更する場合

- ・旧パスワード：現在パスワードを入力します。
- ・新しいパスワード：新しいパスワードを入力します。
- ・パスワード確認：新しいパスワードの確認のためもう一度入力します。
- ・[適用]ボタン：設定したパスワードを適用します。
- ・[キャンセル]ボタン：この画面を閉じます。



#### 統合管理者が他ユーザのパスワードを変更する場合

- ・統合管理者確認パスワード：統合管理者のパスワードを入力します。
- ・新しいパスワード：新しいパスワードを入力します。
- ・パスワード確認：新しいパスワードの確認のためもう一度入力します。
- ・[適用]ボタン：設定したパスワードを適用します。
- ・[キャンセル]ボタン：この画面を閉じます。



#### 統合管理者が新規ユーザのパスワードを設定する場合

- ・統合管理者確認パスワード：統合管理者のパスワードを入力します。
- ・パスワード：登録するパスワードを入力します。
- ・パスワード確認：登録パスワードの確認のためもう一度入力します。
- ・[適用]ボタン：設定したパスワードを適用します。
- ・[キャンセル]ボタン：この画面を閉じます。

#### ① 使用者管理について

- 新規登録及び他ユーザの情報修正は‘統合管理者’のみ可能です。
- 入力したユーザIDが既に利用されている場合(重複)は登録できません。
- 一度登録した‘ユーザID’は変更できないため、修正が必要な場合は該当ユーザを削除してから再登録をしてください。
- ログインしているユーザ自身の削除及び権限の変更はできません。
- パスワードは8文字以上入力する必要があります。
- 新しいパスワードは過去4世代までのパスワードと重複チェックが行われます。

## 4.6. 管理者メニュー

管理者メニューでは‘データ管理’、‘レイアウト修正’、‘図面管理’、‘ロケーション管理’、‘機器管理’などDC VISOR を運用管理するためのメニューがグループに構成されています。 管理者メニューは“統合管理者”権限のユーザのみ利用できます。

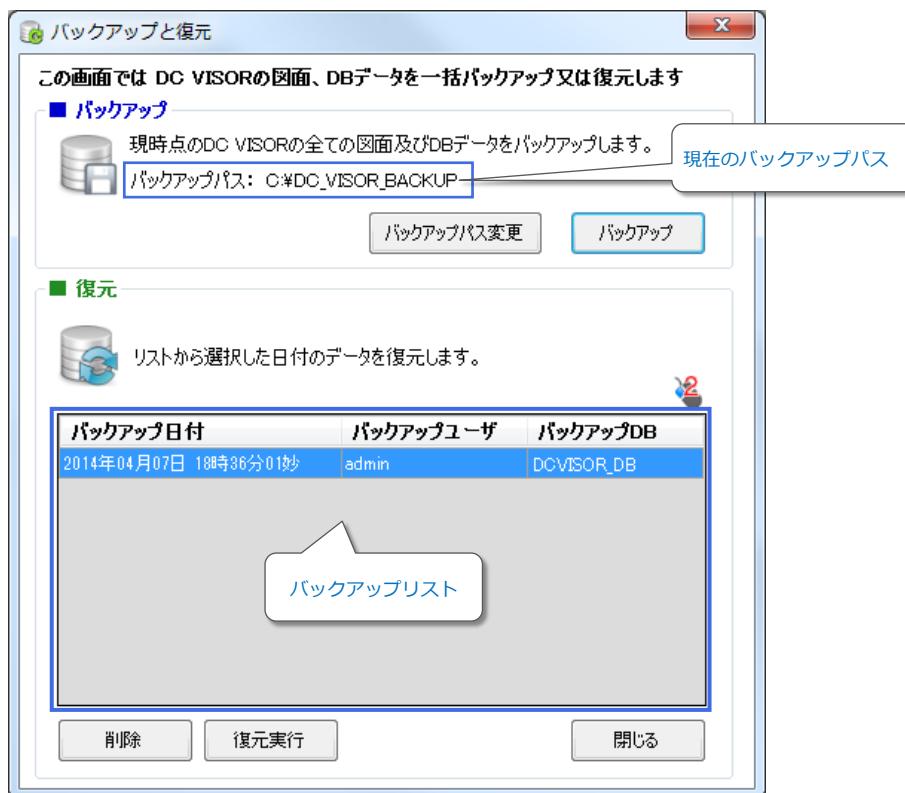
### データ管理

データ管理は‘バックアップ’、‘データ自動補正’、‘整合性チェック’などデータ関連のメニュー構成になって います。

#### (1) バックアップ

バックアップ機能はDC VISORで運用しているすべての図面とデータを一括でバックアップ又は選択した特定日付のバックアップ時点に復元処理します。

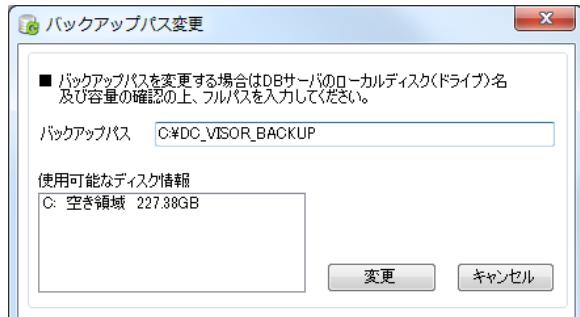
操作 : メニューバー [管理者メニュー] - [データ管理] - [バックアップ]



### バックアップ

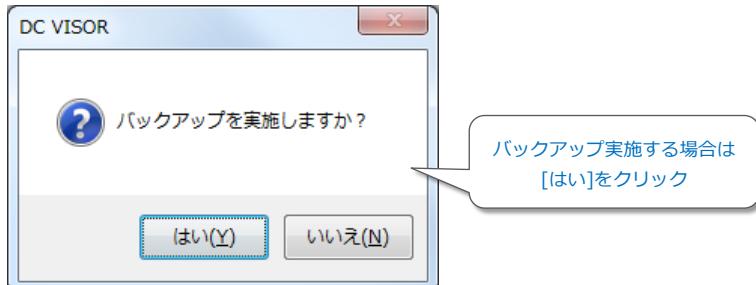
#### ボタン操作

- ・[バックアップパス変更] : DC VISOR バックアップファイルの保存先(サーバ上のパス)を変更します。



### バックアップパス変更操作

- ・**バックアップパス** : DB サーバ上のパスを入力します。(※パスに利用できない文字 / : \* ? “<>|”など)
  - ・**使用可能なディスク情報** : DB サーバ上のローカルディスク(ドライブ)名、空き容量を表示します。
  - ・**[変更]** : 入力したバックアップパスに更新します。
  - ・**[キャンセル]** : この画面を閉じます。
- ・**[バックアップ]ボタン** : 現時点で運用中の図面及びデータベースを一括バックアップします。

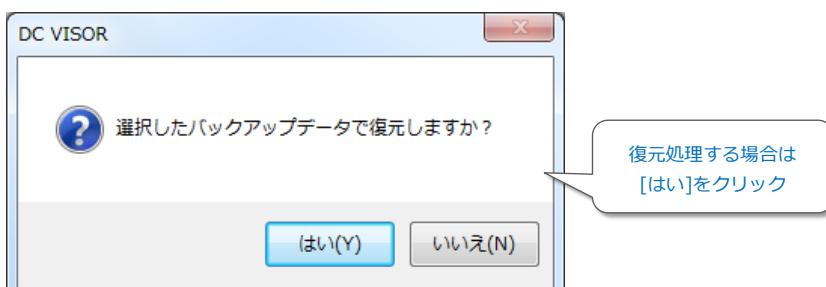


バックアップが正常に終了すると正常完了メッセージが表示されたあと、「復元」のバックアップリストに該当バックアップ分が追加されます。

## 復元

### ボタン操作

- ・**バックアップリスト** : 過去実施したバックアップのリストです。(表示はバックアップ実施日の降順)  
リストのバックアップ名は‘バックアップ日付’ + ‘実施ユーザ名’ + ‘DB 名’なっています。
- ・**[復元実行]** : バックアップリストで選択したバックアップデータ(図面及び DB)に復元処理します。  
(リストの特定日付のバックアップをダブルクリックしても復元処理を実行します)

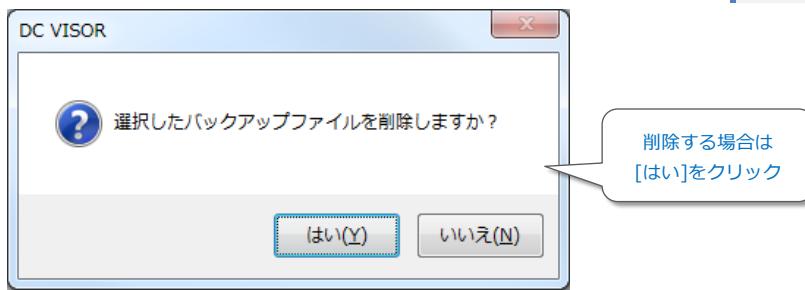


復元処理が正常に終了すると DC VISOR の‘再起動’メッセージが表示されます。



- ・**[削除]** : バックアップリストで選択した該当バックアップファイルを削除<sup>18(注)</sup>します。

<sup>(注)18</sup> 削除するバックアップは物理削除のため、実施後は復元できません。



・[閉じる] : バックアップと復元画面を閉じます。

### ① バックアップと復元について

- システムのバックアップフォルダ及びそのファイルは直接変更しないでください
- 復元処理の実施は他ユーザのログインがない時に実施してください  
( ログイン中の他ユーザがいる場合は復元処理ができません -> 案内メッセージ有り )
- 復元処理を実施すると現在の状態をシステムが自動バックアップしてから復元処理を行います  
( 自動バックアップ分はバックアップユーザが 'SYSTEM' になります )

## (2) データ自動補正

データの自動補正是、ラック、電源系統の各リソースの集計値が何らかの原因で正しく集計されない場合、現在の接続データを基に再集計する機能です。

データ自動補正を実行すると…

- ① 「ラック」毎に現在実装された機器の定格電力、重量、ユニットを再集計して更新します。
- ② 「電源系統」分電盤—ブレーカー—PDU(コンセント)に接続している機器の定格電力値を各階層別に再集計して更新します。

操作 : メニューバー [管理者メニュー] - [データ管理] - [データ自動補正]

## (3) 整合性チェック

整合性チェックは画面に表示中のフロア図に配置されている機器とDB上の該当機器データ構成を照会し、フロア図上の機器图形のプロパティを最新データに設定します。また、照会結果で整合性が取れていない場合は‘整合性チェックリスト’を作成又は更新します。

利用するシーンは…

- ・ 表示中のフロア図に最新の整合性チェックを反映したい場合。
- ・ データ取込みを実施した場合。

操作 : メニューバー [管理者メニュー] - [データ管理] - [整合性チェック]

※ フロア図上の機器構成(数)によって実行時間は異なります。

## (4) 整合性チェックリスト

画面に表示しているフロア(図)に対する‘整合性チェックリスト’をポップアップで表示します。

該当フロアの整合性が取れている場合は何も表示されません。

操作 : メニューバー [管理者メニュー] - [データ管理] - [整合性チェックリスト]

## レイアウト修正

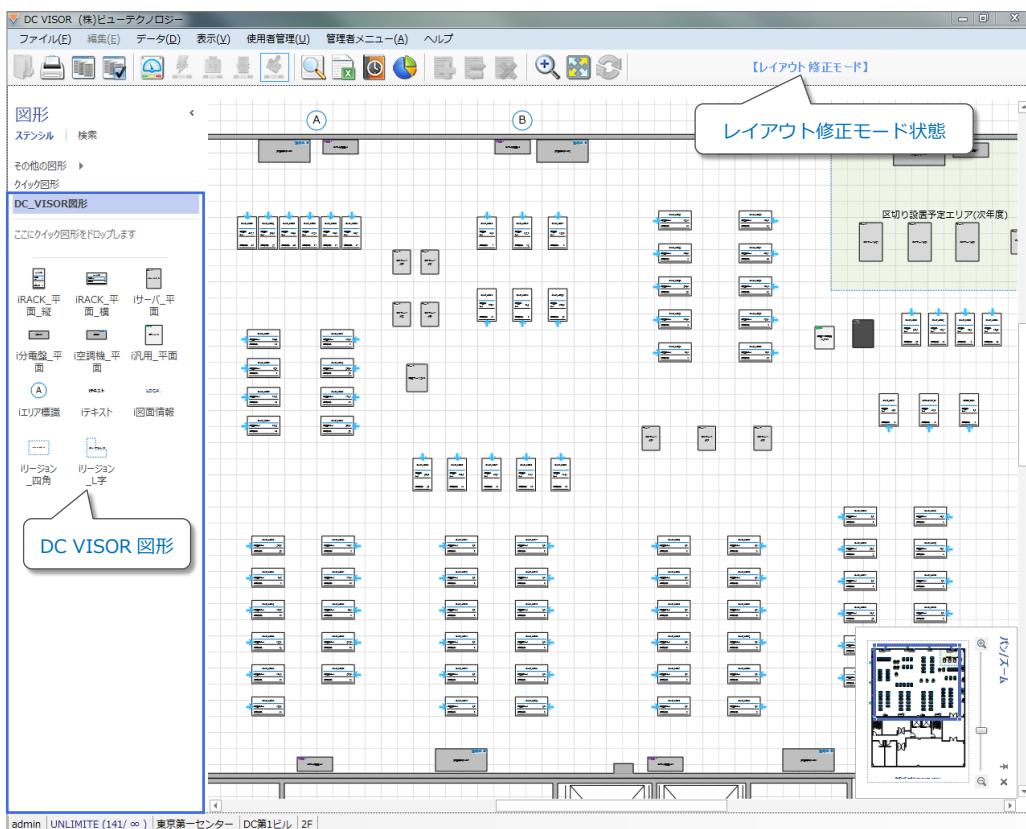
DC VISOR のフロア図は通常、ユーザの操作ミスによるレイアウトの変更を予防するために図形の修正をロックしています。フロア図に機器図形の配置、移動、削除など据え置きタイプ機器のレイアウトを修正する場合は該当フロア図を“レイアウト修正モード”にする必要があります。

レイアウト修正モードが必要なシーンは…

- 機器の新規導入後、該当機器図形をフロアに配置 & データリンク(紐づけ)する時
- 機器の移動処理後、該当移動先のフロアに機器図形を配置 & データリンク(紐づけ)する時
- 機器の移動処理又は廃棄処理後、該当元フロアの機器図形を削除する時
- 機器図形を最前面/前面へ移動する時(表示順の変更)
- 配置済みラック図形の前面方向を変更する時
- 配置する(又は配置済み)図形の色を指定(変更)する時
- 運用中の配置済み図形のデータリンクを解除する時
- 配置する(又は済み)図形のサイズ指定(変更)する時
- リージョン(図形)の新規配置及び既存リージョンの変更時

 **操作** : メニューバー [管理者メニュー] - [レイアウト修正開始]

※ レイアウトを修正するフロア図を、他ユーザが開いている場合は実行できません。



: 表示中のフロア図を“レイアウト修正モード”にするとメイン画面の右上側に「[\[レイアウト修正モード\]](#)」表示と画面の左側(又は右)に図面上に“図形”画面が表示されます。レイアウト修正モードになると新規図形の配置、既存図形の移動、回転、データリンクなど各種修正が可能になります。

## ■ DC VISOR の図形と用度

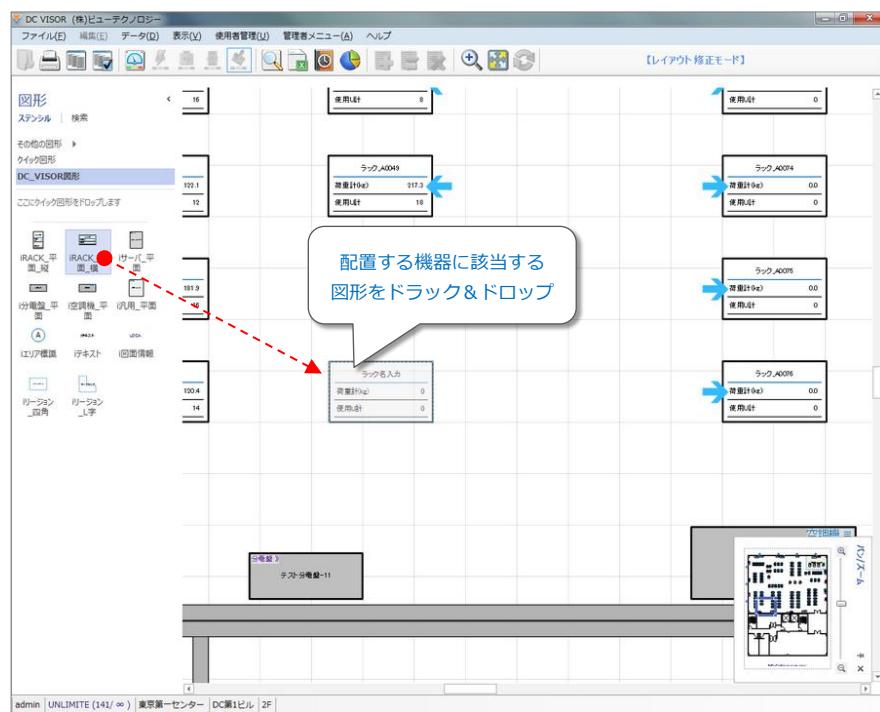
图形名	用度
iRACK_平面_横(縦)	ラック用图形 : 配置によって縦又は横の图形を選択してください。
i_サーバ_平面	メインフレームサーバ、ブレードサーバなど据え置きタイプのサーバ用图形です。
i_分電盤_平面	分電盤用图形です。
i_空調機_平面	空調機用图形です。
i_汎用_平面	上記の機器以外のその他機器用图形 : 配置後機器の種類を選択してください。
i_エリア標識_平面	エリア標識用图形（データリンク不要） : 管理するエリアテキストを入力します。
i_テキスト	テキスト入力用图形（データリンク不要） : 配置後、任意のテキストを入力します。
i_画面情報	ロケーション情報表示用图形（データリンク不要） : 新規画面の登録後、「i_画面情報图形」を配置すると該当ロケーション情報が表示されます。
i_リージョン_四角	リージョン設定用图形 : フロア上のロジカル位置情報を入力し、そのリージョン图形上に配置される機器に位置情報を自動参照させる图形です。 図面上に配置すると「リージョン設定」画面が表示されます。
i_リージョン_L字	

※ 上記の图形の構成は DC VISOR のバージョン又はカスタマイズによって異なる場合があります。

## (1) 機器图形の配置とデータリンク(紐づけ)

### ・手順

- ① 該当フロア図をレイアウト修正モードにします。
- ② 「图形」画面から配置する機器の图形を選択してフロア図の上までドラッグ＆ドロップします。



- ③ 「データリンク設定」画面で該当图形のデータとリンク(紐づけ)処理します。



#### 【画面構成と内容】

- ・資産管理する : DC VISOR 図形の他にユーザが任意で配置する図形<sup>19(注)</sup>を DC VISOR で管理する場合はチェックボックスにチェックをします。
- ・サイズ : 機器图形のサイズ横と縦 (mm)を入力します。  
フロア図上の图形は入力した数値通りにサイズが適用されます。
- ・機器種類 : 配置する機器の種類を選択します。DC VISOR 図形 ‘汎用\_平面’、及びユーザが任意配置する图形のみ選択可能です。
- ・機器情報(リスト) : データリンクが必要な機器情報をリストで表示します。(リンク済みの機器で表示した場合は該当機器情報のみ)機器情報は‘メーカー+モデル名+(型番)’になっています。複数の機器情報がある場合、リンクする該当機器をクリックして選択します。
- ・前面方向 : ラック機器图形の専用項目です。  
‘上、下、左、右’の中で選択した方向に前面を表す‘矢印’データグラフィックが表示されます。
- ・图形色 : 機器图形の色をユーザが任意指定する場合利用します。(デフォルトの色は白)  
指定した色はデータグラフィックの‘ユーザ定義色表示’で表示されます。图形の色を指定する場合は[色選択]ボタンをクリックして該当色を選択してください。

#### ボタン操作

- ・[リンク解除] : データリンク済み機器のリンクを解除する場合利用します。  
リンク解除を実行すると該当图形のデータ紐づけが解除され、色も黒反転されます。
- ・[確定] : 選択、設定した内容でデータリンク設定を確定します。
- ・[キャンセル] : 設定内容をキャンセルしてこの画面を閉じます。

## (2) 機器图形の削除

### ・手順

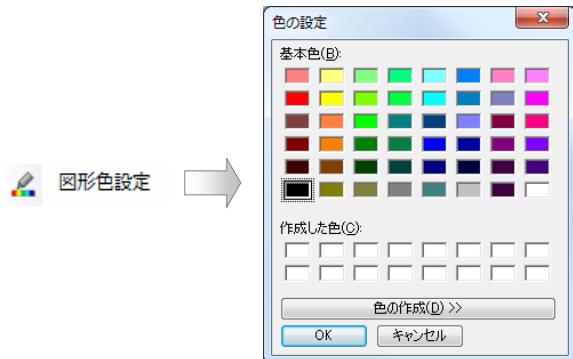
- ① 該当フロア図をレイアウト修正モードにします。
- ② フロア面の上で削除する機器图形を選択して[Delete]キーを押して削除します。

## (3) 機器图形の色指定

### ・手順

<sup>(注)19</sup> ユーザ定義图形又は Visio の基本图形などの一部は图形の属性によって DC VISOR で使用できない場合があります。

- ① 該当フロア図をレイアウト修正モードにします。
- ② フロア面上の該当機器图形を選択して色を指定します。  
：該当图形をマウスの右クリックで表示されるコンテキストメニュー「图形色設定」を選択します。  
ポップアップ表示された「色の設定」画面で該当色を選択し、[OK]ボタンで確定します。

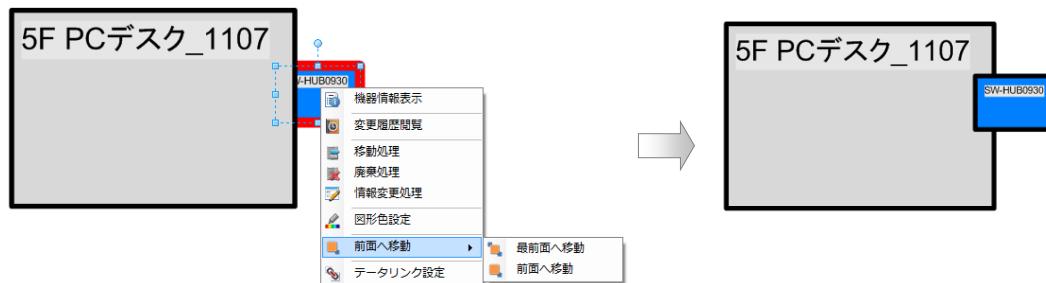


#### (4) 機器图形を最前面/前面へ移動

図面上の图形が重ねて配置されて、特定图形の表示位置(順)を最前面又は前面へ移動させる場合利用します。

##### ・手順

- ① 該当フロア図をレイアウト修正モードにします。
- ② 該当機器图形の表示位置を変更します。  
：位置を変更する該当图形をマウスの右クリックで表示されるコンテキストメニュー「前面へ移動」のサブメニューから「最前面へ移動」又は「前面へ移動」を選択します。

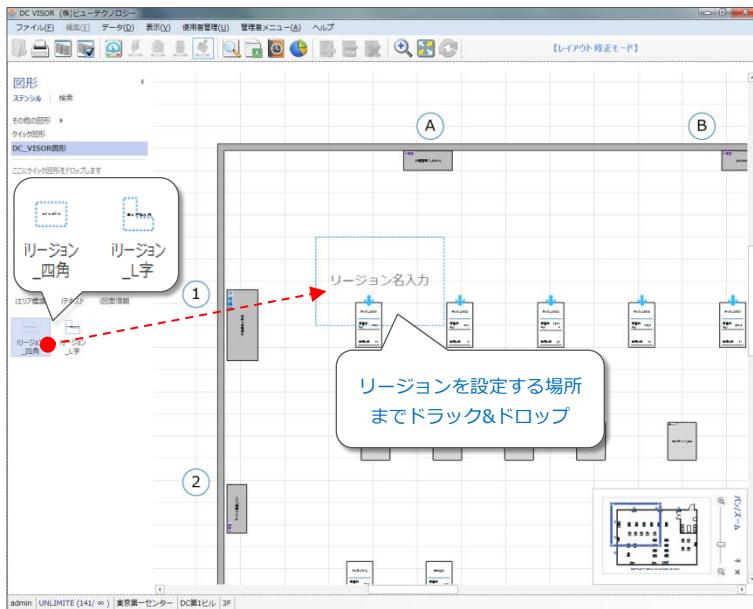


## (5) リージョン图形の追加と修正

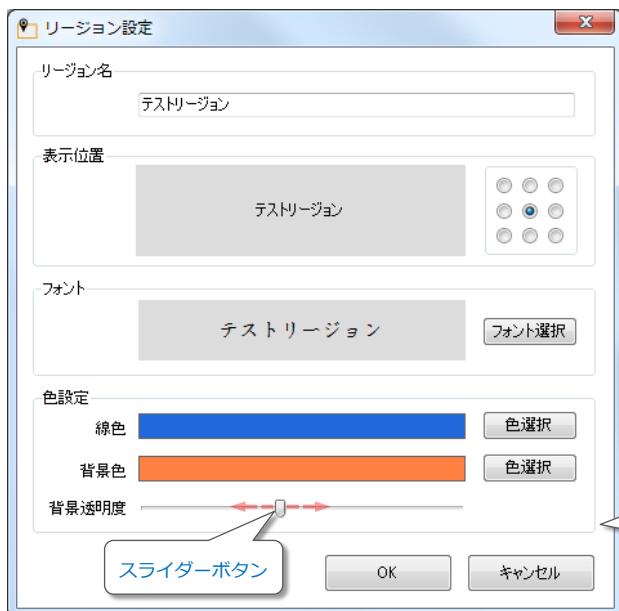
リージョン(Region)图形はフロア上でロジカル的に区画された位置情報を管理する場合利用します。 フロア図上にリージョンを設定するとその情報をリージョン图形の上に配置された個々の機器に参照させます。 リージョン情報は‘リージョン状況レポート’及び各機器の機器情報ナビの‘詳細情報’タブで確認できます。

### ・手順

- ① 該当フロア図をレイアウト修正モードにします。
- ② DC VISOR 図形から‘リージョン\_四角’(又は‘リージョン\_L字’)をフロア図の上にドラッグ&ドロップして配置します。



### ③ リージョン設定



#### 【画面構成と内容】

- ・ **リージョン名**  
：リージョン名(位置情報名称)を入力します。  
(配置済みの既存リージョン名の入力も可能)
- ・ **表示位置**  
：リージョン名が表示される位置を選択します。
- ・ **Font**  
：表示されるリージョン名のFont、サイズ、Fontの色などを指定します。
- ・ **色設定** : リージョン图形の‘線色’、‘背景色’、‘背景透明度’を設定します。

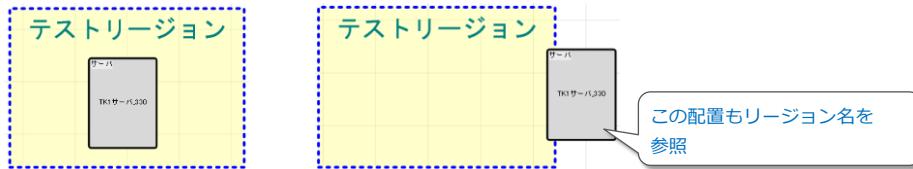
配置済みのリージョンを修正する場合は該当リージョンを選択、マウス右クリックで表示されるコンテキストメニューから[リージョン設定]をクリックして修正

### ④ ボタン操作

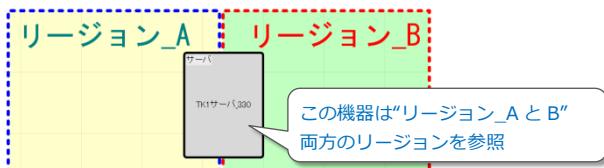
- ・[表示位置ラジオボタン] : リージョン名を表示する位置をラジオボタンから一択します。
- ・[Font選択] ボタン: クリックで表示される「Font設定画面」からFontの種類、スタイル、色などを選択します。
- ・[色選択]ボタン : 線色、又は背景色(塗りつぶし色)を各「色の設定」画面から選択します。
- ・[背景透明度]スライダー : 背景色の透明度をスライダーで左右に動かして調整します。 (左端)0 ~100(右端)
- ・[OK]ボタン : 設定した内容を適用します。
- ・[キャンセル]ボタン : 設定した内容を取り消してRegion設定画面を閉じます。

### リージョンについて

- リージョンは一つのフロア上に同じリージョン名でも登録可能です。同じリージョン名がある場合リージョンレポートでは一つのリージョンとしてグループ化されて表示されます。
- 機器図形の一部でもリージョン図形上に位置されたら該当リージョン名を参照します。



- 複数のリージョン上に重なって配置されている機器は重なったすべてのリージョン名を参照します。



## (6) 修正モードの終了

レイアウト修正内容を適用するためには、必ず該当フロア図を保存する必要があります。

保存するには“レイアウト修正終了”をクリックして表示される確認メッセージで[上書き保存]を選択します。

操作 : メニューバー [管理者メニュー] - [レイアウト修正終了]

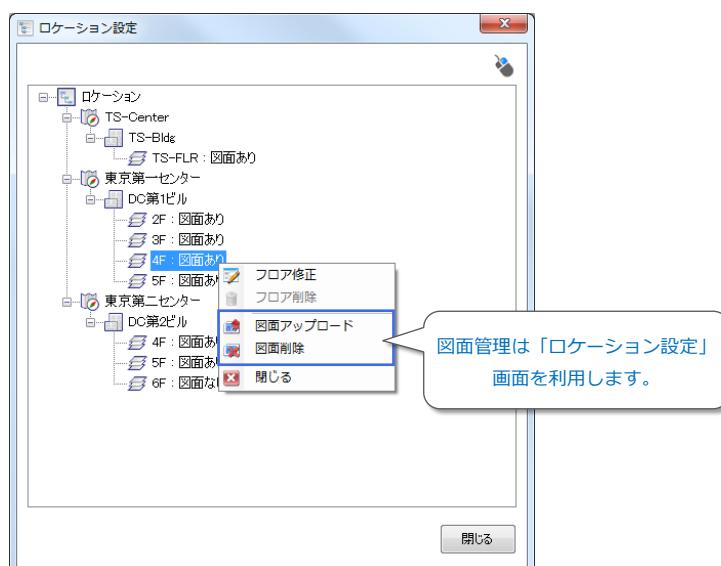


レイアウト修正を終了すると表示中のフロア図は通常モード(変更ロック)に戻ります。

## 図面管理

図面管理では DC VISOR で運用するフロア図をアップロード(登録)、削除など図面の管理を行います。

操作 : メニューバー [管理者メニュー] - [図面管理] - [ファイルアップロード]

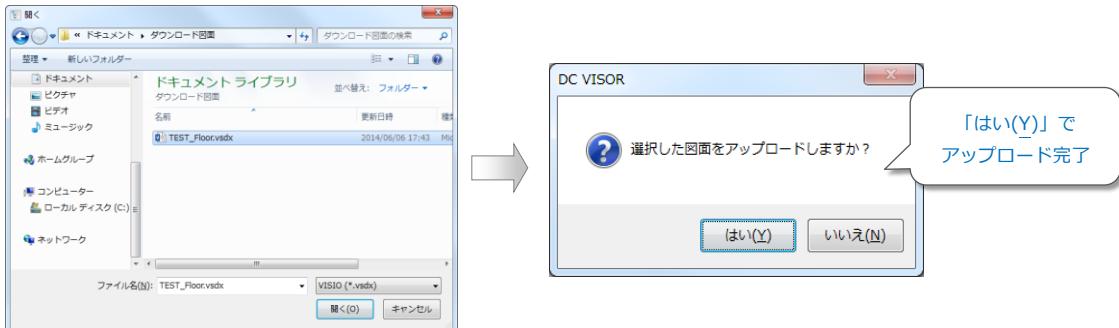


## (1) フロア図のアップロード

ローカル PC の Visio で作図、修正したフロア図(vsdx ファイル)を DC VISOR にアップロードする場合

### ・手順

- ① ロケーションツリーからファイルをアップロードするフロアを選択、マウス右クリックで表示されるコンテキストメニューから[ 図面アップロード]を選択します。
- ② 「開く」画面で対象ファイルを選択してから[開く(O)]ボタン、アップロード確認メッセージで[はい]を選択します。



### ① ファイルアップロードについて

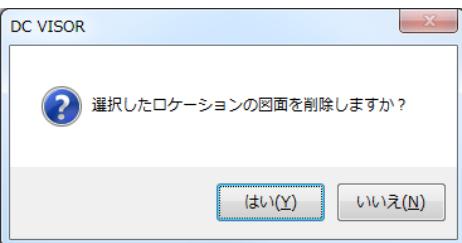
- DC VISOR に登録する図面は Visio ファイル(vsdx)のみ可能です。
- Visio でフロア図を新規作図する際は、図面の縮尺を必ず‘メートル法 1:100’に指定してください。
- 既存図面があるフロア‘図面あり’にアップロードすると上書きされます。
- 中身がない(ファイル容量 0)ファイルは登録できません。
- Visio の基本操作方法については‘Visio のヘルプ’又は Microsoft 社の‘[Online ヘルプ](#)’を参照してください。

## (2) フロア図の削除

DC VISOR に登録した特定フロア図を削除する場合

### ・手順

- ① ロケーションツリーからフロア図を削除するフロアを選択、マウス右クリックで表示されるコンテキストメニューから [ 図面削除]を選択します。
- ② 削除確認画面で [はい]ボタンを選択すると削除処理されます。



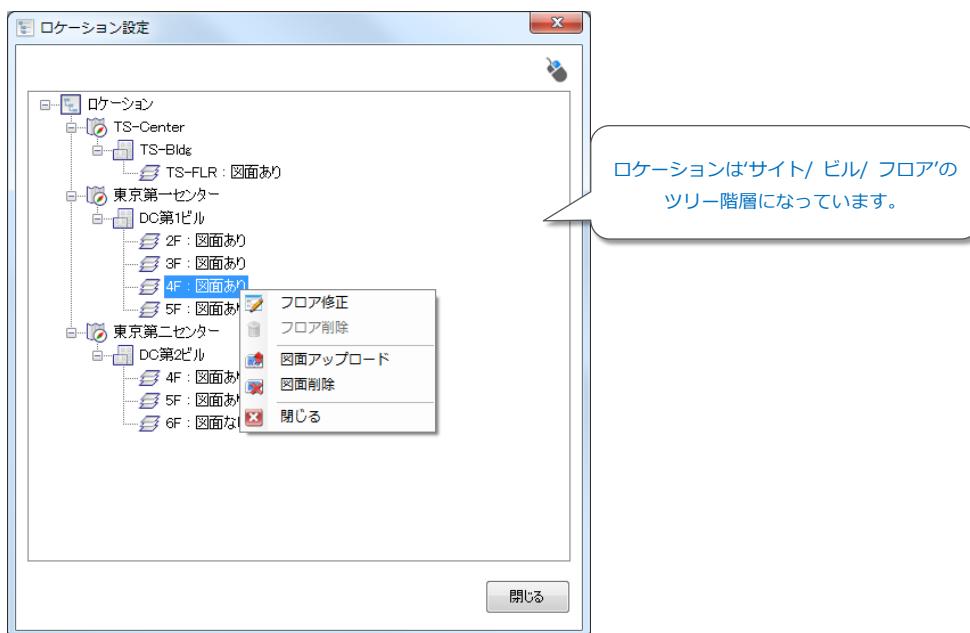
### ① フロア図の削除について

フロア図の削除を実行時、他ユーザが同じフロア図を開いている場合は削除できません。

## ロケーション管理

ロケーション管理では DC VISOR で運用するサイト/ビル/フロアの登録、修正、削除など管理を行います。

操作 : メニューバー [管理者メニュー] - [ロケーション管理]



## ① ボタン操作

・「ロケーションツリー」：登録済みロケーション情報をツリー(階層)構造で表示します。

各階層の $\square$  /  $\blacksquare$  ボタンの操作で各項目を展開/縮小表示できます。

・「コンテキストメニュー」：ロケーションツリーの項目をマウス右クリックすると項目それぞれのコンテキストメニューが表示されます。各項目別のコンテキストメニュー構成とその内容は以下の通りです。

### “ロケーション”選択時

- [サイト追加]：サイトを新規追加します。  
→ サイト名、備考を入力後登録します。

### “サイト名”選択時

- [ビル追加]：選択したサイトに属するビルを新規追加します。  
→ ビル名、備考を入力後登録します。
- [サイト修正]：選択したサイト情報(サイト名、サイト備考)を修正します。
- [サイト削除]：選択したサイトを削除します。

### “ビル名”選択時

- [フロア追加]：選択したビルに属するフロアを新規追加します。  
→ フロア名、備考を入力後登録します。
- [ビル修正]：選択したビル情報(ビル名、ビル備考)を修正します。
- [ビル削除]：選択したビルを削除します。

### “フロア”選択時

- [フロア修正]：選択したフロア情報(フロア名、フロア備考)を修正します。
- [フロア削除]：選択したフロアを削除します。
- [図面アップロード]：選択したフロアに図面ファイル(vsdx)をアップロードします。
- [図面削除]：選択したフロアの図面を削除します。

### 各メニュー共通

- [閉じる]：コンテキストメニューを閉じます。

## ② ロケーション設定について

選択したロケーション又はその下位階層に運用中の機器が存在する場合は該当ロケーションの削除はできません。

## 機器管理

機器管理では DC VISOR で運用する機器マスタ情報の登録と修正、運用機器の修正、電源未接続機器の電源接続管理を行います。

### (1) 機器マスタ管理

機器マスタ管理では DC VISOR で運用する機器の諸元データを新規登録、修正します。

#### 機器マスタ登録

機器マスタを新規登録します。

操作 : メニューバー [管理者メニュー] - [機器管理] - [機器マスタ管理] - [機器マスタ登録]



#### ■ 機器マスタの入力(イメージはラックの場合)

定格設定	自体消費電力/重量		収容消費電力/重量	
	定格電力 [kVA]	定格重量 [kg]	収容電力 [kVA]	収容重量 [kg]
最大(①)	0.000	0.0	0.000	0.00
最小	0.000	0.0	-	-
しきい値(②)	80.00	%	80.00	%
設計値 (①)×(②)	0.000	kVA	0.0	kg
			0.000	kVA
			0.00	kg

- ① 設置タイプ(②)：登録する機器の設置タイプを選択します。（機器の種類によって選択不可）
- ② メーカ名(②)：リストボックスからメーカ名を選択します。リストにない場合はテキスト入力します。
- ③ モデル名(②)：上記のメーカーに該当するモデル名がリストボックスに表示されます。該当モデル名を選択します。  
リストにない場合はテキスト入力します。
- ④ 型番(②)：上記のメーカーに該当する型番がリストボックスに表示されます。追加する型番をテキスト入力します。
- ⑤ 入力定格(V)：登録する機器の入力定格(電源)をリストボックスから選択又はテキスト入力します。
- ⑥ フェーズ(Hz)：登録する機器のフェーズをリストボックスから選択又はテキスト入力します。
- ⑦ 定格設定(②)：登録する機器の消費電力と重量、収容電力と重量及びその‘しきい値’の設定を行います。  
ここで入力した定格設定値は DC VISOR で新規導入される各機器の定格電力、定格重量及びラック、ブレードサーバ(ケース)、分電盤～PDU(コンセント)の収容値のデフォルト値となります。

#### ■ 入力項目(※機種によって必須項目がことなります)

自体消費電力/重量	定格電力	最大(①)	登録する機器の消費電力の最大値(kVA)を入力します。
		最小	登録する機器の消費電力の最小値(kVA)を入力します。
		しきい値(②)	消費電力最大値に対するしきい値(%)を入力します。
		設計値(①×②)	消費電力(最大値)① × しきい値② の計算結果が自動表示されます。 新規導入する該当機器の定格電力(kVA)のデフォルト値になります。
	定格重量	最大(①)	登録する機器の重量の最大値(kg)を入力します。
		最小	登録する機器の重量の最小値(kg)を入力します。
		しきい値(②)	重量最大値に対するしきい値(%)を入力します。
		設計値(①×②)	重量(最大値)① × しきい値② の計算結果が自動表示されます。 新規導入する該当機器の定格重量(kg)のデフォルト値になります。
収容消費電力/重量	収容電力	最大(①)	登録する機器の収容電力の最大値(kVA)を入力します。
		しきい値(②)	消費電力のしきい値が適用されます。
		設計値(①×②)	収容電力(最大値)① × しきい値② の計算結果が自動表示されます。 新規導入する該当機器の収容電力(kVA)のデフォルト値になります。
	収容重量	最大(①)	登録する機器の収容重量の最大値(kg)を入力します。
		しきい値(②)	消費重量のしきい値が適用されます。
		設計値(①×②)	収容重量(最大値)① × しきい値② の計算結果が自動表示されます。 新規導入する該当機器の収容重量(kg)のデフォルト値になります。

※ 定格電力の省略可能機器：ラック、NW 機器、什器類

※ 収容電力の入力対象機器：ラック、ブレードサーバ(ケース)、分電盤、ブレーカ、PDU

※ 収容重量の入力対象機器：ラック、ブレードサーバ(ケース)

#### ■ kVA 変換電卓



##### (1) アンペア(A) ⇒ kVA に変換

- ・ ボルテージ(V)：登録する機器のボルテージ(V)を入力します。
- ・ アンペア(A)：登録する機器のアンペア(A)を入力します。
- ・ 換算値(kVA)：自動計算されます。

## (2)ワット(W) ⇒ kVA に変換

- ・ワット(W) : 登録する機器のワット(W)を入力します。
- ・力率 : 登録する機器に該当する力率(0.01~1.00)を入力します。
- ・換算値(kVA) : 自動計算されます。

## (3)共通

- ・適用先の選択 I : 換算値の適用先「定格電力」又は「収容電力」のラジオボタンを選択します。  
(※「収容電力」項目は収容電力がない機種は選択不可)
- ・適用先の選択 II : 換算値の適用先を[最大値に適用]又は[最小値に適用]ボタンで選択します。  
ボタンをクリックすると登録画面の該当項目に適用されます。
- ・【閉じる】 : この画面を閉じます。

⑧ U サイズ(②) : ラックの場合は収容ユニット(U)上限、マウントタイプ機器の場合はユニットサイズを入力します。  
据え置きタイプの機器は省略されます。

## [該当機器のみ表示される項目]

- ⑨ スロット数 : ※ブレードサーバ(ケース)専用。ブレード(子機)を搭載可能なスロット数を入力します。
- ⑩-1 接続ブレーカ数 : ※分電盤専用。搭載可能なブレーカ数を入力します。(参照用)
- ⑩-2 PDU 数 : ※ブレーカ専用。ブレーカ 1 個に対して接続する PDU の数を入力します。(参照用)
- ⑩-3 コンセント数 : ※PDU 専用。登録する PDU のコンセント口数を入力します。
- ⑪ 英熱量(BTU/h) : 登録する機器の消費熱量(BTU/h)を入力します。
- ⑫ 熱量(kW/h) : 登録する機器の消費熱量(kW/h)を入力します。
- ⑬ 電源数 : 登録する機器の電源(電源ユニット)の数を入力します。機器を導入する際、接続可能な電源の数に影響します。
- ⑭ コンセント形状 : 登録する機器のコンセント形状をテキストで入力します。
- ⑮ 外形寸法(mm) : 機器本体の寸法‘横(W)、縦(H)、奥(D)’を mm 単位で入力します。
- ⑯ 備考 : 登録する機器の備考をテキスト入力します。(改行可能)

 ボタン操作

- ・[キャビネット管理] : キャビネット管理画面をポップアップ表示します。(※詳細 ‘共通操作7. キャビネット管理’ 参照)
- ・[登録] : 入力項目を確認後登録します。
- ・[削除] : 表示中の機器マスタデータを削除します。(機器マスタ修正時のみ操作可)
- ・[キャンセル] : この画面を閉じます。

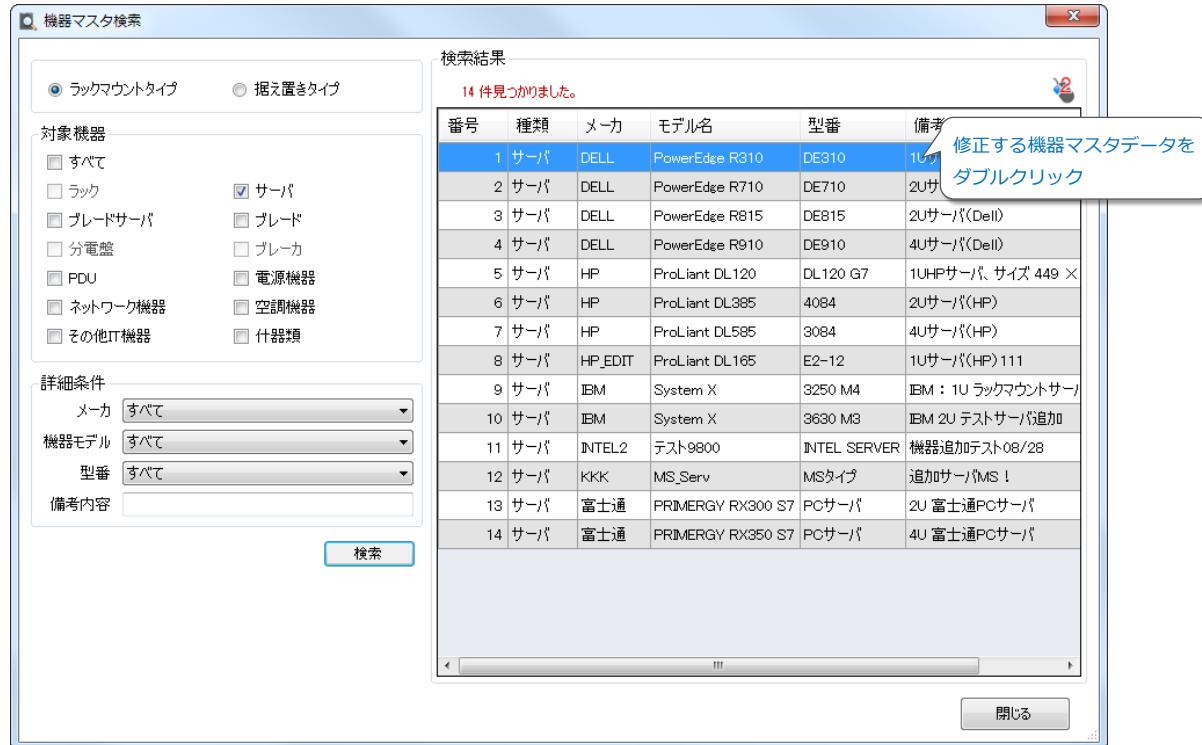
 機器マスタ登録について

- 同一機種で、メーカ - モデル - 型番が同様な機器の登録はできません
- 入力する項目は機器の種類によって異なります。
- 登録済みの機器マスタ情報を変更した場合、変更した内容は変更後に新規導入された機器から適用されます。

## 機器マスタ修正

登録済みの機器マスタを検索し、選択した機器マスタのデータを修正します。

**操作** : メニューバー [管理者メニュー] - [機器管理] - [機器マスタ管理] - [機器マスタ修正]



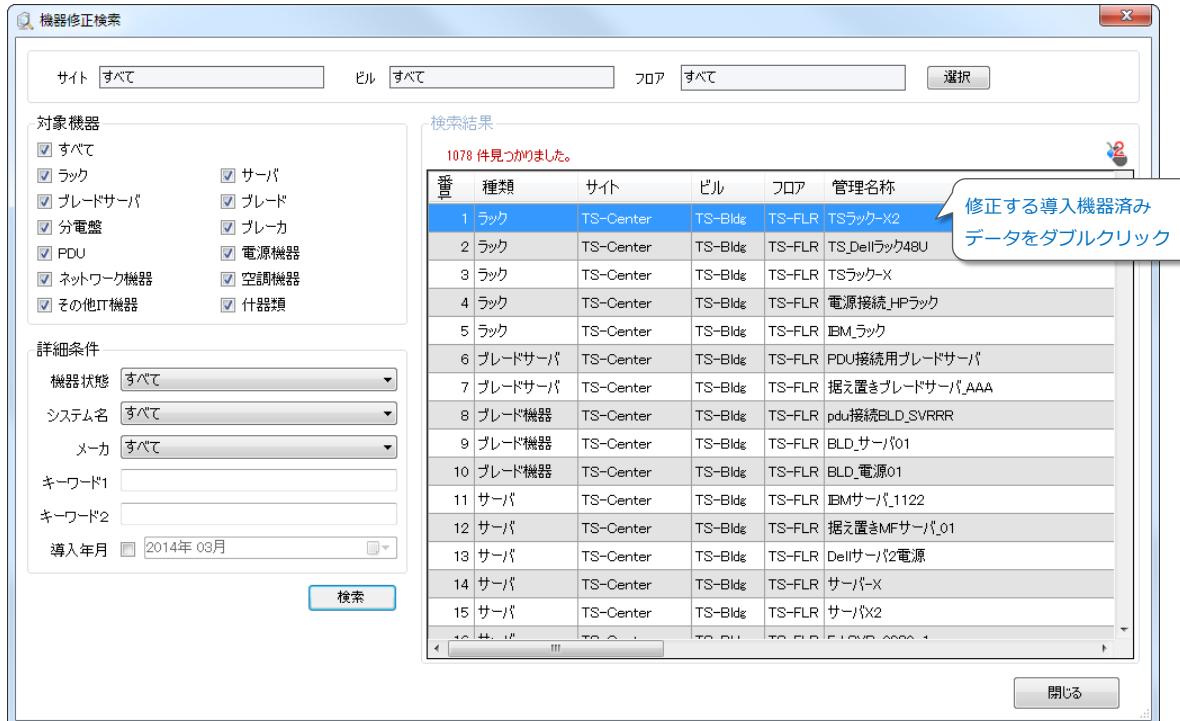
### ・手順

- ① **設置タイプの選択** : 該当機器マスタの設置タイプ「ラックマウントタイプ」又は「据え置きタイプ」を選択します。
- ② **対象機器の選択** : 検索する機器マスタの種類を選択(チェック)します。(複数可) ‘すべて’をクリックすると選択可能な全項目の選択/解除が切り替えされます。
- ③ **詳細条件の設定** : 検索の詳細条件を追加して対象をさらに絞り込みします。  
 [メーカー] : 検索する機器のメーカーをリストボックスから選択します。  
 [機器モデル] : メーカに該当するモデルをリストボックスから選択します。  
 [型番] : モデルに該当する型番をリストボックスから選択します。  
 [備考内容] : 機器マスタを登録時に入力した備考の一部を入力します。
- ④ **検索** : [検索]ボタンをクリックすると設定した検索条件で機器マスタ検索を実行します。 結果は‘検索結果’リストに表示されます。
- ⑤ **機器マスタ修正** : 検索結果から修正する機器マスタデータをダブルクリックして修正画面を表示します。  
 ※ 機器マスタ修正時は“設置タイプ”的修正はできません。  
 ※ 機器マスタ修正の各項目の操作は「機器マスタ登録」を参照してください。

## (2) 導入機器修正

DC VISOR で運用されている導入済みの全機器を対象に検索し、選択した機器の情報修正を行います。

**操作** : メニューバー [管理者メニュー] - [機器管理] - [導入機器修正]



### ・手順

① 検索範囲の選択 : 検索する機器のロケーション範囲を選択します。

‘サイト/ビル/フロア’の[選択]ボタンをクリックして表示される‘ロケーション’画面から該当フロアを選択します。

(※詳細は‘共通操作1. 導入場所の選択’参照)

② 対象機器の選択 : 検索する機器の種類を選択(チェック)します。(複数可) ‘すべて’をクリックすると全項目の選択/解除が切り替えされます。

③ 詳細条件の設定 : 検索の詳細条件を追加して対象をさらに絞り込みします。

[機器状態] : 検索する機器の状態をリストボックスから選択します。

[システム名] : 検索する機器のシステム名をリストボックスから選択します。

[メーカー] : 検索する機器のメーカーをリストボックスから選択します。

[キーワード1、2] : 検索する機器の任意キーワードを入力します。二つのキーワード入力は OR 検索されます。

[導入年月] : 検索する機器の導入年月を指定します。導入年月を条件に追加する場合はチェックボックスにチェックを入れてカレンダーから該当年月を選択します。

④ 検索 : [検索]ボタンをクリックすると設定した検索条件で機器検索を行います。

⑤ 機器情報修正 : 検索結果から修正する機器のデータをダブルクリックすると該当機器の修正画面が表示されます。

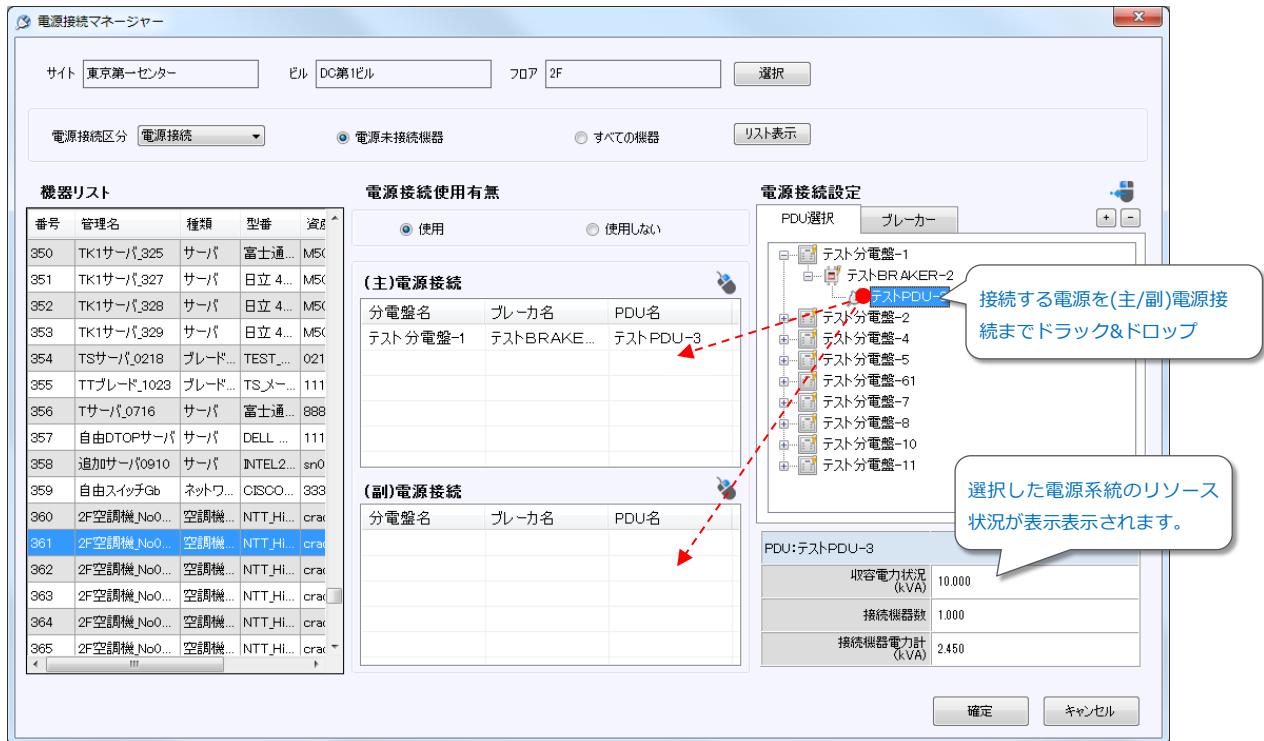
※ 機器修正時は“設置場所(フロア、ラック、ユニット)”及び“設置タイプ”と“導入機器”的修正はできません。

※ 各機器の修正操作は‘該当機器の新規導入’を参照してください。

### (3) 電源接続マネージャー

電源接続マネージャーは導入済み機器の中で電源接続がされてない機器及びPDU(電源コンセント)が取り付けられてないラックを検索し、そのまま電源接続又はラックにPDUの取り付けを行います。

操作 : メニューバー [管理者メニュー] - [機器管理] - [電源接続マネージャー]



#### ・手順

① 検索範囲の選択 : 対象機器のロケーション範囲を選択します。

‘サイト/ビル/フロア’の[選択]ボタンをクリックして表示される‘ロケーション’画面から該当フロアを選択します。

(※詳細は‘共通操作1. 導入場所の選択’参照)

② 電源接続区分の選択 : リストボックスから電源接続区分を選択します。導入済み機器(ラックを含む)の電源接続をする場合は‘電源接続’を、ラックにPDUを取り付けする場合は‘取り付けPDU’を選択します。

#### 「電源接続」の選択オプションと内容

- ・電源未接続機器 : 導入済みの機器で電源未接続機器(主電源なし機器を含む)のみを表示する場合選択します。
- ・すべての機器 : 検索範囲内のすべての機器を表示する場合選択します。

#### 「取り付けPDU」の選択オプションと内容

- ・取り付けPDU未設定ラック : PDUの取り付け(ラックマウントタイプを含む)がされてないラックのみを表示する場合選択します。

- ・すべてのラック : 検索範囲内のすべてのラックを表示する場合選択します。

※ 取り付けPDUでリストを表示すると画面中央の“(主/副)電源接続”が“取り付けPDU”に切り替え表示されます。



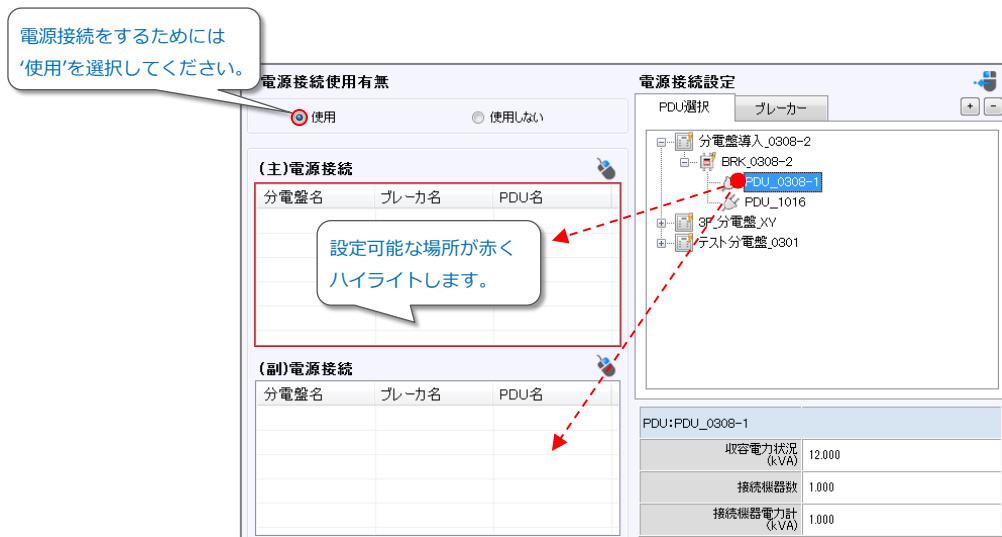
③ 接続機器を選択：「機器リスト」に表示された機器中、設定を行う機器をクリックして選択します。

機器を選択すると「電源接続使用有無」及び「(主/副)電源接続」又は「取り付け PDU」に該当機器の現状の設定が表示、「電源接続設定」に接続可能な電源系統(PDU、ブレーカ)がツリーリストで表示されます。<sup>20(注)</sup>

④ 接続設定

「電源接続」の場合

「電源接続設定」の「PDU 選択」又は「ブレーカ選択」タブ(床電源などブレーカに直接接続する場合)から接続する電源系統を選択して「(主)電源接続」又は「(副)電源接続」リストの上までドラッグ&ドロップします。

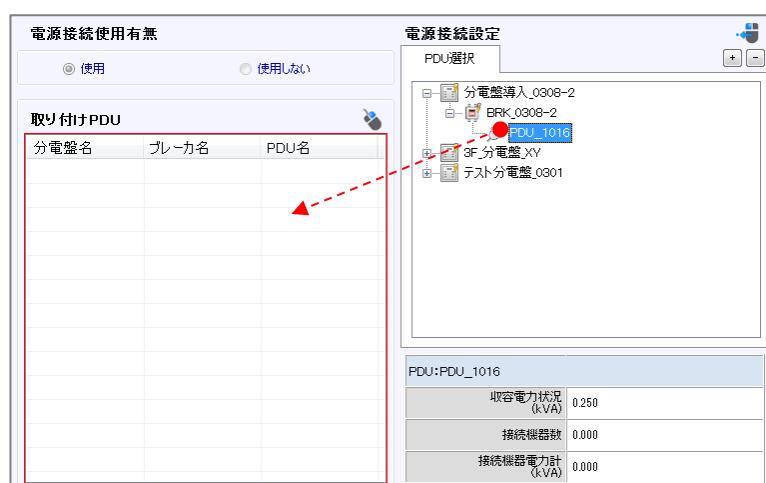


※1. 電源接続をする機器が接続可能な電源がない場合は電源ツリーリストに表示されるメッセージに従って必要な電源系統を追加することも可能です。

※2. 電源接続をする機器の“電源数”(諸元)を超える接続は設定できません。

「取り付け PDU」の場合

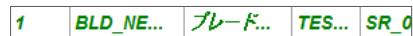
「電源接続設定」の「PDU 選択」タブから取り付けする PDU を選択して「取り付け PDU」リストの上までドラッグ&ドロップします。



(注)20 データのボリューム又はネットワーク状況により、各項目が表示されるまで時間がかかる場合もあります。

## ボタン操作

- ・[確定]: 設定した電源接続を確定します。正常に完了された場合は完了メッセージが表示された後、機器リスト上の該当機器レコードは“緑色”になります。

 1 BLD\_NE... ブレード... TES... SR\_0

- ・[キャンセル]: 電源設定をキャンセルしてこの画面を閉じます。

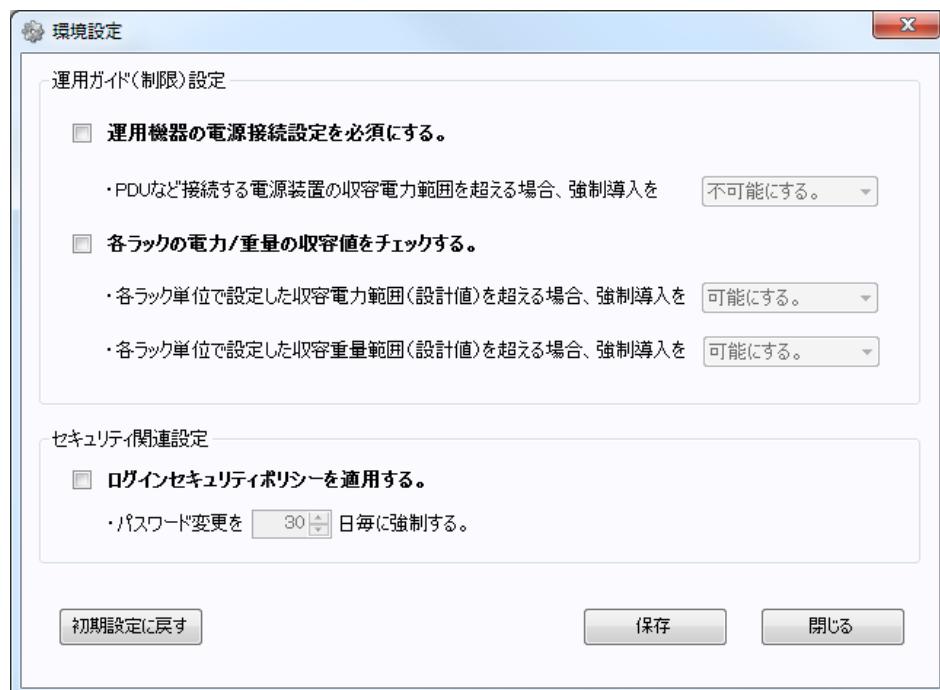
### ① 電源接続設定に表示される電源系統について

- 「電源接続」の場合
  - ① ラック : 他ラックに取り付け(マウントを含む)されてない PDU のみ表示
  - ② ラックマウント機器 : 該当機器を実装しているラックに取り付けされた PDU のみ表示
  - ③ 据置タイプ機器 : ラックに取り付けされていない PDU のみ表示
- 「取り付け PDU」の場合  
他ラックに取り付け(マウントを含む)されてない、かつ据置きタイプ機器が接続されていない PDU のみ表示

## 環境設定

環境設定では DC VISOR の運用ガイド(制限)及びログインセキュリティ関連のルール設定を行います。  
ここで設定した内容は DC VSIOR の全ユーザに適用されます。

### 操作 : メニューバー [管理者メニュー] - [環境設定]



### (1) 運用ガイド(制限)設定

運用ガイド設定では各機器の新規導入及び情報変更時に適用されるルール“電源接続の必須化”と“ラック単位での電力/重量の収容値チェック”設定ができます。

## ・手順



### 運用機器の電源接続設定を必須にする。(デフォルトは省略可)

機器を新規導入又は機器の情報変更時、該当機器の電源接続‘PDU(コンセント)’又は‘ブレーカ(直接続)’を必須にするか省略可能にするかを設定します。 必須にする場合はチェックボックスをクリックして‘チェック’を入れます。 省略可能にした場合は各機器の新規導入及び情報変更画面の「電源使用有無」、「接続電源装置」項目が非活性化になり、電源接続なしで導入できます。

#### ■電源接続必須時のオプション

「可能にする」： 該当機器の定格(消費)電力を接続する電源系統(PDU-ブレーカ-分電盤)の使用値に合計して、 使用値合計が収容値を超える場合でも接続可能にします。

「不可能にする」： 該当機器の定格(消費)電力を接続する電源系統(PDU-ブレーカ-分電盤)の使用値に合計して、 使用値合計が収容値を超える場合は接続できないようにします。



### 各ラックの電力/重量の収容値をチェックする。(デフォルトは省略可)

ラックマウントタイプの機器を新規導入、移動処理又は情報変更する時、機器を実装する(又はしている)該当ラックの ‘収容電力値’ 及び ‘収容重量値’ をチェックするかしないかを設定します。 この設定はラック単位で使用電力と重量を管理する時利用します。

収容値のチェックを行う場合はチェックボックスをクリックして‘チェック’を入れます。 チェックなしの設定では各収容値を超える場合も確認メッセージなしのまま処理されます。

※ ラックの収容電力値チェックは各機器の電源接続(PDU 又はブレーカ直)有無と関係なく行います。

#### ■チェックする時のオプション

「可能にする」： 該当機器の定格(消費)電力と重量をラックの各使用値に合計して、電力又は重量どちらの使用値合計が収容値を超える場合でも導入(移動/変更)可能にします。

「不可能にする」： 該当機器の定格(消費)電力と重量をラックの各使用値に合計して、電力又は重量どちらの使用値合計が収容値を超える場合では導入(移動/変更)できないようにします。

## (2) セキュリティ関連設定

セキュリティ関連設定では DC VISOR ログインパスワードの定期的な変更を強制する“ログインセキュリティポリシー”的設定ができます。

## ・手順



### ログインセキュリティポリシーを適用する。(デフォルトはオフ)

ログインパスワードの定期的な変更を強制する場合はチェック(オン)をします。 この設定が適用されると DC VISOR にログインする際にパスワード更新日をチェックし、設定期間が過ぎている場合はパスワード変更画面を表示します。

設定期間は「1～999」日の範囲で設定(デフォルトは 30 日)可能です。



### ボタン操作

- ・[初期設定に戻す]： 各設定を初期設定状態(各チェックなし)に戻します。
- ・[保存]： 設定した状態を保存し、適用します(即時)。
- ・[閉じる]： この画面を閉じます。

## 4.7. ヘルプ

ヘルプではDC VISORの“バージョン情報”的確認とDC VISORの使用説明、FAQの閲覧及び検索が可能な“オンラインヘルプ”が利用できます。

### バージョン情報

現在利用しているDC VISORのバージョン情報画面を表示します。

操作 : メニューバー [ヘルプ] - [バージョン情報]



### オンラインヘルプ

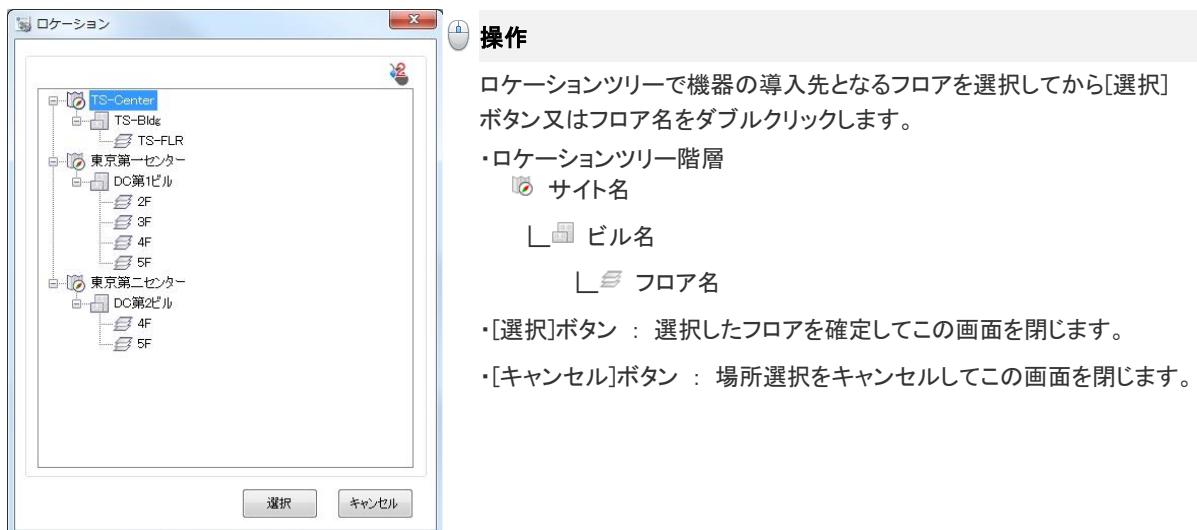
DC VISORの使用に関する説明、FAQの閲覧及び検索が可能です。

操作 : メニューバー [ヘルプ] - [オンラインヘルプ]



## 5. 共通操作

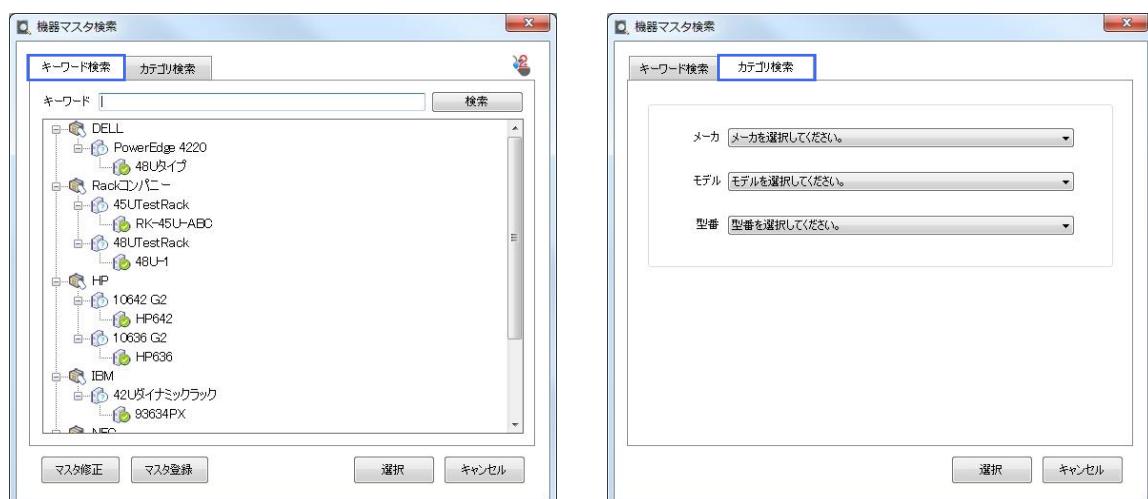
### (1) 導入場所の選択



### (2) 導入機器の選択

キーワード検索から選択

カテゴリ検索から選択



※ 機器マスタ検索画面に表示される機器リストはこの画面を呼び出した導入機器の種類に絞り込みされています。

#### 機器選択方法 I

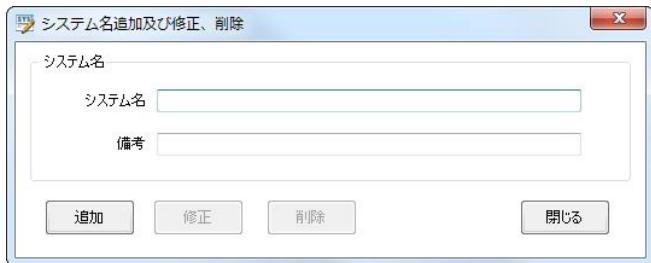
表示されたツリーリストから該当機器の型番まで選択します。又は‘キーワード’にメーカー、モデル名など機器情報の一部を入力、[検索]ボタンで検索して表示されるリストから機器の型番をダブルクリックして選択します。

- ・[マスタ修正]ボタン：選択されている機器がある場合該当機器マスターの修正画面を表示します。(統合管理者専用)
- ・[マスタ登録]ボタン：新しい機器マスター登録画面を表示します。(統合管理者専用)
- ・[選択]ボタン：機器リストで選択している機器を確定選択します。
- ・[キャンセル]ボタン：機器選択をキャンセルしてこの画面を閉じます。

#### 機器選択方法 II

‘メーカー’→‘モデル’→‘型番’の各カテゴリのドロップリストを順番に選択、型番まで選択してから[選択]ボタンをクリックします。

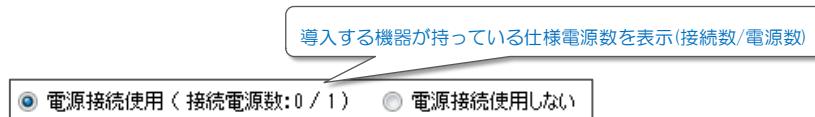
### (3) システム名追加及び修正、削除



操作

- ・システム名(必須)：システム名リストに表示されるシステム名を入力します。
  - ・備考：システム名の備考を入力します。
  - ・[追加]ボタン：入力したシステム名を新規で追加します。
  - ・[修正] ボタン：既存システム名を修正入力したシステム名に修正します。
  - ・[削除] ボタン：選択されているシステム名を削除します。
  - ・[閉じる] ボタン：この画面を閉じます。

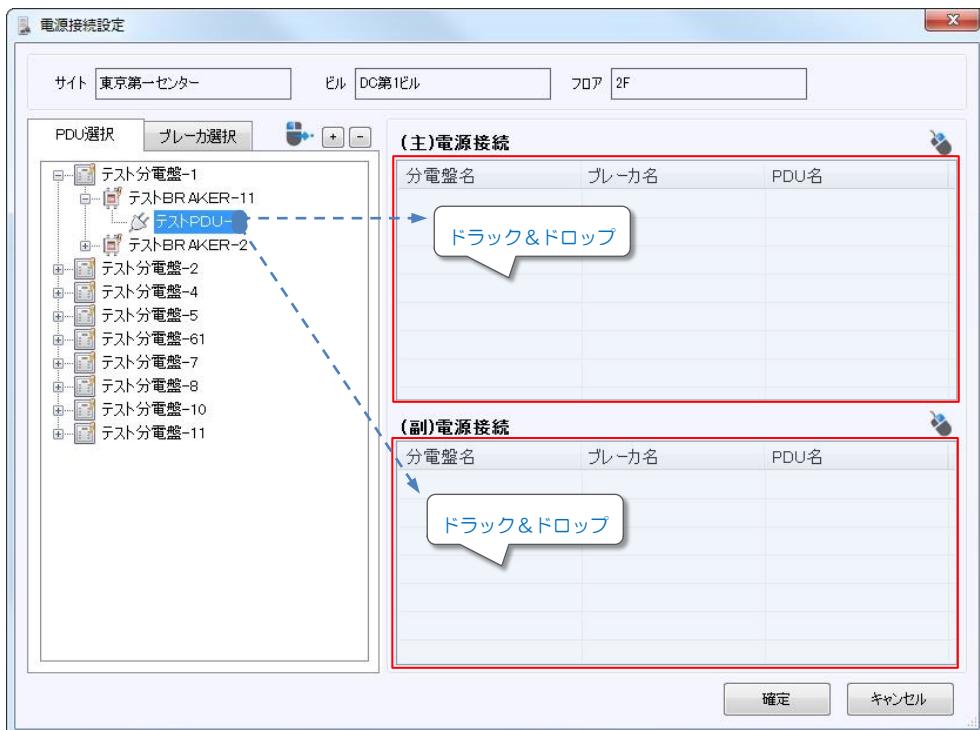
#### (4) 電源使用有無



操作

各機器の新規導入又は修正画面にて該当機器がPDU又はブレーカに直接接続など電源接続をする場合は“電源接続使用”ラジオボタンをクリック、使用しない場合は“電源接続使用しない”をクリックします。  
“電源接続使用しない”を選択した場合は[電源接続設定]ボタンが非活性化されます。

## (5) 電源接続設定



## 操作

- ① **ロケーション** :PDU 設定を行っている機器の場所‘サイト’、‘ビル’、‘フロア’を表示します。(変更不可)
- ② 「**PDU 選択**」タブ :該当ロケーションに属する PDU を‘分電盤 - ブレーカ - PDU’の階層構造リストで表示します。  
ツリーリストに表示される PDU は以下の条件による表示となります。  
※ 条件を満たす PDU がない(0)系統はこの画面に表示されません。

### <接続する機器がラックマウントタイプの場合>

機器の導入先のラックに“取り付け PDU”又は“マウントタイプの PDU”として実装など該当ラックに登録されている PDU のみがリスト上に表示されます。電源リスト上に PDU がない場合は該当ラックに PDU を登録又は実装導入を行ってから機器の電源接続設定を行ってください。

### <接続する機器が据え置きタイプの場合>

ラックに登録(取り付け/実装)されてない該当フロアの PDU のみが表示されます。

※ 設定可能な PDU がない場合は以下のメッセージが表示されます。

“【接続又は取り付けする PDU がありません。】現メッセージを『ダブルクリック』しますと設定画面が表示されます。”

メッセージに従って PDU の追加(又は取り付け PDU 設定)してください。

- ③ 「**ブレーカ選択**」タブ : 据え置きタイプの機器で床下の電源、又はブレーカに直接接続する場合利用します。

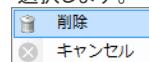
機器を導入する該当フロアのブレーカを‘分電盤 - ブレーカ’の階層構造リストで表示します。

操作は主電源又は副電源接続リストまで該当ブレーカをドラッグ&ドロップして設定します。

- ④ (主/副)電源接続リスト : 接続設定済み又は新しく設定する PDU、ブレーカのリストを表示します。

新しく登録する場合はツリーリストから主電源/副電源役割に応じて各リスト上までドラッグ&ドロップします。

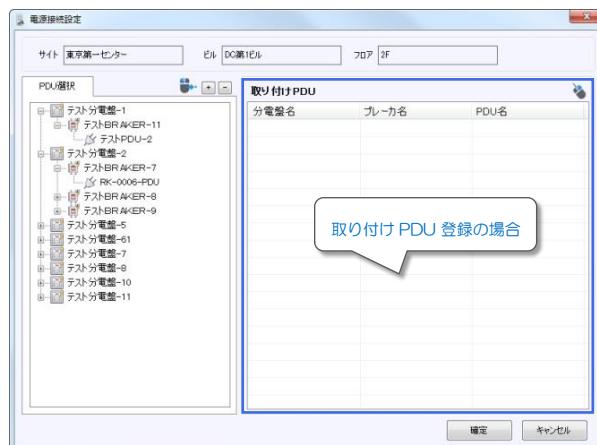
設定済みの PDU を削除(接続解除)する場合は右クリックで表示されるコンテキストメニューから[削除]を選択します。



<コンテキストメニュー>

※ 主/副電源接続設定するには以下のルールがあります。

- ・主電源接続がない(0)状態で副電源のみの接続設定はできません。副電源接続を行う為には必ず主電源が1つ以上必要です。
- ・唯一の主電源を解除(解除)する時、副電源接続が残っている場合は主電源の削除はできません。削除する必要がある場合は副電源を先に削除してから(0)主電源の削除を行ってください。
- ・ラックに取り付けする PDU を設定する時は主/副電源の区分ではなく‘取り付け PDU’リストが表示、その設定を行います。



・[+][-]ボタン : “PDU/ブレーカ選択”タブのツリーリスト項目をそれぞれ‘すべて展開/縮小’表示します。

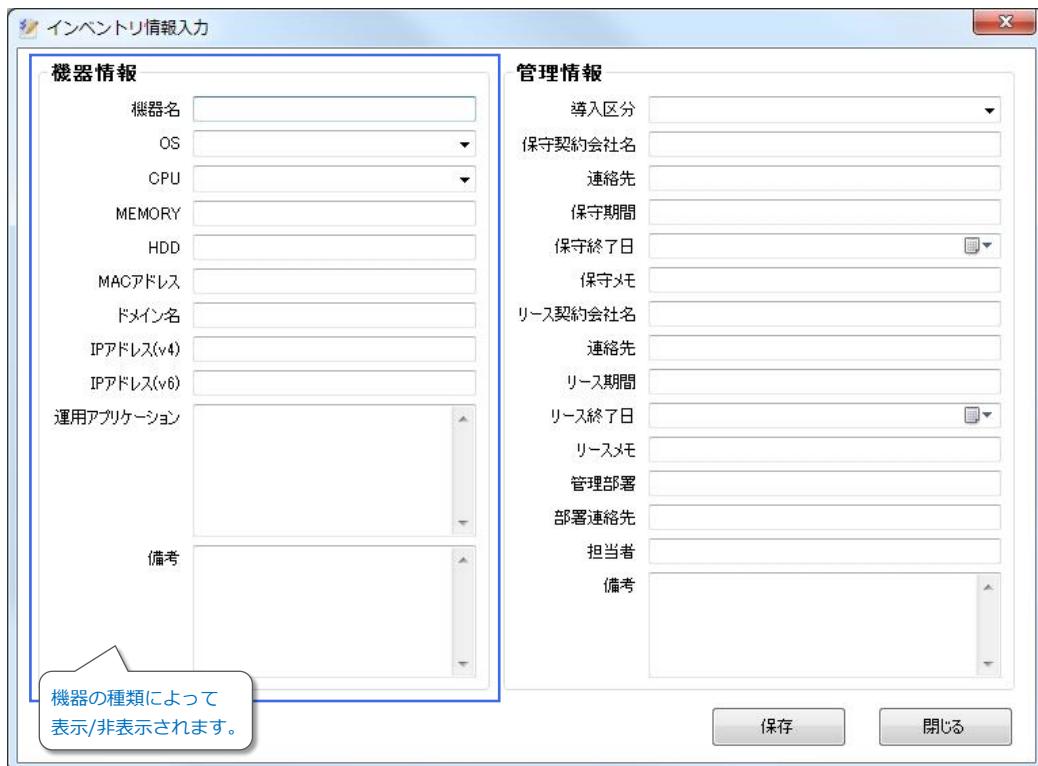
・[確定] ボタン : 設定内容を確定します。

※ 追加/削除した PDU の確定は本体の機器管理画面(新規、修正など)の各確定ボタンで確定処理されます。

例:各機器の新規導入画面の[新規導入実行]ボタン、情報変更画面[情報変更]ボタン

・[キャンセル] ボタン : 設定をキャンセルしてこの画面を閉じます。

## (6) インベントリ情報管理



**操作** : 「機器情報」、「管理情報」の各管理する項目を入力又は選択して[保存]します。

「機器情報」が表示される機器の種類は以下の通りです。

→ サーバ、ブレードサーバ、NW 機器、その他 IT 機器

・[保存]ボタン : 入力したインベントリ情報を保存します。<sup>21(注)</sup>

・[閉じる] ボタン : この画面を閉じます。

(注)21 保存したインベントリ情報の内容は該当機器の管理画面(親画面)で確定した時点で DB に反映されます。

例) 新規導入画面の[新規導入実行]又は機器の情報変更画面の[情報修正]ボタン実行で反映

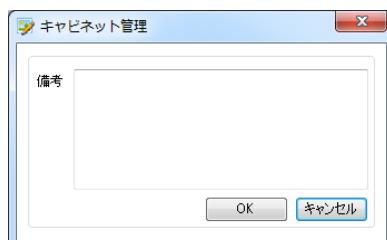
## (7) キャビネット管理



キャビネット管理では機器マスタ又は各機器個々の関連‘イメージ’、‘文書’ファイルを登録管理します。  
実行は機器情報ナビのキャビネットタブ、機器の新規導入、情報変更、機器マスタ登録(修正)にて実行します。  
登録されたファイルは機器情報ナビの“キャビネット”タブで確認できます。<sup>22(注)</sup>

### 操作

- ・[追加]ボタン：ポップアップ表示されるファイル選択画面から追加するファイルを選択して[開く]ボタンをクリックすると追加完了されます。
- ・[備考入力] ボタン：登録したファイルの備考を入力します。画面のリストで該当ファイルを選択してからクリックすると備考入力画面がポップアップ表示されます。  
備考を入力したあと[OK]ボタンクリックで完了します。



[OK]：入力した備考を適用します。  
[キャンセル]：入力をキャンセルしてこの画面を閉じます。

- ・[削除] ボタン：選択したファイルをキャビネットから削除します。
- ・[閉じる] ボタン：この画面を閉じます。

### キャビネット変更の適用タイミングについて

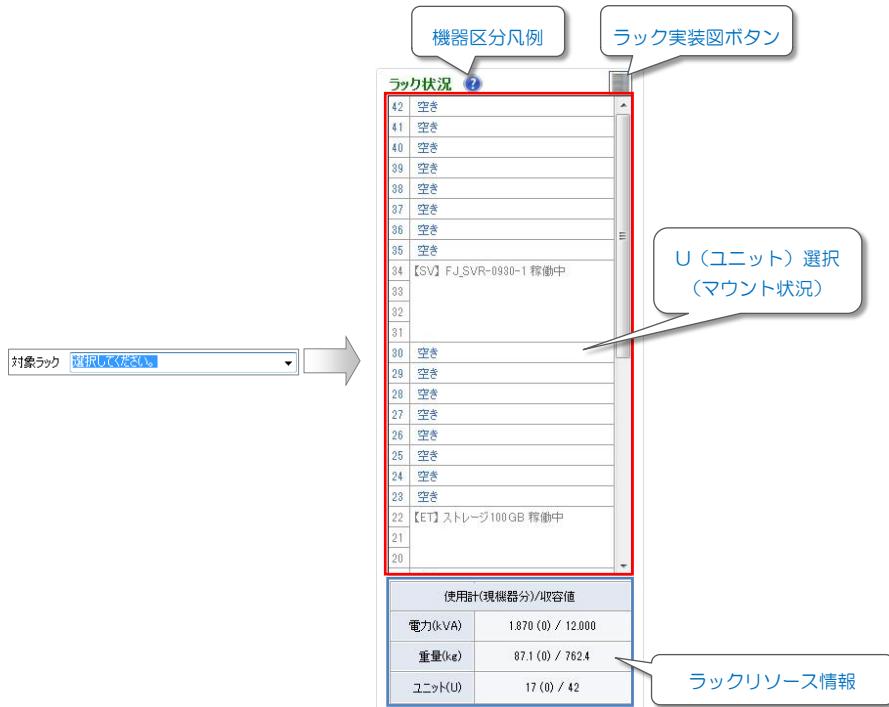
キャビネットで変更したファイル構成が適用されるタイミングはキャビネット管理の実行体系で変わります。

- ① 機器の新規導入、情報変更などの画面から実行した場合：[新規導入]、[情報変更]など確定ボタンで適用
- ② 機器情報ナビのキャビネットタブの場合：キャビネット管理画面を閉じる時適用

(注)22 キャビネットタブに表示されるファイルの区分は各ファイル名の前の[X]で区分します。

[M] ->機器マスタのファイル、[R] ->ブレードサーバ又は自由配置の参照用イメージ、なし -> 導入機器関連ファイル

## (8) マウントタイプ機器の配置



ラックマウントタイプの機器をラックに実装(配置)するためには実装先となる‘対象ラック’を選択して、表示された‘ラック状況’から機器を実装するU(ユニット)位置を選択します。機器は選択したUを基準点に該当機器のUサイズ分上部のユニットを使用する形で実装されます。

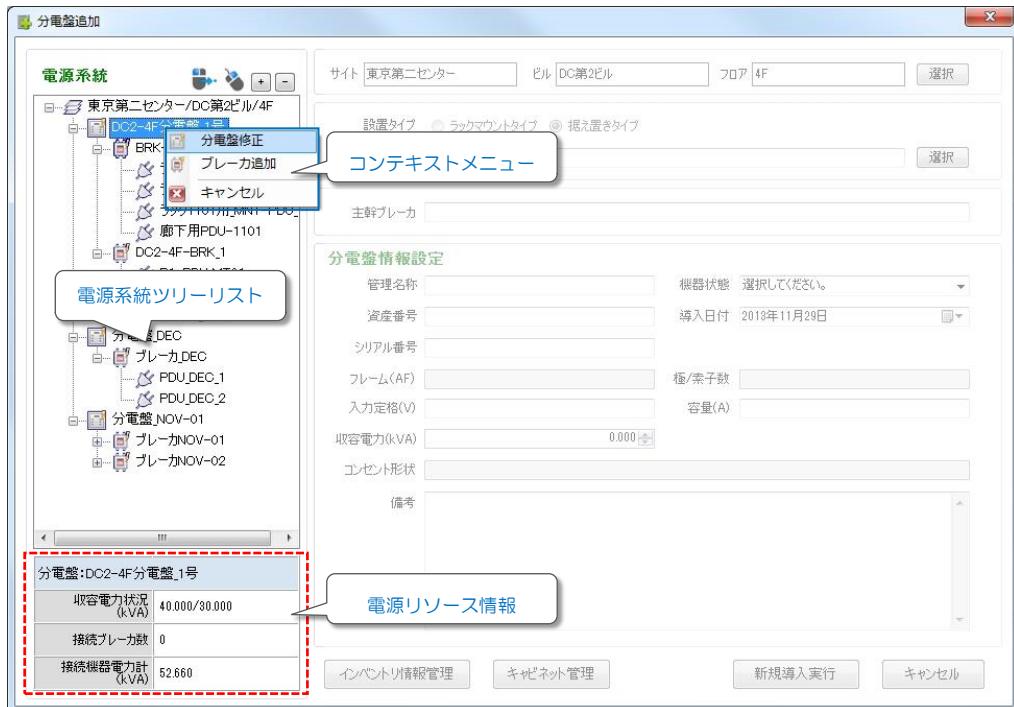
### 操作

- ・[対象ラック] : ドロップダウンリストから実装先のラックを選択します。
- ・「ラック状況」 : ‘対象ラック’で選択したラックの現在機器構成とラックのリソース情報を表示されます。  
ここでは機器を配置させる空きU(ユニット)をクリックして選択します。Uの選択は導入する機器のUサイズ分上部の方向に連続で空いている場所を選択してください。
- ・「機器区分凡例」 : アイコンにカーソルを位置すると実装機器の種類を表す区分“【XX】”の凡例をツールチップで表示します。
- ・[ラック実装図]ボタン : 選択中のラックの実装図をポップアップで表示します。
- ・「ラックリソース情報」 : 対象ラックで選択したラックのリソース情報を参考用に表示します。  
内容は実装済み機器が“使用している各リソース(電力、重量、ユニット)の合計”と現在導入(選択)する機器の使用値及びラックの各リソースの収容値(キャパシティー)を表示します。

使用計(現機器分)/収容値	
電力(kVA)	6.480 (0.720) / 20.000
重量(kg)	334.6 (47.0) / 908.0
ユニット(U)	24 (4) / 42

“実装済み機器の使用値計” + “(選択機器分)”  
+ “/ ラックの収容値”

## (9) 電源系統の操作



分電盤、ブレーカ、PDU の各新規導入又は修正画面で表示される“電源系統”は選択している場所(フロア)の電源系統構成をツリーリストで表示し、各電源系統の追加、修正ができます。

### 操作

- ・[+][-]ボタン：電源系統ツリーリスト項目をそれぞれ「すべて展開/縮小」表示します。
- ・[ツリーリスト]：“ロケーション >> 分電盤 >> ブレーカ >> PDU”順のツリー構造で電源系統を表示します。
- ・「コンテキストメニュー」：電源系統ツリーリストの項目をマウス右クリックすると項目それぞれのコンテキストメニューが表示されます。各項目別のコンテキストメニュー構成とその内容は以下の通りです。

	“ロケーション情報”選択時
	[分電盤追加]：現在のロケーションに分電盤を新たに追加します。
	“分電盤”選択時
	[分電盤修正]：選択した分電盤の内容を表示して修正できるようにします。
	[ブレーカ追加]：選択した分電盤に属するブレーカを追加します。
	“ブレーカ”選択時
	[ブレーカ修正]：選択したブレーカの内容を表示して修正できるようにします。
	[PDU 追加]：選択したブレーカに接続(属)する PDU を追加します。
	“PDU”選択時
	[PDU 修正]：選択した PDU の内容を表示して修正できるようにします。
*	各メニュー共通
	[キャンセル]：コンテキストメニューを閉じます。

・「電源リソース情報」：電源系統で選択している項目のリソース情報を表示します。

表示項目名は選択した電源系統によって若干異なります。(※下の例はブレーカを選択した場合)

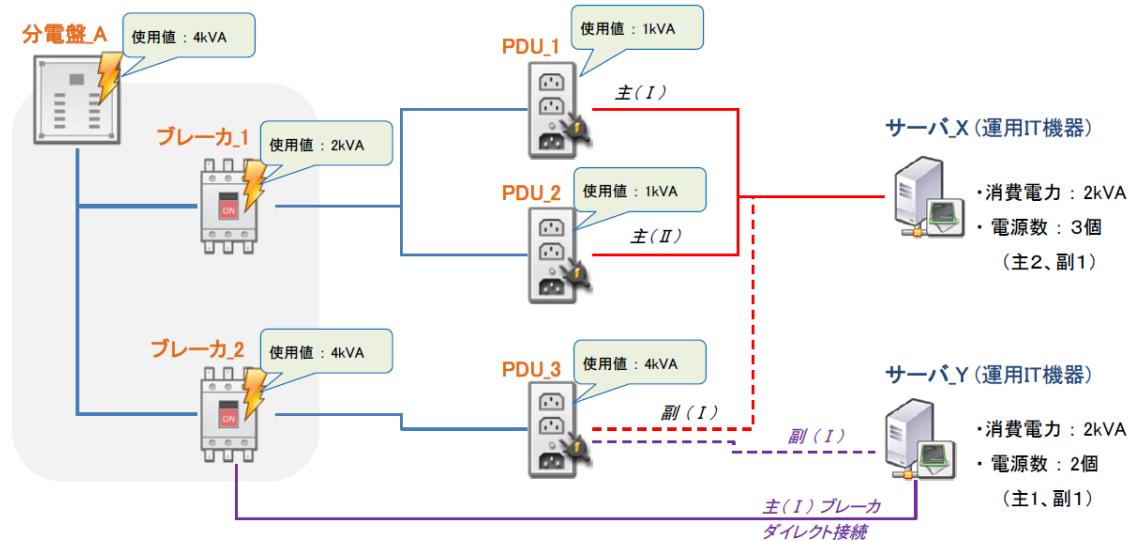
ブレーカ: TC1_5F_ブレーカ01	→ “選択系統の種類”：“選択系統の管理名”
収容電力状況 (kVA) 38.000/40.000	→ “直下系統の収容値合計” / “選択系統の収容値”
接続PDU及び機器数 3	→ “直下系統の数”及び“接続機器の数”的合計数
接続機器電力計 (kVA) 14.100	→ “選択系統に接続している機器の消費電力計”

## 6. その他

### 消費電力の集計仕様について

DC VISOR で管理する電源系統 ‘分電盤’ – ‘ブレーカ’ – ‘PDU’ の消費電力集計は、電源系統に接続する各機器の消費(定格)電力を「主電源」と「副電源」毎に  $1/n$  として集計します。電源系統の分電盤又はブレーカレベルで「主電源」と「副電源」が同じ系統(親)になる場合、該当親系統では重複とみなして機器自体の消費電力値を合算する仕組みになっています。

例)



### 消費電力の集計例

分電盤 (集計値/収容値)	ブレーカ (集計値/収容値)	PDU (集計値/収容値)	接続 IT 機器
分電盤_A ( 4/100kVA )	ブレーカ_1 ( 2/20kVA )	PDU_1( 1/10kVA )	サーバ_X (主 I) : 消費電力 $2\text{kVA} \div 2$ 主接続 = 1kVA
		PDU_2( 1/10kVA )	サーバ_X (主 II) : 消費電力 $2\text{kVA} \div 2$ 主接続 = 1kVA
	ブレーカ_2 ( 4/20kVA )	PDU_3( 4/10kVA )	サーバ_X (副 I) : 消費電力 $2\text{kVA} \div 1$ 副接続 = 2kVA
			サーバ_Y (副 I) : 消費電力 $2\text{kVA} \div 1$ 副接続 = 2kVA
	—	—	サーバ_Y (主 I) : 消費電力 $2\text{kVA} \div 1$ 主接続 = 2kVA

## 操作 Tips

### ④ ズーム操作

DC VISOR のメイン画面に表示されるフロア図面及び実装図のズームイン/アウトの操作が簡単にできます。

【操作 1】 Ctrl キーを押しながらマウスのホイル(wheel)を回す

ズームイン	+  マウスの[ホイル]を(▲)上方向に回す
ズームアウト	+  マウスの[ホイル]を(▼)下方向に回す

【操作 2】 Ctrl キーと Shift キーを押しながらマウス操作

ズームイン I	+  +  ズームイン表示する場所でマウス左ボタンクリック
ズームイン II	+  +  ズームイン表示する範囲をマウスでドラッグして選択

### ⑤ 図面表示のスクロール操作

DC VISOR のメイン画面に表示されるフロア図面及び実装図をパン操作します。

【操作】 マウスのホイルを押しながら操作

表示スクロール	マウスの[ホイル]ボタンを押したままカーソルを移動
---------	---------------------------

## FAQ(よくある質問)

?  
DC VISOR の使用上よくある質問の例とその回答です。

### ライセンスについて

Q). DC VISOR のライセンス体系は?

A-> DC VISOR のライセンスはクライアント PC 及び DB サーバに対して各 1 ライセンスになっています。

DB 又はクライアントライセンスの追加又は変更は販売元までお問い合わせください。

### 基本操作

Q). DC VISOR の実行ができない

A-> お使いのクライアント PC に Microsoft Visio2013(Professional バージョン&正規版)のインストール有無を確認してください。

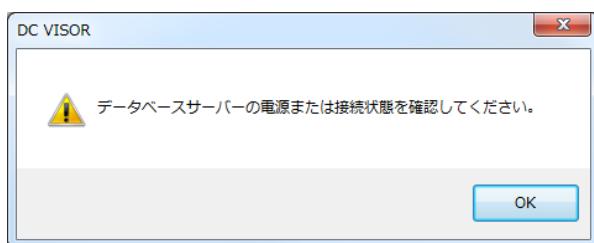
A-> DC VISOR ライセンスを確認してください。

Q). ログインができない

A-> 入力したユーザ ID 又は PW を確認の上、システム管理者へお問合せください。

A-> データベースサーバ(端末)の電源又はネットワーク接続状態を確認してください。

A-> SQL Server の稼働状態を確認してください。



### メイン画面

Q). 図面上の機器図形の背景色が黒くなっている

A-> 以下の何れの場合図形の背景色が黒くなります。



- ① 図形の新規配置後、該当機器のデータとリンク(紐づけ)してない又は間違ったデータを入力した場合  
→ 該当データとリンク設定又は正しいデータを入力する必要があります(統合管理者)
- ② 他ロケーションに移動処理又は廃棄処理された機器の図形が残っている場合  
→ 旧場所の該当図形を削除処理してください(統合管理者)

Q). 複数のラックの実装図が表示されない

A-> 選択した複数のラックの実装図表示はツールバーの“ラックマルチビュー”で表示されます。

同時に表示可能なラック数はマニュアルの‘ラック実装図’を参照してください。

Q). 複数のフロア図を同時に表示したい

A-> DC VISOR のメイン画面に表示するフロア図は 1 フロア分のみ表示になっています。(仕様)

**Q). モニターに DC VISOR 画面の一部が表示しきれない**

A-> お使いになるモニターの解像度を確認してください。1250x1024 以上が必要です。

A-> OS 上の個人設定/ディスプレイの文字サイズオプションが‘小-100%（規定）’か確認してください。

**変更処理****Q). メニューの[編集]、[管理者メニュー]が使えない（表示されない）**

A-> ログインしたユーザの権限を確認してください。（マニュアル又はヘルプ参照）

**ユーザ管理****Q). ユーザ ID の変更は？**

A-> 一度登録したユーザ ID の変更はできません。

該当ユーザを削除してから再登録を管理者に依頼してください。（登録は管理者権限が必要）

**その他****Q). 新規導入、移動処理などの編集処理画面で選択する特定ロケーション情報が表示されない**

A-> 該当ロケーションのデータがデータベース上に存在するか確認してください。

**Q). 印刷の設定は？**

A-> DC VISOR 図面の印刷は操作クライアント PC の通常使うプリンターの基本設定に影響されます。

印刷の詳細な設定が必要な場合は該当プリンターの印刷設定で直接設定をしてください。

**Q). 新しい機器の図形追加方法は？**

A-> 販売元又は開発元までお問い合わせください。

**Q). 機器情報ナビの内容の変更方法は？**

A-> 販売元又は開発元までお問い合わせください。

**Q). DC VISOR のアンインストール方法は？**

A-> Windows7 の場合（該当クライアント PC の管理者権限が必要）

: コントロールパネル → プログラム/プログラムのアンインストール、リストから DC VISOR を選択後、マウスの右クリックで‘アンインストール(U)’を実行

A-> Windows8.1 の場合

: 設定 → コントロールパネル → プログラムと機能 / プログラムのアンインストール又は変更、リストから DC VISOR を選択後、マウスの右クリックで‘アンインストール(U)’を実行

**Q). 原因不明のエラー又は不具合がある**

A-> DC VISOR を再起動し、再実行してください。

再実行しても変わらない場合はシステム管理者及び販売元又は開発元までお問い合わせください。